

# 令和2年度 松本市小中学校 環境教育支援事業 報告書



松本市

# 松本市小中学校環境教育支援事業について

## 1 本事業について

学校における環境教育の推進を図るため、環境分野の専門性を持つ地域の企業・団体等が外部講師となる「環境学習プログラム」を小中学校へ紹介しています。

平成22年度から、民間（環境教育講師団体、中信地区環境教育ネットワーク）、松本市教育委員会、松本市の3者による協働事業として実施しています。

## 2 経過

- 令和2年4月10日 松本市小中学校教頭会で周知  
小中学校へプログラム一覧配布と申込書募集開始
- 令和2年5月29日 申込書提出締切  
随時プログラム実施

## 3 実施状況（令和3年3月現在）

- 実施校 20校（小学校19校 中学校1校）  
実施人数 2,512人（小学生2,503人、中学生9人）  
実施事業 50事業（25種類）  
実施団体 15団体

## 4 報告書目次

- |                           |          |
|---------------------------|----------|
| 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書       | 1～87頁    |
| 令和2年度学習プログラム一覧            | 88～110頁  |
| 信州の環境学習サポートサイト 紹介         | 111頁     |
| 【附録】松本市環境・地域エネルギー課からのお知らせ | 112～113頁 |

### 【表紙写真】

左：四賀小学校「生きものから学ぶ環境教育」 中央：今井小学校「水辺の生物の観察」 右：波田小学校「自然素材で簡単工作」

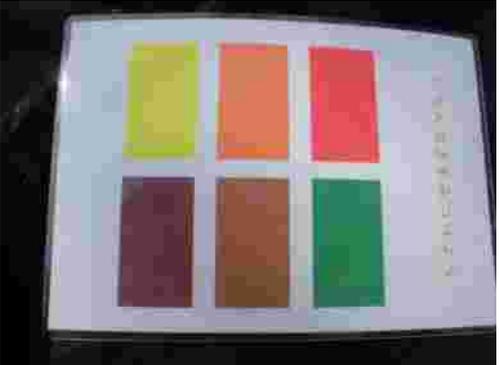
# 令和2年度 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書一覧

	学校名	講座番号、講座名	講師	学年 (人数)	実施日	頁数
1	安曇小	27 梓川&奈良井川&犀川ラフティング	合同会社リトルピークス	5・6年(6)	9/30	1
2	安曇小	39 自然体験プログラム	NPO法人わおん	1・2年(5)	10/28	2~3
3	安曇小	34 いきもの探しと観察及び環境教育講座	体験創庫かけはし	1・2年(5)	7/15	4~5
4	二子小	5 まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	松本市環境政策課	4年2クラス(46)	10/7	6
5	二子小	40 外あそびの達人講座	NPO法人わおん	特別支援学級 (18)	10/20	7
6	二子小	20 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局 下水道課	4年2クラス(46)	9/25	8
7	二子小	16 水はどこから	(株)環境技術センター	4年2クラス(46)	10/12	9
8	二子小	9 むかどご飯炊き体験	NPO法人安曇野ふるさと づくり応援団	3年2クラス(45)	11/10	10
9	菅野小	38 火おこしと簡単な野外料理・農業体験	体験創庫かけはし	5年3クラス(94)	7/27、7/28、 7/29	11~12
10	菅野小	13 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドル作り	松本市地球環境温暖化 防止市民ネットワーク	5年3クラス(95)	12/1、12/2、 12/3	13~14
11	菅野小	10 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (35)	9/28	15~16
12	菅野小	9 むかどご飯炊き体験	NPO法人安曇野ふるさと づくり応援団	5年3クラス(95)	11/9 11/16	17~18
13	四賀小	10 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	3年(25)	12/9	19
14	四賀小	7 生きものから学ぶ環境学習	松本市ホタル学(まなぶ) 会	4年(20)	7/3	20
15	菅野小	39 自然体験プログラム	NPO法人わおん	1年3クラス (97)	10/21	21~23
16	中山小	10 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (3)	10/21	24
17	今井小	20 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局 下水道課	4年(30)	7/22	25
18	波田小	14 自然素材で簡単工作	NPO法人わおん	4年4クラス (145)	10/5 10/6	26
19	安曇小	26 地元の川大好き!!リバーアドベンチャー [川の上流を探検しよう]	合同会社リトルピークス	3・4年(9)	8/20	27~28
20	今井小	24 水辺の生物の観察会	NPO法人川の自然と文化 研究所	1年1クラス (19)	8/19	29
21	今井小	22 身近な自然観察	自然観察の会 ひこばえ	1年1クラス (19)	10/5	30~31
22	筑摩小	26 地元の川大好き!!リバーアドベンチャー [川であそぼう]	合同会社リトルピークス	2年2クラス(49)	9/7	32~33
23	並柳小	39 自然体験プログラム[川の生き物をしらべて みよう]	NPO法人わおん	2年2クラス (70)	9/29	34
24	梓川小	36 体感&体感! 自然体験学習	信州やがいたいけん楽校 ぶらす	6年1クラス (30)	9/18	35~36
25	梓川小	31 地域発見ウォーキング[「わがまち梓川探偵 団」~学区の7つの謎を探せ~]	NPO法人安曇野ふるさと づくり応援団	6年2クラス (60)	10/16 11/5	37~38
26	梓川小	27 梓川&奈良井川&犀川ラフティング [梓川リバーアドベンチャーファイナル]	合同会社リトルピークス	6年2クラス (60)	9/23	39~40

# 令和2年度 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書一覧

	学校名	講座番号、講座名	講師	学年 (人数)	実施日	頁数
27	山辺小	6 地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ	松本市地球環境温暖化防止市民ネットワーク	4年1クラス (32)	10/5	41
28	大野川小	2 ツキノワグマの生態を知ろう	NPO法人信州ツキノワグマ研究会	1・2年(10)	8/28	42
29	大野川小	30 地元の山が100倍好きになる登山学【乗鞍さんぽ】	合同会社リトルピークス	1・2・3年 (11)	10/30	43
30	岡田小 あさひ分校	33 石窯ピザづくりたいけん	NPO法人石窯スマイル研究会	4～6年 (10)	7/17	44
31	波田小	8 大河の一滴プロジェクトスライドショー【川の果てまで行ってみよう】	合同会社リトルピークス	3年4クラス (141)	9/2 9/15	45～50
32	波田小	24 水辺の生物の観察会【梓川生き物観察】	NPO法人川の自然と文化研究所 松本ホテル学会	3年4クラス (140)	8/25 8/27	51～53
33	安曇小	16 水はどこから	(株)環境技術センター	4年1クラス(6)	10/5	54
34	源池小	24 水辺の生物観察会	NPO法人川の自然と文化研究所	2年(50)	9/30	55
35	筑摩小	20 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局 下水道課	4年2クラス (58)	11/24	56
36	波田小	20 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局 下水道課	4年4クラス (146)	11/26	57
37	安曇小	24 水辺の生物観察会【行ってみたいな上高地】	NPO法人川の自然と文化研究所	1・2年(5)	7/13	58
38	安曇小	24 水辺の生物観察会【行ってみよう上高地陸上】	NPO法人川の自然と文化研究所	1・2年(5)	8/25	59～60
39	安曇小	24 水辺の生物観察会【行ってみよう上高地水辺】	NPO法人川の自然と文化研究所	1・2年(5)	9/9	61～62
40	開明小	26 リバーアドベンチャー【川あそび】	合同会社リトルピークス	2年3クラス (84)	9/16	63～65
41	鎌田小	26 リバーアドベンチャー【川で「手づくりふね」にのろう】	合同会社リトルピークス	2年4クラス (136)	9/8	66～67
42	鎌田小	16 水辺の生物観察会【鎌田お宝探検～川の生き物編～】	ホテル学ぶ会 川の自然と文化研究所 (株)環境技術センター	3年5クラス (145)	9/17 9/23	68～72
43	源池小	12 木材の活用法【源池っ子プロジェクト】	寿さと山くらぶ	5年2クラス (47)	10/29、11/5、 11/12、11/17、 11/26	73～77
44	寿小	12 木材の活用法【里山体験学習】	寿さと山くらぶ	5年4クラス (116)	9/24 9/29	78～80
45	菅野中	12 木材の活用法【山や自然からの贈り物】	寿さと山くらぶ	2年(9)	10/27	81～82
46	田川小	8 大河の一滴プロジェクトスライドショー【人のくらしと川 事前学習】	合同会社リトルピークス	4年2クラス (43)	8/24	83
47	田川小	26 梓川リバーアドベンチャー【人のくらしと川 犀川下り】	合同会社リトルピークス	4年2クラス (42)	9/11	84
48	附属小	26 リバーアドベンチャー【つくて、うかべて、みらいごう】	合同会社リトルピークス	2年1クラス (36)	9/8	85
49	附属小	16 水辺の生物観察会【女鳥羽川生き物探検】	NPO法人川の自然と文化研究所	2年1クラス (36)	10/22	86
50	波田小	37 自然体験プログラム【自然の中で遊んで学ぼう！】	体験創庫かけはし	特別支援学級 (27)	10/13	87
計	20校(小学校19校、中学校1校)	25種類	15団体	2,512人 (小学校2,503人、中学生9人)		

授 業 名	梓川&奈良井川&犀川ラフティング		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校 5、6 学年	参加人数	児童 6 人 職員 3 人
担当者	横山 享司	記入者	横山 享司
実施日（期間）	令和2年9月30日（水）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	<p>1 上高地から流れ出た梓川が木曾を源流とする奈良井川と合流し、犀川と なっていく様子を見る。</p> <p>2 7月豪雨の痕跡を探りながら川のもつ浸食・運搬作用の力を実感する。</p>		
実施状況 （授業風景）	 <p>奈良井川と梓川の合流地点に立ち、水の色やにおい、温度の差を実感しているところ です。向かって右側が奈良井川、左側が梓川です。梓川の流量が少なく、体 格のいい子は腰の高さでも立つことができました。流量が少ない理由は「農業用 水として使われている」とのこと。この段階では気づいていませんが、この一週 間後に梓川頭首工の様子を見学することにより、今回の体験と結びつけて考える ことができるようになりました。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川に流木がたくさんあって、「7月豪雨」のすさまじさがよくわかりまし た。</li> <li>・上高地から流れる梓川と木曾から流れる奈良井川が合流して日本海に流れる なんて。川ってつながっているんだなあと思いました。</li> <li>・梓川の方がにおいがなくきれいだと感じました。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上高地の学習をし続けてきた子どもたちにとって、中流域の学習を体験的に することで、上流とのちがいが、上流と中流がつながり、やがて海につながっ ていることを実感するよい機会となった。</li> <li>・豪雨の痕跡を見たり、流れに身を任せる活動をしたりすることを通して「水 の力」の凄さを実感するよい機会となった。これを翌週の安曇3ダム、梓川 頭首工の見学と結びつけて考えさせたい。</li> </ul>		

授 業 名	自然体感プログラム		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校 1、2学年	参加人数	5人
担当者	小池 加純 降旗 千愛	記入者	小池 加純
実施日（期間）	令和2年10月28日（水）		
講師名	NPO法人わおん 山田 勇さん 山田 直美さん		
実施概要	<p>学校の畑で、いろいろな感覚を使い身近な自然と触れ合う活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物に関わるフィールドビンゴ・拡大鏡を使い、見つけた植物や虫を観察</li> <li>・指定された色の自然物探し      ・自然物を使った万華鏡作りとお弁当作り</li> </ul>		
実施状況 （授業風景）	<div style="text-align: center;">  </div> <p>「ざらざらな物」「丸い物」「赤い物」「おもしろい物」を探した。広い畑を自由に歩き回り、普段は行かない草むらにも入って探す姿があった。集めた葉っぱや石、実、虫などをみんなで見合った。畑にはあるはずのない貝殻を見つけたり、普段は怖がって近づかない蜘蛛に興味を示したりしていた。10倍・15倍に拡大できる拡大鏡を使って見てみると、これまでに見たことのない花や虫の姿を見ることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>色カードをもらい、その色とそっくりの色の物を自然の中から探した。見つけた物を色カードに重ねてみると、微妙に色が違い、そっくりの色の物を探すのは大変だった。普段「赤」や「緑」などと意識せずに言っているが、同じ色にもたくさんの種類があることに気づくことができた。</p>		

<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p>畑で見つけた物を使って、万華鏡を作った。花びらや葉っぱなどを入れていくと簡単にきれいな模様ができ、中身を入れ変えて何度も楽しんだ。</p>  <p>小さな箱に植物などを入れ、お弁当作りを楽しんだ。サラダや目玉焼き、手巻き寿司など、色や形に注目しながら材料を集めて作っていた。</p>
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤い物はピーマン、大きい葉っぱにざらざらがあった。丸い石の中に模様があったからおもしろかった。(1年Aさん)</li> <li>・虫眼鏡で虫とかを見てすごくてかく見えたから、「ここがこうなってるんだー。」ってよくわかった。(1年Bさん)</li> <li>・色を見つけるやつで、なかなか同じ色は見つからなかったけど、すごく楽しかった。(2年Cさん)</li> <li>・万華鏡で小さい赤いもみじみみたいなのをに入れてみたら、みんなに「すごい。とってもきれい。」って言われてとてもうれしかった。(2年Dさん)</li> <li>・自然を探るのが楽しくてよかった。1番楽しかったのは、万華鏡作り。いろんなものを入れて見てみたらおもしろかった。(2年Eさん)</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等 <p>野菜のお世話で毎日行っている畑に、こんなにも多くの色や形があることに気づくことができ、子どもたちが興味をもって活動できたことがよかった。今回のように「色や形に注目して探す活動」を行うことで、普段見えていないものにも自然と目が向くことがわかった。私自身、自然の色はこんなにも多様なのだと改めて気づくことができた。自然と触れ合う際の、いくつもの視点を与えていただき大変勉強になった。様々な道具をご準備いただきありがとうございました。</p> </li> </ol>

授 業 名	いきもの探しと観察及び環境教育講座		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校 1、2学年	参加人数	5人
担当者	小池 加純 降旗 千愛	記入者	小池 加純
実施日（期間）	令和2年7月15日（水）		
講師名	体験創庫かけはし 藤村 哲さん 三宅 信さん		
実施概要	かけはしの庭やみんなのゆめの森で、自然に触れ合う時間を過ごし、動植物や昆虫などを探した。		
実施状況 （授業風景）	 <p>みんなのゆめの森で、自然のビンゴを行った。葉っぱ・虫・木・花を見つけたり、やわらかいもの・きれいなものなど、各自の感覚で当てはまるものを見つけたりした。広い森を自由に動き回り、見つけたものを紹介しあった。</p>  <p>川に入り、水棲昆虫を探した。初めは、なかなか生き物を見つけることができなかったが、「川の土砂ごとすくってごらん。」と教えてもらい、すくった土砂の中をよく見ると、小さな生き物が見つかった。梅雨の影響もあり、たくさんは捕れなかったが、ヤゴやエビのような形をした生き物などを見つけることができた。</p>		

実施状況  
(授業風景)



田んぼでの生き物探しを行った。たくさんのおたまじゃくしや蛙を捕まえることができた。足やしっぽが生えているおたまじゃくしも見つかри、成長の過程を見ることができた。卵を背負った「コオイムシ」など、初めて見る生き物に驚いていた。



かけはしの庭で、3種類のにわとり、3頭のヤギ、1羽のうさぎと触れ合い、にわとりを持ち上げたり、うさぎにえさをあげたりする体験をした。以前作ったというツリーハウスにも登らせてもらった。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

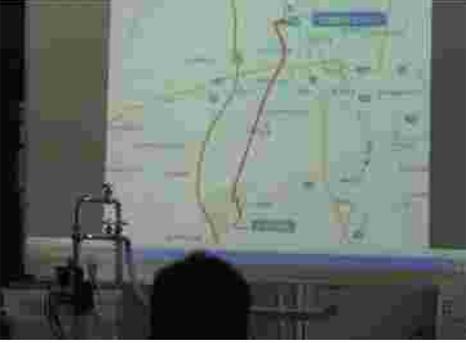
- ・今日は、田んぼで蛙とおたまじゃくしを捕れてうれしかったし、森の中でビンゴをして1個だけ見つからなかったけど、あとは見つけてよかった。動物も見られて、かわいかった。うさぎさんもいたし、にわとりもいたし、やぎもいたからすごくかわいいなと思った。(1年Aさん)
- ・今日行けてよかった。おたまじゃくしと蛙が捕れてよかった。うさぎさんにエサを少しあげて食べてくれなかったけど、エサをあげられてよかった。森で知らないお花があってきれいだった。川では、ヤゴみたいなやつや、ものすごくちっちゃな謎の虫が捕れてよかった。(1年Bさん)

2 先生方の感想、要望等

森・川・田んぼと様々な場所で、生き物探しをさせていただき、子どもたちはとても楽しんでた。自然の中で思い切り遊ぶということが普段はなかなかできないので、とても貴重な機会となった。自分で見つけたものには特別な思いがあり、思い切って触ったりよく観察したり、積極的に活動する姿が見られたことがよかった。

授 業 名	まつもとの環境について学ぼう「松本市環境基本計画関連講座」		
学校名、学年、学級	松本市立二子小学校 4学年	参加人数	46人
担当者	元島 弘人 安原 麻美	記入者	元島 弘人
実施日（期間）	令和2年10月7日（水）		
講師名	環境政策課		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松本市の環境基本計画の「5本の柱」についての説明</li> <li>1 地球にやさしく</li> <li>2 資源を大切に</li> <li>3 安心・安全な暮らし</li> <li>4 自然のめぐみ</li> <li>5 心地よいまち</li> </ul>		
実施状況 (授業風景)	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に配付していただいた資料をもとに、松本市の環境基本計画について話していただきました</li> <li>・松本市についてだけでなく、「日本全体」という視点でもお話をさせていただきました。</li> <li>・子どもたちはメモを取りながら、熱心に話を聞いていました。自分の住んでいる地域についての話だったので、興味をもって聞くことができました。</li> </ul>	
授業について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・松本市の環境についてお話を聞いて、自分が知らなかったところで支えられていることがわかりました。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・私自身も知らないことがあったので、現場で活躍している方の話が伺えて勉強になりました。</li> <li>・「もったいない」という感覚はいろいろな方から伝えてもらえるとありがたいと考えていたので、こういう機会はとても貴重だと思いました。</li> </ul> </li> </ol>		

授 業 名	外あそびの達人講座		
学校名、学年、学級	松本市立二子小学校 特別支援学級	参加人数	18人
担当者	百瀬 清美 飛田 榮子	記入者	飛田 榮子
実施日（期間）	令和2年10月20日（火）		
講師名	NPO法人わおん 山田 勇さん 山田 直美さん		
実施概要	<p>・簡単にできて、相当な力を加えてもほどけないロープの結び方を教えていただいた後、校庭にある桜の木を学級ごとに選び、2本の木にひもを結びつけてハンモックをつるして遊んだ。</p> <p>・学級ごとにハンモックで遊んでいる間に、講師の皆さんが2本の木に2本の太さの違う綱を地面に水平に結びつけ、上の綱を両手でつかみながら下の幅広な綱を渡っていくスラックラインを作って下さり、挑戦してみたい児童が取り組んだ。</p>		
実施状況 （授業風景）	<p>ひもの結び方を教えてもらった後、実際に結び付ける練習を行う。</p>  <p>ハンモックがブランコになり、男児が3人乗っても、気持ちよく揺れている。</p> 	<p>2つ目のハンモック作りに挑戦</p>  <p>両手でしっかり綱を握りしめて、慎重に足を運ぶ。 （スラックライン）</p> 	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな遊びが経験できてよかった。</li> <li>・リラックスできた。楽しかった。</li> <li>・いい気持ちになって、眠くなってしまった。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童たちが笑顔いっぱい、すごく楽しむことができた。</li> <li>・特に6年生が進んで行動してくれていて頼もしかった。</li> <li>・ひもの結び方を覚えて、実際に結ぶことができたのでよかった。</li> <li>・家族にひもの結び方を教えた児童もいて、よい経験になった。</li> <li>・スラックラインで、児童が上手にバランスが取れていて驚いた。</li> </ul>		

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立二子小学校 4学年	参加人数	46人
担当者	元島 弘人 安原 麻美	記入者	元島 弘人
実施日（期間）	令和2年9月25日（金）		
講師名	松本市上下水道局 中村 正広さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化センターまでの下水の流れについての説明</li> <li>・ペットボトルを使った紙の解け方の実験（演示）</li> <li>・微生物の観察</li> </ul>		
実施状況 （授業風景）	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭からどのような経路で下水が流れて行っているか説明してもらいました。ちょっとした傾きで流れを調節していることに子どもたちは驚いていました。</li> <li>・トイレトペーパーとティッシュがどのように水に溶けるのか演示してもらいました。紙の見目はよく似ているのに、解け方が全然違うことに驚いていました。</li> <li>・下水が二子地区のどの辺りを通っているのか説明してもらいました。自分の家のすぐ側を通っている下水道が松本市の中でもかなり外れまで流れていっていることを知り、驚きの声があがっていました。</li> </ul>	
授業について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水がこんな身近なところを通っているとは知らなかった。</li> <li>・油やゴミを流してはいけないことがわかった。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの関係で下水場を見学できなかったのが、学校に来ていただき色々教えていただいたのは本当にありがたかったです。</li> </ul> </li> </ol>		

授 業 名	水はどこから？		
学校名、学年、学級	松本市立二子小学校 4学年	参加人数	46人
担当者	元島 弘人 安原 麻美	記入者	元島 弘人
実施日（期間）	令和2年10月12日（月）		
講師名	株式会社 環境技術センター 宮澤 恵さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の循環について（ジオラマを使って）</li> <li>・水がどのように自然の中で濾過されるかについて（モデルを使って）</li> <li>・日本の水とヨーロッパの水の違いについて（利き水）</li> </ul>		
実施状況 （授業風景）	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に水が水蒸気として上に上がっていく様子を観察させてもらいました。水が循環する様子がよくわかりました。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・片方の坂は水が染みこまないようになっています。一方、片方は染みこむようになっているので、水が地中に染みこみ、濾過される様子がよくわかりました。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ「水」でも味が違うことに子どもたちは驚いていました。硬水を初めて飲んで「苦い」と表現している子どもがたくさんいました。</li> </ul>		
授業について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「水」って身近なものだと思っていたけれど、自分の前に来るまでにこんなに色々なところを通ってきているとは知らなかったです。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に水を飲み比べた子どもたちが水に興味を持っていたのが嬉しかったです。</li> <li>・お話だけでなく、ジオラマや水の浸透がわかる制作物を用意してくださっていたのがありがたかったです。</li> </ul> </li> </ol>		

<p>授 業 名</p>	<p>ぬかくどご飯炊き体験</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立二子小学校 3学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>45人</p>
<p>担当者</p>	<p>3年1組担任 市川 大紀 3年2組担任 瓜生 かよ</p>	<p>記入者</p>	<p>市川 大紀</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和2年11月10日（火）</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団</p>		
<p>実施概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 無農薬米や田んぼの生き物についてのお話</li> <li>2 ぬかくどについてのお話 紙芝居等を使い、「昔は多くの家庭でぬかくどを使っていたこと」「ぬかくどのよさ」について話していただいた。</li> <li>3 ぬかくどを使ったご飯炊き体験・おにぎりづくり ぬかくどにもみをくべたり一人2個おにぎりをつくったりした。</li> <li>4 食品を大切にしようとお話していただいた。</li> </ol>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>お米の粃を使うんだ。 今では売っていない貴重な糎なんだね。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>無農薬米。こんなに強い気持ちで作るんだ。早く食べたいなあ。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p>こんなおいしいお米を食べるの初めてだ！ おこげも珍しいね。 まだ食べたいなあ。 本当においしいよね。</p> </div>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうして無農薬米を作ろうとしたのか、お話を聞いて分かった。</li> <li>・ こんなおいしいご飯を食べたのは初めてだ。</li> <li>・ ぬかくどが、今では手に入らない貴重な糎だということが分かった。</li> <li>・ ごはん茶碗一杯で、3000粒もお米があるなんてびっくりした。</li> <li>・ またぬかくどご飯炊き体験を試みたい。</li> <li>・ 田んぼにいる生き物のことが分かった。</li> <li>・ 冷めてもおいしいなんてすごい。家の人に食べさせてあげたい。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぬかくどで炊いたご飯が本当においしくて私たちも驚きました。</li> <li>・ ぬかくどを初めて見たので大変参考になりました。</li> <li>・ 無農薬米づくりに対する思いが子どもたちに伝わりました。食育として大事なことだと思いました。</li> <li>・ 紙芝居の読み聞かせで、中信の「方言」が難しかったです。</li> <li>・ 学校側の準備が「届いたお米を磨いで水に浸しておくこと」だけだったので、とてもありがたかった。雨天の場合は自動車の駐車場所などの配慮が必要でしたが、何とかなってよかったです。</li> </ul> </li> </ol>		

授 業 名	火おこしと簡単な野外調理・農業体験		
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 5年1組	参加人数	31人
担当者	池田 恭子	記入者	上兼 緩子
実施日（期間）	令和2年7月27日（月）		
講師名	体験創庫かけはし 藤村 哲さん		
実施概要	焚き付けを探し、マッチで火おこし体験 カレー作り 自然体験アクティビティ		
実施状況 (授業風景)		「自然アクティビティ」 海と陸、鹿・小屋・木というアクティビティを紹介していただき、遊びを通じて自分たちが自然と共存していること、自分たちが自然を守る必要があることを理解した。	
		「火おこし体験」 小さな火から、だんだん大きな火にしていくことを教えていただいた。枝や木をどのように組み合わせたらよいかを考えながら、火を大きくした。マッチでの着火に苦労したが、友達と協力し、風が来ないように工夫し、声を掛け合って火を点けることができた。	
		「カレー作り、炊飯」 点けた火を使って、カレーと飯盒をした。焦げや煙も調味料の1つと教わり、家庭では出せない味を楽しさが野外調理の醍醐味であると知った。	
		「試食」 飯盒のご飯の美味しさと皆で一緒に食べるカレー、外で食べる楽しさを存分に味わった。	
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・マッチで火を起こすことはとても難しかったが、火がついた時にとても嬉しかった。 ・小さな火から大きな火へ「火を育てる」という考えを知ることができて、勉強になった。 ・みんなで一緒にカレーを食べることができ、美味しかったし、楽しかった。 ・アクティビティを通じて、自然を壊しているのは、自分たちであると分かり、もっと自然を大切にしたいと思った。		
	2 先生方の感想、要望等 ・例年行っている美ヶ原キャンプが中止になったが、体験創庫かけはしさんのお力をお借りして、子どもたちが「飯盒をやりたい」と言う願いを叶えることができ、本当に感謝している。 ・アクティビティで、遊びを通じて自然環境を考えるきっかけをいただいた。 ・この時期、調理実習も難しかったが、子どもたちが喜ぶならばと一緒に考え、工夫して下さり、本当にありがたかった。		

## 環境教育支援事業実施報告書

【番号：9-2】

授 業 名	火おこしと簡単な野外調理・農業体験		
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 5年2組	参加人数	31人
担当者	池田 恭子	記入者	池田 恭子
実施日（期間）	令和2年7月28日（火）		
講師名	体験創庫かけはし 藤村 哲さん		
実施概要、実施状況	【番号：9-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチで火を起こすことはとても難しかったが、火がついた時にとても嬉しかった。</li> <li>・小さな火から大きな火へ「火を育てる」という考えを知ることができて、勉強になった。</li> <li>・みんなで一緒にカレーを食べることができ、美味しかったし、楽しかった。</li> <li>・アクティビティを通じて、自然を壊しているのは、自分たちであると分かり、もっと自然を大切にしたいと思った。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年行っている美ヶ原キャンプが中止になったが、体験創庫かけはしさんのお力をお借りして野外調理を楽しむことができ、大変ありがたかった。</li> <li>・アクティビティでは、遊びを通じて自然環境を考えるきっかけをいただいた。もっといろいろなアクティビティをやりたいと感じた。</li> <li>・「火を育てる」という言い方にとっても感動した。火が私たちの生活を支えてくれる大切な存在であることを改めて感じた。</li> </ul>		

## 環境教育支援事業実施報告書

【番号：9-3】

授 業 名	火おこしと簡単な野外調理・農業体験		
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 5年3組	参加人数	32人
担当者	佐藤 功貴	記入者	佐藤 功貴
実施日（期間）	令和2年7月29日（水）		
講師名	体験創庫かけはし 藤村 哲さん		
実施概要、実施状況	【番号：9-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火起こしは難しかったが、うまく火がついた時はとてもうれしかった。</li> <li>・松葉などが油を含んでいて燃えやすいことを初めて知った。</li> <li>・小さな火から大きな火へ「火を育てる」という考えを知ることができた。</li> <li>・お釜で炊いたお米はおいしかったし、自分たちで火から全て作ったカレーはおいしかったし、みんなで食べたので一段とおいしく感じた。</li> <li>・アクティビティを通して、自然環境を悪くしているのは私たち人間であることを知り、自然を大切にしていこうと思った。</li> <li>・キャンプがなくなってしまったが、火起こし体験やカレー作りをできて、とてもうれしかった。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティビティを通して自然環境を考えるきっかけをいただいた。</li> <li>・この時期、調理実習も難しかったが、子どもたちが喜ぶならばと一緒に考え、工夫して下さり、本当にありがたかった。</li> <li>・例年行っている美ヶ原キャンプが中止になったが、体験創庫かけはしさんのおかげで子どもたちに野外調理体験をさせることができた。子どもたちも満足感・達成感が大きく、貴重な体験となった。</li> </ul>		

授 業 名	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドル作り			
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 5年1組	参加人数	32人	
担当者	池田 恭子	記入者	上兼 緩子	
実施日（期間）	令和2年12月3日（金）			
講師名	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）			
実施概要	<p>環境、蜜蝋の、竹についての話 竹のろうそくカバー作り 蜜蝋のろうそく作り</p>			
実施状況 （授業風景）	   	<p><b>竹の種類や地球温暖化について</b> 生息する竹の北限が、松本まできていることを教わり、地球温暖化が自分たちの問題として考えることが出来た。</p> <p><b>のこぎりを使ってキャンドルカバーの切り出し</b> 太い竹に苦労したが、のこぎりを引いたときに切れることを教えていただき、友だちと協力して切り出すことが出来た。</p> <p><b>ドリルを使って、模様作り</b> ドリルを使うのは初めてだったが、クラブの皆さんと一緒に取り組むことで、自分のイメージ通りの穴を開けることが出来た。</p> <p><b>完成</b> やすりをかけ、色を付け、オリジナルのキャンドルカバーを作ることが出来た。キャンドルを入れたら、どのようになるかを想像し、楽しみな気持ちになった。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリルやのこぎりでの作業により、自分たちの作品に関わることができ、楽しんでいた。</li> <li>・地球温暖化についてクラブの方から話を伺うことで、社会の学習と合わせて考えることが出来、より自分にできることは何だろうか考えることが出来た。</li> <li>・自然と友だちと協力しあい、友だちの作品を見合い、認め合うことが出来、どの子も満足のいく時間を過ごせた。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの講師の方に来ていただき、道具等も準備していただいたお陰で、短い時間であったが、スムーズに進めることが出来、大変有り難かった。</li> <li>・竹の話から、地球温暖化について、分かりやすく話をしていただき、教科書では学ぶことの出来ない、自分たちの暮らしている所の問題として、考えることができた。今後も今回の活動を生かして自分たちの出来ることを続けて考えていきたい。</li> </ul>			

## 環境教育支援事業実施報告書

【番号：10-2】

授 業 名	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドル作り		
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 5年2組	参加人数	31人
担当者	池田 恭子	記入者	池田 恭子
実施日（期間）	令和2年12月1日（火）		
講師名	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）		
実施概要、実施状況	【番号：10-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの講師の先生が丁寧に教えてくださり、自分だけの竹筒を作ることができて、とてもうれしかった。</li> <li>・地球環境のことをもっと考えていかなければいけないと感じた。</li> <li>・初めてドリルで穴をあけたが講師の先生のおかげで、安全に気をつけて作ることができた。</li> <li>・キャンドルナイトに行くのが楽しみだ。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>エコネットまつもとの方々がたくさん講師として入ってくださり、竹や用具準備から、子どもたちの作業の指導まで、丁寧にやっていただき、子どもたちが満足する竹筒を作ることができた。また、キャンドルナイトに参加させていただき、子どもたちも自分たちの竹筒に火をともしさせていただき、とてもうれしそうだった。本当にありがとうございました。</p>		

## 環境教育支援事業実施報告書

【番号：10-3】

授 業 名	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドル作り		
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 5年3組	参加人数	32人
担当者	佐藤 功貴	記入者	佐藤 功貴
実施日（期間）	令和2年12月2日（水）		
講師名	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）		
実施概要、実施状況	【番号：10-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化から地球を守るため、何が出来るか知ることができた。</li> <li>・地球温暖化を防止するために、植物を大切に、自然を生かしたのを使っていきたい。</li> <li>・地球温暖化を少しでも止められるように、電気を消したりキャンドルを灯したりゲームをやり過ぎないようにしたりと自分にできる取り組みをしていきたい。</li> <li>・自然環境は大切。地球環境を守って、後世に残していきたい。</li> <li>・私たちが環境によいものを使っていれば、未来の環境のためになる。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化問題と関連させて話していただき、蜜蝋キャンドルを利用することが環境にやさしいことを理解しながら体験を楽しめた。</li> <li>・6班全てに講師の先生が付いていただき、子どもたちも安心して活動できた。</li> </ul>		

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 特別支援学級(1～6学年)	参加人数	35人
担当者	赤羽 良文 松下 篤 平沼 公恵 遠藤 優子 平出 絵里	記入者	赤羽 良文
実施日(期間)	令和2年9月28日(月)		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん 他3名		
実施概要	<p>1. 木の年輪などの話 2. 炭火を使って材料からバウムクーヘン作り</p>		
実施状況 (授業風景)	<p>1. 木の年輪などの話</p>  <p>実物の年輪を数え木の年齢を数えることができた。</p> <p>2. 炭火を使って材料からバウムクーヘン作り</p>  <p>みんなで協力して材料をかき混ぜた。 かき混ぜたい子どもに交代することができた。</p>		

実施状況  
(授業風景)



順番を守り、2人で協力して焼くことができた。  
子どもたちは教えたり教わったり関わり合えた。



繰り返しの作業によりだんだん太くなり、満足できた。  
焼き加減を見ながら竹を回すのが上手になった。



上手にできたバウムクーヘンに見入る子どもたち。

授業について

- 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等
  - ・バウムクーヘン作りに興味を持ち、生き生きと楽しんで活動していた。
  - ・毎年続けて3年目であり子どもたちは活動の見通しを持てたことで、今まで経験のある子どもたちと初めての子どもたちの間で、教えたり教わったり関わり合えることができた。
  - ・自分たちで協力して作ったバウムクーヘンはとてもおいしく、竹の棒に残っているものまで、食べている子どももいた。
- 2 先生方の感想、要望等
  - 継続して行うことにより子どもたちは戸惑うことなく自信をもって取り組むことができ、教師が支援しなくても楽しみながら協力して活動ができよかった。

授 業 名	ぬかくどご飯炊き体験		
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 5年1組	参加人数	32人
担当者	池田 恭子	記入者	上兼 緩子
実施日（期間）	令和2年11月9日（月）		
講師名	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 宗像 章さん		
実施概要	ぬかくど釜の説明 お米の学習・紙芝居 おむすび作り・試食		
実施状況 (授業風景)		「ぬかくど釜の構造の説明と着火」 コンパクトなスペースで30分で炊きあがるということや、燃料のもみ殻が、灰になった後も田んぼの肥料として使用されることを知り、驚いていた。	
		「紙芝居によるぬかくど釜の説明」 玄米と精米の違いを聞き、精米された米は、栄養を全て取ってしまったこと、米を作ることで、他の生き物も田んぼで生きていけることが分かり、社会の学習とつなげ、自分たちの食生活の変化を振り返った。	
		「おむすび作り」 釜の蓋を開けた瞬間、炊きあがったご飯の香りに歓声が上がった。茶碗にご飯を盛る時に、ギュッと押し付けないことから、おむすびもふんわり握ることを教わった。	
		「おむすび作りと試食」 味付けは塩のみにすることで、米本来の味を感じることができると知り、優しく丁寧に、おむすびをひと口目で、いつもと違う味を感じ、びっくりし、あっという間に食べ終わった。	
授業について	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・玄米や精米など、米の呼び方は知っていたが、栄養が取り除かれてしまっていることに驚いた。</li> <li>・食生活が変化し、米を食べなくなっていることで、動物や虫にも影響が出ていると知ったので、これからご飯を残さずきれいに食べたい。</li> <li>・おむすびのひと口目が、すごく美味しかった。米がこんなに美味しいと改めて知れた。</li> <li>・拾ヶ堰の水を使って、作られた米。200年前の苦労がなければ、今のこの味はなかったと思うと、感謝したい。</li> </ul> </li> <li>先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安曇野の湧水も用意していただき、子どもたちは安曇野の新米を堪能できた。</li> <li>・丁寧に準備していただいたお蔭で、子どもたちが能動的に参加できた。</li> <li>・社会の授業とつなげて考えることができる子が多く、体験を通じて、学習を深めることができた。</li> </ul> </li> </ol>		

授 業 名	ぬかくどご飯炊き体験		
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 5年2組、3組	参加人数	63人
担当者	池田 恭子	記入者	佐藤 功貴
実施日（期間）	令和2年11月16日（月）		
講師名	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 宗像 章さん		
実施概要、実施状況	【番号：12-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぬかくど釜で炊いたお米の一口目がとてもおいしかった。昔の人々の工夫がつまっていた、感謝して食べた。</li> <li>・拾ヶ堰の水を使って育ったお米。200年の努力や工夫の積み重ねがあったからこそその味に感動した。</li> <li>・食生活の変化で米を食べなくなったことを学習したが、動植物にも影響が出ていることを知り、改めて食べものを大切に食べたいと思った。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の学習と関連させて考えることができ、体験しながら学習したことを確かなものとするのができた。</li> <li>・学習した安曇野の水を使っていたが、学習と関連させて新米に感動した。</li> <li>・活動がよく計画されており、子どもたちがスムーズに活動に取り組めた。</li> </ul>		

授業名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名・学年・学級	松本市立四賀小学校 3学年	参加人数	25人
担当者	中野 博文（3年担任）	記入者	中野 博文
実施日（期間）	令和2年12月9日（水）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん		
実施概要	○木の切り株を使って、年輪を数えたり、年輪ができる意味を考えたりした。 ○年輪のできるしくみを理解したうえで、野外バウムクーヘン作りをした。		
実施状況 （授業風景）	  <p>年輪はどうやってできるかな？</p> <p>1時間で20年分の年輪を作ろう</p>   <p>1年目を作ろう</p> <p>人間ならまだ保育園児くらい</p>   <p>10歳になったよ</p> <p>「年輪が見えた。おいしそー。」</p>		
授業について	<p>1 授業を通じての子どもたちの反応、感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の身近な問題である、松枯れの原因やその仕組みについて詳しく知る機会にもなり、地元の森林への関心を高めることができていた。</li> <li>・バウムクーヘン作りを通じて、一つ一つの年輪ができるまでを疑似体験できたことで、「本物の木の成長はもっと大変なんだろう。」「木は、すごい。」という子どもたちからの感想があった。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望など</p> <p>バウムクーヘン作りをきっかけに、地域の身近な森林へ目を向ける機会になっていた。来年もぜひ継続して実施していきたいです。</p>		

授業名	生きものから学ぶ環境学習		
学校名・学年・学級	松本市立四賀小学校 4学年	参加人数	20人
担当者	柳沢 準二（4年担任）	記入者	柳沢 準二
実施日（期間）	令和2年7月3日（金）		
講師名	松本ホタル学会 藤山 静雄さん 松本ホタル学会会員のみなさん		
実施概要	○スライドショーによるホタルの生態と他の生き物の環境学習 ○保福寺川の水生生物の環境調査		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;ホタルの生態を学ぶ&gt;</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;スライドで学ぶ&gt;</p> </div> </div> <p>○前半は、藤山先生より「ホタルも住むことのできる自然」というテーマでスライドを通して教えていただいた。児童に、問題をたくさん出していただきました。児童は、ホタルの研究を事前に行っていたため、たくさん答えることができ、ほめていただいた。さらに、自然を守るための方法を教えていただき今後の計画の方向を示唆してもらった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;保福寺川での生態調査&gt;</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;水生昆虫の名前を聞く児童&gt;</p> </div> </div> <p>○後半は、四賀小横の保福寺川に行き、水生生物の調査をしました。ホタルの繁殖できる環境があることが分かり、子どもたちも安心した。</p>		
授業について	<p>○ホタルの研究を長年している藤山先生に直接教えていただけるということで、子どもたちはとても楽しく生き生きと授業に参加した。</p> <p>○自分たちが調べたホタルの生態や四賀のホタルマップについて評価していただき、今後も継続して学習する意欲が高まった。</p> <p>○子どもたちは、生き物への関心が高く、気持ち悪がったり遠慮したりすることがないので、とても伸び伸び成長していることもほめていただいた。</p> <p>○今回に終わることなく、また来年も継続して松本ホタル学会のみなさんと活動していきたいと願いを持たた。</p>		

授 業 名	自然体感プログラム			
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 1年1組	参加人数	32人	
担当者	名取 砂由美	記入者	名取 砂由美	
実施日（期間）	令和2年10月21日（水）			
講師名	NPO法人わおん 山田 勇さん 山田 直美さん			
実施概要	自然の中で同じ色を探そう 万華鏡づくり			
実施状況 （授業風景）	    	<p><b>【自然の中で同じ色を探そう】</b></p> <p>はじめに、講師の山田さんより、色カードが配布され、「周りで同じ色を見つけてごらん。」と投げかけてもらいました。</p> <p>「この葉っぱの色は？」「緑」</p> <p>「でも、全部同じ？」「黄緑もある。」</p> <p>そこで、色カードの確認です。</p> <p>「これは？」「緑」</p> <p>「じゃあ、こっちは？」「黄緑」</p> <p>「同じ色あるかな。」夢中で葉っぱや石など見つけました。</p> <p>「黄土色もありそう。」</p> <p>「青がない・・・」</p> <p>遊具の色とも違う伝統色の青だけに、南庭になかなかなく、困っていると、「見回してご覧」と山田さんよりアドバイス。ぐるりと見回して「空」</p> <p>「あ、山の色」「いいねえ。」と遠くにも同じ色を見付けました。</p> <p>「葉っぱの中にも良く見ると、黒もあった。」</p> <p><b>【万華鏡づくり】</b></p> <p>色の関心が高まったところで、山田さんから「この集めた葉っぱとかで万華鏡を作ろう」と提案されると、ワクワク感がさらにアップでした。ペアにキットが配布され、早速、レンズの中に入れていく子どもたち。「うわあ、きれい」</p> <p>「見てみて！」と葉っぱなどをちぎって出来上がると、次々に山田さんや担任のところへ見せに来ました。「本物のリースみたいできれい！」</p> <p>簡単に出来る万華鏡の仕上がりに大満足で、キットが百円ショップで購入できることを講師の方から聞くと、「うちで買ってもらおう！」とやる気いっぱいでした。</p>		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なところにある葉っぱもよく見ると同じ葉っぱの中でも色が違う。</li> <li>・すぐ見つかる色となかなか見つからない色もある。</li> <li>・他の場所でも色を探してみたい。</li> <li>・葉っぱや石や実も万華鏡に入れるとすごくきれいになる。</li> <li>・自分で作ってみたいくなった。</li> <li>・作った万華鏡もって帰りたいかった。</li> <li>・簡単に出来るから百円ショップでキットを買って作りたい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庭にある身近な自然素材である葉っぱや実、石などを、見て、触って、見比べてと体感を通して触れていくことで、「よく見なさい」とあえて言わなくてもジーンと夢中で探し、見るようになる子どもたちの姿に、自然体感プログラムの良さを感じました。</li> <li>・配色カードも見やすく、使いやすいサイズにラミネートされていて、1年生の子も簡単に扱うことが出来、教材の作り方も参考になりました。</li> <li>・配色カードも万華鏡もペアで一つというのも、それはそれで自然とコミュニケーションを働かせられ、良かったと感じました。</li> <li>・日ごろ遊びや学習の場として馴染みのある庭であったが、視点を変えると見方考え方も広がるということを学ぶことが出来ました。1時間があっという間で、もっとやりたい!と思うほど夢中になった良いプログラムでした。</li> </ul>
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：15 - 2】

授 業 名	自然体感プログラム		
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 1年2組	参加人数	32人
担当者	池上 航	記入者	池上 航
実施日(期間)	令和2年10月21日(水)		
講師名	NPO法人わおん 山田 勇さん 山田 直美さん		
実施概要、実施状況	【番号：15-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一見緑色の葉っぱもよく見ると同じ葉っぱの中でも色が違う。</li> <li>・すぐ見つかる色となかなか見つからない色もある。</li> <li>・他の場所でも活動してみたい。</li> <li>・葉っぱや石や実も万華鏡に入れるとすごくきれいになる。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庭にある身近な自然素材である葉っぱや実、石などを、見て、触って、見比べてと体感を通して触れていくことで、「よく見なさい」と言わなくても思わず夢中で探し、見るようになる子どもたちの姿に、自然体感プログラムの良さを感じました。</li> <li>・配色カードも見やすく、使いやすいサイズにラミネートされていて、1年生の子も簡単に扱うことが出来、教材の作り方も参考になりました。</li> <li>・配色カードも万華鏡もペアで一つというのも、それはそれで自然とコミュニケーションを働かせられ、良かったと感じました。</li> <li>・日ごろ遊びや学習の場として馴染みのある庭であったが、視点を変えると見方考え方も広がるということを学ぶことが出来ました。1時間があっという間で、もっとやりたい!と思うほど夢中になった良いプログラムでした。</li> </ul>		

授 業 名	自然体感プログラム		
学校名、学年、学級	松本市立菅野小学校 1年3組	参加人数	33人
担当者	大澤 ちひろ	記入者	大澤 ちひろ
実施日(期間)	令和2年10月21日(水)		
講師名	NPO法人わおん 山田 勇さん 山田 直美さん		
実施概要、実施状況	【番号：15-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なところにある葉っぱもよく見ると同じ葉っぱの中でも色が違う。</li> <li>・すぐ見つかる色となかなか見つからない色もある。</li> <li>・他の場所でも色を探してみたい。</li> <li>・葉っぱや石や実も万華鏡に入れるとすごくきれいになる。</li> <li>・自分で作ってみたい。</li> <li>・作った万華鏡もって帰りたい。</li> <li>・簡単に出来るから百円ショップでキットを買って作りたい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庭にある身近な自然素材である葉っぱや実、石などを、見て、触って、見比べてと体感を通して触れていくことで、「よく見なさい」とあえて言わなくてもジーっと夢中で探し、見るようになる子どもたちの姿に、自然体感プログラムの良さを感じました。</li> <li>・配色カードも見やすく、使いやすいサイズにラミネートされていて、1年生の子も簡単に扱うことが出来、教材の作り方も参考になりました。</li> <li>・配色カードも万華鏡もペアで一つというのも、それはそれで自然とコミュニケーションを働かせられ、良かったと感じました。</li> <li>・日ごろ遊びや学習の場として馴染みのある庭であったが、視点を変えると見方考え方も広がるということを学ぶことが出来ました。1時間があったという間で、もっとやりたい!と思うほど夢中になった良いプログラムでした。</li> </ul>		

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立中山小学校 特別支援学級	参加人数	3人
担当者	特別支援学級担任 祝迫 なおみ	記入者	祝迫 なおみ
実施日（期間）	令和2年10月21日（水）8：55～10：30		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん 他2名		
実施概要	<p>1．木の年輪について学ぶ。 2．生地を作りバウムクーヘンを焼く。</p>		
実施状況 （授業風景）	<p>1． 木の年輪のお話</p>  <p>年輪から木の年齢やその年の様子を知ることができることを学んだ。年輪を間近で見ることができた。</p> <p>2．バウムクーヘン作り</p>  <p>卵を自分で割り、粉と砂糖を混ぜて生地を作った。生地を竹の棒に塗って炭火の上で回した。</p>  <p>竹を回して焼き生地を塗ってもらう作業を繰り返すうちにコツをつかみ、上手にできるようになった。また友だちと息を合わせて回すことができた。</p>  <p>できあがったバウムクーヘンを竹から外し切ってみると、年輪が出てきた。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが主体的にとってもよい表情で活動していた。</li> <li>・自分で作ることができて楽しかった。先生やお家の人にも食べてもらえてうれしかった。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの様子をていねいにみて一緒に活動していただき、大変ありがたかった。</li> <li>・たくさんの体験的な活動があり、子どもたちにとって自分で作る楽しさを味わうことができたり身近な自然に触れることができたりするよい機会になった。</li> </ul>		

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立今井小学校 4学年	参加人数	30人
担当者	担任 藤森 ひとみ	記入者	藤森 ひとみ
実施日（期間）	令和2年7月22日（水）		
講師名	松本市上下水道局下水道課 宮淵及び両島浄化センター職員		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントを使って、浄化センターまでの下水の流れを教えてもらった。</li> <li>・ペットボトルを使って、紙の溶け方を模範で実験してもらった。</li> <li>・顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察させてもらった。</li> </ul>		
実施状況 （授業風景）	 <p>パワーポイントを使って、下水道の仕組みを教わりました。</p>		<p>トイレトペーパーは溶けやすいことがわかりました。 →</p>
		<p>本校の玄関にある水槽の中には微生物がいるのか、顕微鏡を使って調べて貰いました。微生物を発見し、子どもたちは嬉しそうでした。</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「油を流してはいけないことがわかったから気を付けようと思った。</li> <li>・「微生物がたくさん働いてくれているから、おいしい水が飲めるんだな。微生物すごい。」</li> <li>・授業で出たよごれた水（書道の筆を洗った水など）は、そのまま水道に流さないようにする様子が見られた。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>打ち合わせの時から、とても丁寧に対応していただき、大変ありがたかったです。子どもの声もしっかり聞いて受け答えしてくださいました。学年通信でも発信し、親子で考えて貰うようにしました。自分たちにもできることを教えて頂いたので、水を大切に使う意識を持たせていただきました。</p> <p>とてもいい時間になりました。</p>		

<p>授業名</p>	<p>自然素材で簡単工作</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立波田小学校 4学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>145人</p>
<p>担当者</p>	<p>宮崎 正資 青柳 智之 小平 勇喜 小岩井 直子</p>	<p>記入者</p>	<p>宮崎 正資</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和2年10月5日(月)、6日(火)</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO法人わおん 山田 直美さん 他2名</p>		
<p>実施概要</p>	<p>学校の図工室にて、講師の先生方から説明を受けながら、自然の木の枝をのこぎりで切った。その後、それぞれで加工し、ぶんぶんゴマやマグネットを作成した。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>木の種類やそれぞれの木の特徴を聞いた。その後、木を切る方法についての説明を受けた。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>切り方の説明を聞いたあと、仲間と協力し合いながら、様々な種類の木を切った。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ぶんぶんゴマを作るために、錐で穴を開けた。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>木を切るとき2種類ぐらいやって、かたかったけど、友だちと交代しながらやったらできたから、今度切るときも協力すれば絶対できると思った。</li> <li>木は桜。桜の丸太はかたくて苦戦しました。でも、わおんさんのアドバイスで切ることができました。</li> <li>やすりがけのとき、わおんさんがコツを教えてくれたから、よく分かった。</li> <li>やすりをかけたら、見た目はガタガタだったけど、さわり心地はさらさらしたようなちょっとつるつとした感じでした。やすりがけをすると気持ちがよかったです。</li> <li>また、木で工作をして、家に飾ってうれしくなりたい。また今度もやりたい。</li> </ul> </li> <li>先生方の感想、要望等 <p>教師のように細かく説明するのではなく、「困ったら聞いてね」というスタイルでやっていただいた。このことで、子どもたちは、分からないことだらけで、「自分から質問しないと前に進まない」状況に置かれることになった。自然、友だち同士はもちろん、大人ともたくさん会話をするきっかけが生まれた。木と触れ合うことだけでなく、工作を通じた人とのふれあいがとてもいいなあと感じた。</p> </li> </ol>		

<p>授 業 名</p>	<p>川の上流を探検しよう</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立安曇小学校 3学年3名 4学年6名</p>	<p>参加人数</p>	<p>9人</p>
<p>担当者</p>	<p>片桐 義和（3年担任）</p>	<p>記入者</p>	<p>片桐 義和</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和2年8月20日（木）</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん 奥田 祥希さん</p>		
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川で遊ぶためのライフジャケット等の着用の仕方</li> <li>・川で安全に遊ぶための基礎的な歩き方等</li> <li>・上流へ向けて探検</li> </ul>		
<p>実施状況 （授業風景）</p>	<p>ライフジャケットを着て道具のフィッティングをしている様子</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・道具に関しては、命に関わる大切なことなので、時間をかけて丁寧に確認をしていただきました。</li> </ul> <p>川に流されて水に慣れてる様子</p>  <p>川に頭の方からダイブして慣れる様子</p>  <p>水をかけ合って楽しむ様子</p>  <p>川の上流に向かって探検している様子</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・水が冷たく気もち良かったですが、はじめはおっかなびっくりでした。</li> </ul> <p>滝の途中から滝壺に向かってダイブしている様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめの子はなかなか飛び降りられなくて、躊躇していましたが後に行くほど、どんどんと飛び降りて楽しむことができました。</li> </ul> 		

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>ダイブ後、滝壺から流されて、一息ついている様子</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛び降りるのが楽しくなって、2回挑戦する子もいました。</li> </ul>
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1番印象に残ったことは、岩から水にとびこくことです。3m以上の岩から飛び込む、一生に1度くらいしかできない体験ができて、とてもうれしかったです。白くなっているところの方が横切れやすいということも知れてとても楽しかったです。</li> <li>・ 1番流れの強いところに行ったら流されてできませんでした。でも、滝ではちょー怖かったけどやったら「怖くない・・・」と思いました。</li> <li>・ さいしょねころがって、流れたやつもやったことがなかったので、やれてよかった。ながれるのがすべり台をしているみたいで楽しかった。</li> <li>・ 歩いているときに流れが強いところもあったのでこわかったです。でも、流されそうで足がゆれて楽しかったです。</li> <li>・ 岩のところ(たきから)でとびおりました。水族館で見る、イルカショーでイルカがジャンプするところに少しにいて、イルカの気分になったから楽しかったです。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等 <p>川は危ないところというのが基本的な考え方ですが、今回の活動を通して、安全な準備をして、安全な方法で活動することはとても楽しいことだということを実体験を通して知ることができました。子どもたちにとって身近な川をまた違った視点から見るができるようになってくれるとうれしく感じます。水も周りの環境もきれいな上流の川での体験が、今後下流に行くにつれてゴミやよごれが含まれていくことや、自分の身近な川がどんな様子なのかを考えていけるように学習が進めていけたらと感じます。</p> </li> </ol>

授業名	水辺の生物の観察会		
学校名、学年、学級	松本市立今井小学校 1年1組	参加人数	19人
担当者	1年1組担任 織茂 幸子	記入者	織茂 幸子
実施日(期間)	令和2年8月19日(水) 10:30~11:30		
講師名	NPO法人川の自然と文化研究所		
実施概要	【松本養護学校のピオトープで、いきものさがし】 ・生き物を探してつかまえて、みんなで観察をする		
実施状況 (授業風景)			
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カエルをつかまえて楽しかった。</li> <li>・見たこともない虫をつかまえてうれしかった。</li> <li>・生き物の名前を教えてもらってうれしかった。</li> <li>・生き物のことを教えてもらってうれしかったし、もっと知りたい。</li> <li>・楽しかったからまたやりたい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内では、生き物がいる水辺がないため、隣の松本養護学校のピオトープをお借りした。アマガエル、トノサマガエル、モノアラガイ、サカマキガイ、ミズカマキリなどをつかまえることができ、身近な自然の中にいるんな生き物がいることを知ることができた。子どもたちがつかまえた生き物の名前を教えてもらい、より身近に感じる事ができた。</li> <li>・子どもたちは川にどんどん入っていき、時間いっぱい熱中する姿があり、子どもたちにとって必要な体験だと改めて感じた。</li> </ul>		

<p>授 業 名</p>	<p>身近な自然観察</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立今井小学校 1年1組</p>	<p>参加人数</p>	<p>19人</p>
<p>担当者</p>	<p>1年1組担任 織茂 幸子</p>	<p>記入者</p>	<p>織茂 幸子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和2年10月5日（月）9：30～11：30</p>		
<p>講師名</p>	<p>自然観察の会 ひこばえ</p>		
<p>実施概要</p>	<p>【今井小学校の学習公園で、「秋をさがそう」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなたねをさがしてみよう</li> <li>・いきものをさがしてみよう。</li> <li>・自然のものであそぼう（木の実のスプーンリレー）</li> <li>・木の実を拾おう（くるみ拾い）。</li> </ul>		
<p>実施状況 （授業風景）</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>学習公園にある種や実を集めたらこんなにたくさん集まったよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>「コクワガタ」の紙芝居に集中しています。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>この木はなんて名前かな？</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>いろんな形の実をスプーンではこんでリレーをしました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>この実は、なんの実かな？</p> </div> </div> </div>		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たねがたくさん見つかってうれしかった。</li> <li>・手作りのコクワガタの紙芝居を読んでくれておもしろかった。</li> <li>・ヌスビトハギがたくさんズボンについて楽しかった。</li> <li>・スプーンリレーが楽しかった。</li> <li>・クルミがたくさん拾えてよかった。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習公園に種や草の種類がたくさんあることを知ることができ、今まで遊んでいるだけでは気付かなかったことを知ることができた。植物の名前を知ること、草がそれぞれ名前を持ったより身近な存在になると感じた。</li> <li>・ヌスビトハギは以前から眼鏡みたいな形だと興味を持っていたが、アレチヌスビトハギは似ているが4つのレンズがあることを知って、子どもたちも私も知識を広げることができた。</li> <li>・くるみがたくさん拾えて、家に持ち帰って食べたという子も多く、家族で味わってもらうことができた。</li> <li>・講師の先生に「子どもたち、よく（草花の）名前を知っていますね。」「言葉が豊かですね。」と仰っていただき、普段から野に出ておさんぼをしていることが子どもたちの表現を豊かにすることに少なからずつながっているかなと思った。</li> <li>・木の実がなる木が多く、草花も多様な学習公園はいろんな学習材があり魅力的な場所である。これからも子どもたちと出かけていきたい。</li> </ul>
---------------	--

授 業 名	川であそぼう		
学校名、学年、学級	松本市立筑摩小学校 2年1組	参加人数	24人
担当者	村澤 薫	記入者	1組担任 村澤 薫
実施日（期間）	令和2年9月7日（月）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	薄川へ行き、水辺の安全講習及び川遊び・川の生き物探し。 ・身近にある川と関わることで、今まで気づけなかった自然の様子や植物や生き物を自分の目で見たり発見したりする。 ・川との安全なかかわり方について知る。		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>&lt;安全講習&gt; ヘルメットとライフジャケットを着用し、川の特長や命を守るために必要なことの説明を聞く子どもたち。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>ライフジャケットで体を浮かし、川の流れにそって川を下りました。足を下流に向けて、流れていきました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>泡になっているところにジャンプしました。講師の先生が待っていてくれるので安心して思いっきりジャンプしています。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>&lt;生き物さがし&gt; 一人一人網を持ち、生き物を探しました。大きなかじか・小さなかじか・ヘビトンボなどたくさんの生き物を捕まえることができました。</p> </div> </div> </div>		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川の危険や深さのことが分かった。どうやったら命は守れるかや泡に行っ てはいけないという大切なことを教わってよかった。</li> <li>・最初は川は楽しいところだと思っていたけど命に係わるそういう危険もある んだと思った。</li> <li>・深いところにジャンプして入るとき、怖かったけどがんばって入ってみたら、 とても楽しかった。</li> <li>・魚を取ろうとしてもなかなかとれなかった。とれなかったけど楽しかった。</li> <li>・川に浮かんだときに、空に浮かんだみたいでうれしかった。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>最初は怖がっていた子どもたちも楽しさを実感して「もっとやりたい。」 「もう一回！」と、大喜びでした。「川の生き物さがし」では、短い時間に、 何種類もの生き物を見つけることができ、こちら大喜びの子どもたちでし た。はじけるような子どもたちの笑顔は、やはり自然の中が一番ということ を教えてください。</p> <p>今回のような体験は、学校職員だけではとても経験させてあげられませ んでした。川のことをよく知って、前日から天気と川の様子を見て、場所を整え、 ライフジャケットやヘルメットなど安全に気を配って準備をしてくださったり リトルピークスの方々のおかげです。感謝したいです。</p>
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：22-2】

授 業 名	川であそぼう		
学校名、学年、学級	松本市立筑摩小学校 2年2組	参加人数	25人
担当者	横内 明美	記入者	2組担任 横内 明美
実施日（期間）	令和2年9月7日（月）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要、実施状況	【番号：22-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラッコのように浮くのが、1回目は怖かったけど、2回目は楽しかった。</li> <li>・深いところにジャンプして入るのが、頭まで沈んで楽しかった。</li> <li>・生き物探しで、かじか・タイコウチ・ヘビトンボ・ヤゴ・トビケラを捕まえ られてうれしかった。教室で、飼うのが楽しみ。</li> <li>・とても楽しかった。もう一回やりたい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>最初は怖がっていた子どもたちも楽しさを実感して「もっとやりたい。」 「もう一回！」と、大喜びでした。「川の生き物さがし」では、短い時間に、 何種類もの生き物を見つけることができ、こちら大喜びの子どもたちでし た。はじけるような子どもたちの笑顔は、やはり自然の中が一番ということ を教えてください。</p> <p>今回のような体験は、学校職員だけではとても経験させてあげられませ んでした。川のことをよく知って、前日から天気と川の様子を見て、場所を整え、 ライフジャケットやヘルメットなど安全に気を配って準備をしてくださったり リトルピークスの方々のおかげです。感謝したいです。</p>		

授業名	「川の生き物をしらべてみよう」		
学校名、学年、学級	松本市立並柳小学校 2学年	参加人数	70人
担当者	担任 武井 美佳	記入者	担任 武井 美佳
実施日（期間）	令和2年9月29日（火）		
講師名	NPO法人わおん 山田 勇さん 横田 耕太郎さん		
実施概要	学校近くの水路で水生生物調査を行った。		
実施状況 （授業風景）	 <p>スジエビをたくさん捕まえることができました。また、ドジョウ、ザリガニなども捕まえ、観察することができました。観察専用の容器を持って来ていただいたので、よく見ることができました。</p>  <p>普段、川で遊ぶ・水生生物を捕まえる機会が少ない子どもたちにとって、とても貴重な体験でした。楽しみながら生き物を捕まえることができました。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 学校の近くの用水路にたくさんの生き物がいることを知り、驚いていました。また滅多に水生生物に触れることがない子が多く、楽しみながら新しい発見ができ、子どもたちにとって楽しい授業になりました。 水路の探検が終わった後もまだ捕まえない、家に帰ってから調べてみたいと学校での活動が子どもたちにとって思いがいろいろなことに繋がっていました。</p> <p>2 先生方の感想、要望等 用具等は合同庁舎の地域振興環境廃棄物対策課環境保全係「せせらぎサイエンス事業」より、すべてお貸かりしました。とても助かりました。</p> <p>3 地域の方の感想 今回学校ボランティアの方3名にも安全に活動が出来るよう一緒に参加していただきました。学校の近く、町の中の水路にたくさんの生き物がいるとは思わなかったと驚いていました。楽しみながら参加してくださいました。</p>		

授 業 名	体感&体感！ 自然体験学習		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 6年1組	参加人数	30人
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和2年9月18日（金）		
講師名	信州やがいたいけん楽校ぶらす 降幡 光幸さん		
実施概要	アイスブレイクゲーム ネイチャーゲームと火おこし体験 自然を大切に 人の一生と火の一生(講義) 燻製づくり見学		
実施状況 (授業風景)	<p>アイスブレイクゲーム</p>  <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○フラフープを使った遊び</li> <li>・グループごと一本の指の上にフラフープを乗せ何秒で座ることができるかを競い合った。早くできるグループにはリーダー的な人が音頭を取っていたので、目標タイムに向けて、何度も行っていた。</li> <li>・なかなかできないグループに、周りからアドバイスを送っていた。</li> <li>○じゃんけん遊びなども行った。</li> </ul> <p>ネイチャーゲーム</p>  <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目隠しをして前の友達につながって歩く遊びを行った。</li> <li>・はじめは見えないのに歩けないとか、怖いとか騒いでいたが、始まると音をきいたり、足元の様子を探ることに集中して歩いたりして楽しむことができた。</li> <li>・目を開けたときは、こんなところを歩いていたんだと驚いていた。またやりたいという児童が多かった。</li> </ul> <p>自然を大切に 人の一生と火の一生(講義)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○自然からの恵み、命の大切さ、自然への謙虚な心、畏敬の心などについて学んだ。</li> </ul>		

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>火おこし体験</p>  <p>○火おこしの道具を使い、摩擦の力を利用して、火をおこす体験をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは二度目の体験なので、協力をして半数の子が、火をおこすことができた。</li> </ul>
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・たった一つのフラフープで、こんなに楽しめるんだと思った。</li> <li>・当たり前のように遊んでいたふ“竹馬の森”が、目をつむって視感を研ぎ澄ませて歩き回るだけなのに、ものすごくワクワク感と新鮮な感じがして面白かった。</li> <li>・火おこし体験は前回やったけれども、むずかしかった。</li> <li>・燻製を見たとき、火の便利さや素晴らしさに感動した。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の時から遊んでいた“竹馬の森”で、鬼ごっこ以外にも、木の葉の形や臭いなど身近にある物を使って遊ぶことができたり、自然の中での遊び方を知ったりしたことで、遊具がなくてもいろいろなことができることを知るのにとってもよかった。</li> <li>・途中で雨が降ってきてしまったのですが、その中でも遊ぶことができることを教えていただけたのはよかった。</li> </ul> </li> </ol>

<p>授 業 名</p>	<p>「わがまち梓川探偵団」～学区の7つの謎を探せ～</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立梓川小学校 6年3組</p>	<p>参加人数</p>	<p>30人</p>
<p>担当者</p>	<p>小原 妙子</p>	<p>記入者</p>	<p>小原 妙子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和2年11月5日（木）</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 宮崎 崇徳さん 他11名</p>		
<p>実施概要</p>	<p>梓川発見ウォーキング                  ・「謎」の隠されている位置や内容の分類を元にルートを考える                  ・「謎」の近くまで行ったら写真を元に場所を特定し、「謎」の理由や成り立ちを考える。講師の方々に補足説明をしていただく。</p>		
<p>実施状況 （授業風景）</p>	<p>（1）梓川発見ウォーキングで回る地域を大まかに把握した。（前日）                  ・地図の見方の確認                  ・通学路を元に、回る地域を大まかに把握する。</p> <p>（2）講師の方々にアドバイスをいただきながら回るコースを決める。</p> <div data-bbox="483 835 927 1167" data-label="Image"> </div> <p>たくさん回りたいから効率的なルートを優先して決める班もあれば、「水の謎」「暮らしの謎」などのように謎の分類を優先してルートを決める班も見られた。</p> <p>（3）梓川発見ウォーキング（班別探検）</p> <div data-bbox="483 1234 927 1570" data-label="Image"> </div> <p>「暮らしの謎～家の屋根に大きな鳥？」の探索。古い作りの家には当時の人々の願いが形となって表れていることに気付く。</p> <div data-bbox="483 1574 927 1872" data-label="Image"> </div> <p>「水の謎～崖の上にダムが2つ」ダムは水をためるだけでなく、砂や砂利によって田畑があれないように防ぐダムがあることを理解する。</p>		

<p>実施状況 (授業風景)</p>		<p>「文化の謎～神様はどこにいる？」普段から親しんでいる神社の名前の意味や拝殿の裏に本殿があることなど、受け継がれてきた日本の文化の一端に触れる。</p>
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 いくつかの「なぞ」を解くためにその場所へ行き、観察しました。観察した後に説明もしてもらいました。わたしたちの班は暮らしの謎が一番気になっていたのので、そこに行く目的で回っていきました。意外と多く回れたので、よかったです。</li> <li>2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の方に教えてもらい、子どもたちにとっていつもと違う気持ちの引き締めを感じた。</li> <li>・外部の方と自分たちだけで行動することや自分たちの話し合いでルートを決めることに取り組み、協力の大切さを一層感じとったように見受けられた。</li> </ul> </li> </ol>	

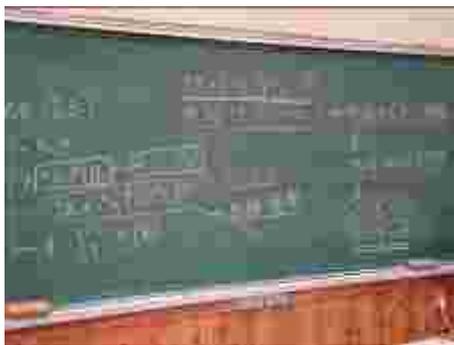
環境教育支援事業実施報告書

【番号：25-2】

<p>授業名</p>	<p>「わがまち梓川探偵団」～学区の7つの謎を探せ～</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立梓川小学校 6年5組</p>	<p>参加人数</p>	<p>30人</p>
<p>担当者</p>	<p>小林 僚</p>	<p>記入者</p>	<p>小林 僚</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和2年10月16日(金)</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 宮崎 崇徳さん 他11名 保護者2名</p>		
<p>実施概要、実施状況</p>	<p>【番号：25-1】と同様</p>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・その場所の<b>深い意味</b>を知らなかったから知れてよかった。</li> <li>・その場所やもので、そのころの<b>人の考えや工夫、想いが分かった</b>ような気がした。</li> </ul> <p>(授業実施1ヶ月後に...日記で)</p> <p>木曜日の朝、いつも通り学校に登校していると、どこかで見たようなものを発見しました。それは、梓川ウォーキングのなぞスポットだったF地点に似たようなものです。<b>毎日通っているのに気づけないことがあるんだな</b>と思いました。これからも発見できたらいいなと思います。</p> </li> <li>2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師との連携ができ、私自身にとっても学校での学習の幅を広げる新たな視点をもつことができました。子どもたちも普段とは違う学習ができ、生き生きと学びを深めることができました。</li> <li>・今後も、そのような機会やつながりを進めていきたいと思います。</li> </ul> </li> </ol>		

授 業 名	梓川リバーアドベンチャーファイナル		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 6年2組	参加人数	30人
担当者	矢嶋 泰介	記入者	矢嶋 泰介
実施日（期間）	令和2年9月23日（水）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん 他3名		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河畔林の散策</li> <li>・川の渡り方の講習</li> <li>・水生生物の観察、採集</li> </ul>		
実施状況 （授業風景）	<p>河畔林の散策 川に向かう途中の河畔林で、河畔林の役割と梓川と地域とのつながりについて教えていただいた。</p> <p>川の渡り方の講習 川に飛び込み、対岸まで泳いで渡った。昨年は浮かんで流れることが中心だったので、自分で泳いで渡る経験ができ、子どもたちも前に学んだことをいかながら楽しんで泳いでいた。</p> <p>水生生物の観察、採集 実際に水生生物の採集をしながら、生き物の名前を教えていただいた。梓川でとれる生き物の種類が多いことに驚きながら、楽しんで生き物の採集をした。</p>   		
授業について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・川の中にジャンプして流れたことが楽しかった！</li> <li>・生き物探しが楽しかったです。石などをどけて色々な生き物を見つけたことが思い出に残りました。</li> <li>・クラスでつかまえた以外にもどんな生き物がいるか調べてみたいと思いました。</li> <li>・川の危険なところも分かったけど、川で遊ぶことの楽しさも分かって良かったです。</li> <li>・水切りは思ったよりは難しかったです。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の体験よりもさらに川の専門の道具を使い、専門の方に教えていただいたことで、楽しみながらも真剣に学び、体験する子どもたちの姿が印象的だった。</li> <li>・子どもたちにとって、とても身近な梓川の新たな一面を知り、より自分たちの地域への理解が深まったように感じる。日記やふりかえりカードにもその気づきをたくさん書いていた。</li> </ul> </li> </ol>		

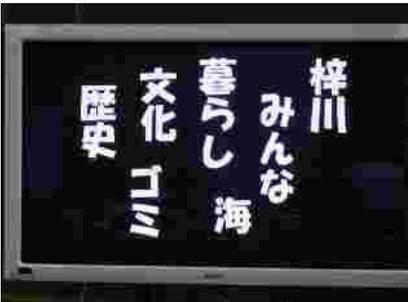
授 業 名	梓川リバーアドベンチャーファイナル		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 6年4組	参加人数	30人
担当者	久保田 朱音	記入者	久保田 朱音
実施日（期間）	令和2年9月23日（水）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん 他3名		
実施概要、実施状況	【番号：26-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久しぶりに川に入ることができて楽しかったです。</li> <li>・生き物探しが楽しかったです。自分でカジカを見つけたときは嬉しかったです。きれいな梓川を大切にしたいと思いました。</li> <li>・カジカなど採った魚を、クラスで飼うことができ嬉しいです。</li> <li>・川はやっぱり危険だと思ったけど、ライフジャケットやヘルメットを着けて、安全に遊べば大丈夫だと改めて感じました。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河畔林と梓川地域のつながりを学んだり、カジカなどを実際に見たことで梓川の水がきれいだということを改めて感じたり、梓川の魅力を確認する良い機会になりました。</li> <li>・リバーアドベンチャーで捕まえた魚を、今でも大事に育てている姿もあり、命の大切さも学ぶ事ができました。</li> <li>・なかなか、完全装備をして川で遊べる機会も少なくなってきたので、今の子どもたちにとっては貴重な体験をできる限りさせていただいてありがたかったです。</li> </ul>		

授 業 名	地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ		
学校名、学年、学級	松本市立山辺小学校 4年1組	参加人数	32人
担当者	担任 大久保 あきほ	記入者	大久保 あきほ
実施日（期間）	令和2年10月5日（月）		
講師名	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） 宮澤 信さん		
実施概要	1 講師自己紹介 2 講話 地球はすごい 地球は大変 「地球環境問題」「地球温暖化問題」 3 質疑・応答		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>地球はすごい</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地球は大変</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>質疑・応答</p> </div>		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・地球には温暖化のほかにも、いろいろな環境問題があることがわかった。 ・地球温暖化がどうして起こるのがよくわかった。 ・2100年の天気予報を見て、大変なことになることがよくわかった。 ・熱の原因になっている自動車や照明・家電の使い方に気をつけたい。 ・地球のためにできることを、少しでもいいからやっと思いこうと思った。 ・緑のカーテンも地球のためにできることのパンフレットにのってよかった。 2 先生方の感想、要望等 総合的な学習の時間の一環として取り組んでいる「緑のカーテン」を育てることの意義を子どもたちが改めて自覚したり、私たちの地球のために、自分たちにできることにはどんなことがあるかを知ったり、できることをやっと思いこうとすることの大切さを感じたりすることができるいい機会となった。		

授 業 名	ツキノワグマの生態を知ろう		
学校名、学年、学級	松本市立大野川小学校 1、2学年	参加人数	10人
担当者	奥原 由里	記入者	奥原 由里
実施日（期間）	令和2年8月28日（金）		
講師名	信州ツキノワグマ研究会 浜口 あかりさん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物クイズ</li> <li>・熊とはどんな動物か</li> <li>・熊に出会わないために。会ってしまったら。</li> </ul>		
実施状況 （授業風景）			<p>写真を使ってわかりやすい説明でした</p> <p>熊の手はこうなっているよ</p>
			<p>熊の頭蓋骨や毛皮などを触ってみたよ</p> <p>熊に出会ったらどうする？</p>
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズ形式での説明は、子どもたちの関心が高まりよかった。知っていると思ったことも意外と知らなかった様子だった。</li> <li>・実物や写真を見たり触れたりすることや、着ぐるみの熊が登場し、熊に出会ったときどうしたらよいか実際に動いてみることで、子どもたちは五感を使って学んでいた。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年、学区内での熊の目撃情報が増えてきている。「また熊が出た。」と、出没情報を聞いても驚かない様子もある子どもたちが、熊の生態や万が一出会ったときの対応について改めて学び、気を引き締めることができた。</li> <li>・「熊は凶暴で怖い」という思い込みが私自身にあったが、過剰に怖れる必要はなく、存在を知らせたり脅かさなかつたりすることで熊の方から離れていく、ということをお忘れずにいれば大丈夫だと学んだ。</li> </ul>		

授 業 名	乗鞍さんぽ		
学校名、学年、学級	松本市立大野川小学校 1、2、3学年	参加人数	11人
担当者	奥原 由里	記入者	奥原 由里
実施日（期間）	令和2年10月30日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗鞍高原を歩き、秋の自然を楽しんだ。</li> <li>・乗鞍にまつわる言い伝えを聞いたり、かつての炭焼き窯を見学したりした。</li> <li>・林道から外れ、ロープや木を掴みながら歩いた。山歩きを楽しんだ。</li> </ul>		
実施状況 （授業風景）	 <p>夜泣峠の言い伝えをお聞きしました</p>	 <p>野原でロープを使って遊びました</p>	 <p>ロープを使って斜面を下りました</p>
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロープを使って斜面を下りることは初めてで、始めは尻込みをしている子もいたが、一人ひとり丁寧に指導していただいて、全員下ることができた。</li> <li>・足場が不安定なところを歩くことは、普段ほとんどない。落ち葉や低木がたくさんある斜面をどんどん進んでいく姿にたくましさを感じた。</li> <li>・野原では、ロープを使って遊んだ。校庭や体育館ではなく、開放的な草の上で遊ぶことが気持ちよさそうであった。草の上に大の字に寝転んで空を見ている子もいた。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度とは違ったコースをお願いした。乗鞍をよく知る小峰さんが、子どもたちに体験してほしいことを厳選して案内してくださった。</li> <li>・ただ安全を確保しながら林道を歩くのではなく、今できることの少し上のことをチャレンジできたことが、子どもたちにとってとても良い経験になった。</li> </ul>		

<p>授 業 名</p>	<p>石窯ピザ体験</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立岡田小学校あさひ分校 4、5、6学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>10人</p>
<p>担当者</p>	<p>遠山 浩章 小林 雅子</p>	<p>記入者</p>	<p>小林 雅子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和2年7月17日（金）</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO法人石窯スマイル研究会 桐原 眞幸さん 中原 国友さん 桐原 みど里さん</p>		
<p>実施概要</p>	<p>ピザの作成（ピザ生地をのばす、選んだ具をのせる）、石窯で焼く（講師の先生方と）、焼き上がったピザをいただくことで食べ物の成り立ち・人の手のつながりを知り、調理体験・試食することで感謝の気持ちを味わった。</p>		
<p>実施状況 （授業風景）</p>	<p>生地をのばし、トッピングを先生と。 石窯の温度を測る経験。</p>  <p>焼き上がったピザを切るには力がいる。</p>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 「ちゃんと手をあらうんでしょ」「作る順番を決めてみたよ」「生地って意外と伸ばすのがむずかしい」「お野菜をのせると焼き上がったとき色がとてもきれいだね」「火の所の温度は400度もあるんだね」「ピザを切るのは難しい！桐原さんさすがだね」「焼きたてのピザはカリカリトロトロでおいしいね」など、新しい気づきがあったり生活中的スキル実践ができたりした。昨年に続き2度目の参加になった児童は、昨年学んだことを友達に伝えたり活かして食材を選んだりしていた。後日、はがきで桐原さん宅へお礼のお手紙を書く活動も行い、「暑い中用意してくださってありがとうございました」など感謝の気持ちを伝えること・人とつながっていることなど意識出来た。</p> <p>2 先生方の感想、要望等 子どもたちはとても素直に活動を喜び、楽しみ、感謝の気持ちを表す事が出来た。昨年度に続き小学校での実施だったが、我が校の中学部、そして不登校対応をしている児童の活動へも広げさせていただきたいと考えお願いしている。</p>		

<p>授業名</p>	<p>大河の一滴スライドショー</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立波田小学校 3年1組</p>	<p>参加人数</p>	<p>35人</p>
<p>担当者</p>	<p>小林 利章</p>	<p>記入者</p>	<p>小林 利章</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和2年9月2日(水)</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん</p>		
<p>実施概要</p>	<p>上高地源流見学に向けて、リトルピークスの小峰さんに「大河の一滴」の授業をしていただいた。梓川の源流までさかのぼり、その一滴が大河の一滴となり、梓川、犀川、千曲川、信濃川と名前を変えながら、海に注ぐ様子をイメージできるようにする。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;">   </div> <p style="text-align: center;">説明 ・槍ヶ岳などの梓川の上流の山々に降った雨や雪の一滴一滴が集まり、梓川となる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;">   </div> <p style="text-align: center;">説明 ・梓川がどんどん大きくなり、流れ下る。奈良井川と合流して犀川となる。犀川は、千曲川と合流して千曲川となる。県境を越えると信濃川となる。そして最後に日本海へ流れ込む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;">   </div> <p style="text-align: center;">説明 ・梓川は、みんなの暮らしや文化としっかりつながっている。九州の安曇族がここまで来たという。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;">   </div> </div>		

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・梓川の水により、農作物がとれる。キノコなど山菜がとれる。自然の恵みをたくさんいただいている。ところが、人間はゴミを捨てて汚してしまう。人工物を作って自然を壊してしまう。しかし、ダムのように必要な物もある。川をきれいにして、下流の人に渡そう。海の生物が、人間の捨てたゴミにより死んでしまうこともある。</li> </ul>
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・梓川は、いろいろな川が繋がっていることが分かった。</li> <li>・梓川の始めと終わりが分かって良かった。</li> <li>・海に、プラスチックがいっぱい流れて、海の生き物が死んでいることが分かった。ゴミを川や海に捨てないように気をつけたい。</li> <li>・ダムがあつてサケがこないことが分かった。</li> <li>・大人達がたくさんゴミを捨てているのが分かった。大人になっても川にゴミを捨てないようにしたい。</li> <li>・川の生き物を大切にしようと思った。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ単に、梓川の始めと終わりを教えていただくのではなく、川が私たちの生活と密接に結びついていること、川の恩恵を受けていることを教えていただいて、良かった。</li> <li>・私たちが、川を汚すことによって海の生物にまで害を及ぼしていることが分かり、川を汚さないでおこうという意欲をもつことができた。</li> </ul> </li> </ol>

環境教育支援事業実施報告書

【番号：31-2-1】

<p>授業名</p>	<p>大河の一滴スライドショー</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立波田小学校 3年2組</p>	<p>参加人数</p>	<p>36人</p>
<p>担当者</p>	<p>御子柴 瑞恵</p>	<p>記入者</p>	<p>御子柴 瑞恵</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和2年9月2日(水)</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん</p>		
<p>実施概要、実施状況</p>	<p>【番号：31-1-1】と同様</p>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・川の始まりが山の上だと聞いてびっくりした。</li> <li>・雪がとけた水が集まって川になるとは知らなかった。</li> <li>・山の水が60年もかかって川に出てくるなんてすごい。</li> <li>・梓川が他の川と一緒に海まで行くから、川の上の方の波田の自分たちが川をきれいにしておかないといけない。</li> <li>・湧き水を飲んでみたい。</li> <li>・上高地で梓川を早く見てみたい。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大河の始まりを様々な写真とともに話して頂き、子どもたちもイメージができたようだった。</li> <li>・地域の身近な梓川が発電に使われたり、環境にも大きく影響していたりして、川が私たちの生活と密接に結びついていること、川の恩恵を受けていることも教えていただいて、良かった。</li> </ul> </li> </ol>		

## 環境教育支援事業実施報告書

【番号：31-3-1】

授 業 名	大河の一滴スライドショー		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年3組	参加人数	35人
担当者	塩澤 和也	記入者	塩澤 和也
実施日(期間)	令和2年9月2日(水)		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん		
実施概要、実施状況	【番号：31-1-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 梓川の源流について知れてよかった。</li> <li>・ 川が最後は海になると知った。</li> <li>・ 海にこんなにゴミがあることに驚いた。</li> <li>・ ダムの名前がわかった。</li> <li>・ はじめの一滴が山の頂上だとは思わなかった。</li> <li>・ ダムと鮭に関係があることを初めて知った。</li> <li>・ 川の生き物を大切にしようと思った。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋汚染ということと、7月からはじまった買い物袋の有料化をつなげて話をしていただいたことで、子どもたちにとって、日常生活と海洋汚染とがつながっているというイメージを持つことができたと思います。</li> <li>・ 上高地へ何を学びに行くのか、梓川が上高地までつながっているということ意識できていない児童にとって、本当の大河の一滴は、山の頂上に積もる雪であったり、草花に降る雨であったりということを考え、想像するよい機会となった。</li> </ul>		

## 環境教育支援事業実施報告書

【番号：31-4-1】

授 業 名	大河の一滴スライドショー		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年4組	参加人数	35人
担当者	押野 寛明	記入者	押野 寛明
実施日(期間)	令和2年9月2日(水)		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん		
実施概要、実施状況	【番号：31-1-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 梓川は、北アルプスのたくさんの川が合わさって流れてきていることを知った。槍ヶ岳にある梓川の源流を見たい。</li> <li>・ 梓川では、昔は波田のあたりまでサケが上ってきていたけれど、ダムができて捕れなくなったとはぜんぜん知らなかった。</li> <li>・ 梓川の水が少ないのも、ダムが造られているいろいろなことに使われているとわかった。水も、なければ困るし、洪水になっても困る。</li> <li>・ ごみが川に入ると、海にまで流れていってしまう。自分たちが捨てたごみで、海の生き物が死んでいるかもしれない。特にプラスチックのごみを川や海に捨てないようにしたい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ただ単に、梓川の始めと終わりを教えていただくのではなく、川が私たちの生活と密接に結びついていること、川の恩恵を受けていることを教えていただいて、良かった。</li> <li>・ 私たちが、川を汚すことによって海の生物にまで害を及ぼしていることが分かり、川を汚さないでおこうという意欲をもつことができた。</li> </ul>		

授 業 名	上高地源流見学（川の果てまで行ってみよう）		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年1組	参加人数	35人
担当者	小林 利章	記入者	小林 利章
実施日（期間）	令和2年9月15日（火）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん 笠松 学さん 関谷 健司さん 宇賀神 志保さん 福谷 愛子さん 奥田 祥希さん 田中 雅務さん 横田 耕太郎さん		
実施概要	梓川の源流と同等な上高地の清水川の源流や水殿ダムの見学を通して、身近な梓川の源流が上高地にあることを知る。また、同じ川でも、それぞれの場所で、流れや色、ゴミの有無、生物などに違いがあることに気付き、梓川への愛着を深め、環境保全の意識を高める。		
実施状況 （授業風景）	 <p>説明 水殿ダム。ダムの深さや使用目的などの説明を受けたり、ダムの施設やダム湖の様子を見たりしながら、ダムの上を歩いている。</p>  <p>説明 ウェストン碑近くの梓川の川原。川や川原の様子を観察を行う。</p>  <p>説明 清水川の源流について説明を受けている。</p>  <p>説明 清水川の源流からわずか200mの場所。澄んだ源流を体感する。</p>		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水殿ダム役割（農業用水、飲料水、防災、発電）が分かってよかった。</li> <li>・ダムの水は、緑色だった。汚くてよくない。なぜ、ダムにゴミや木があるのか。</li> <li>・山の水が60年後にきれいになって湧き出てくるなんてすごい。</li> <li>・水がおいしい。イワナもいて自然だ。</li> <li>・清水川が6、梓川は18、12もちがっていた。</li> <li>・波田の梓川は、にごっていた。上高地の梓川や清水川は、すんでいてきれい。</li> <li>・梓川をきれいに、大事にしたい。</li> <li>・ゴミをすてないようにしたい。</li> <li>・梓川の川原をもっと過ごしやすくしたい。川原でもっとすごしたい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>実際に上高地の自然や源流に触れることで、自然の尊さに気づき、地域の梓川や自然を大切にしようとする気持ちを高めることができた。大変有意義な体験だった。</p>
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：31-2-2】

授業名	上高地源流見学（川の果てまで行ってみよう）		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年2組	参加人数	36人
担当者	御子柴 瑞恵	記入者	御子柴 瑞恵
実施日（期間）	令和2年9月15日（火）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん 笠松 学さん 関谷 健司さん 宇賀神 志保さん 福谷 愛子さん 奥田 祥希さん 田中 雅務さん 横田 耕太郎さん		
実施概要、実施状況	【番号：31-1-2】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダムを初めて見た。ただ水をためるだけでなく、いろいろな役目があることを初めて知った。</li> <li>・ダムがあると魚が通れないから、自然にはちょっといけない。</li> <li>・上高地の梓川は水が青っぽく見えてすごくきれいだった。青く見えるのは下の石の種類のせいだと教えてもらった。</li> <li>・川の水は触るとすごく冷たかった。</li> <li>・岩魚もいてすごくきれいな水だと分かった。</li> <li>・清水川の水が飲めてびっくりした。梅花藻が生えているところはすごくきれいな水だと教えてもらった。</li> <li>・清水川の水を持ち帰って家でご飯を炊くことに使った。</li> <li>・梓川がずっときれいなようにごみとかを捨てないようにしたい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>子どもたちは地域を流れる梓川が上高地からつながっていることにまず驚きを感じていた。実際に訪れることで上流と波田周辺では川の様子にさまざまな違いがあることを感じる事ができた。また、この自然豊かな環境を大切にしたいという意識も持っていた。</p>		

## 環境教育支援事業実施報告書

【番号：31-3-2】

授 業 名	上高地源流見学（川の果てまで行ってみよう）		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年3組	参加人数	35人
担当者	塩澤 和也	記入者	塩澤 和也
実施日（期間）	令和2年9月15日（火）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん 笠松 学さん 関谷 健司さん 宇賀神 志保さん 福谷 愛子さん 奥田 祥希さん 田中 雅務さん 横田 耕太郎さん		
実施概要、実施状況	【番号：31-1-2】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・波田の梓川よりも水が冷たくてびっくりした。</li> <li>・波田の河川敷とは違って、木が多くあった。</li> <li>・上高地は思っていたよりも暖かかった。</li> <li>・清水川は、川だから汚れていると思っていたけど、きれいだった。</li> <li>・ダムの水の多さに驚いた。</li> <li>・上高地の川のきれいさを守る為に、ゴミを捨てないようにしよう。</li> <li>・汚れていたダムをきれいにしたいと思った。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私自身、今回の学習の機会に初めて上高地を訪れたが、上高地の自然の豊かさや、水の清らかさに圧倒された。海洋教育を通して、児童が直接的に自然の雄大さに触れ、この自然を守っていかなければならないということに気付ける貴重な機会だったと思う。</li> <li>・自然を大切にしようという気持ちが児童に芽生えた有意義な学習であった。</li> </ul>		

## 環境教育支援事業実施報告書

【番号：31-4-2】

授 業 名	上高地源流見学（川の果てまで行ってみよう）		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年4組	参加人数	35人
担当者	押野 寛明	記入者	押野 寛明
実施日（期間）	令和2年9月15日（火）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん 笠松 学さん 関谷 健司さん 宇賀神 志保さん 福谷 愛子さん 奥田 祥希さん 田中 雅務さん 横田 耕太郎さん		
実施概要、実施状況	【番号：31-1-2】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水殿ダムの役割（農業用水、飲料水、防災、発電）が分かってよかった。電気が東京まで送られているのに驚いた。</li> <li>・ダムの水は緑色で、きたなかった。上のダムの方がきれいだった。ダムに木などが浮いていた。大雨で流れてきたと聞いた。</li> <li>・山の水が60年後にきれいになって湧き出てくるなんてすごい。</li> <li>・波田の梓川の水は17℃、清水川は7℃で、温度の違いに驚いた。源流は、水が冷たくて、透き通ってきれいだった。</li> <li>・バスから見た梓川の上流の様子は、石がごつごつしていた。</li> <li>・上高地の河原の石は、波田の河原の石と変わらない。</li> <li>・自然があるから梓川がきれいになっていると思う。大事にしたい。</li> <li>・海まで流れていってしまうので、ゴミをすてないようにしたい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>学校近くの梓川と上流部の流れや上高地の自然、源流域を比較して見ることによって、より梓川や地域の自然を大切にしようとする気持ちを高めることができた。ごみを通じて、目の前の川が海にまで繋がっているという意識をもつことができ、環境への関心を高められたことなど、子どもたちにとって大変有意義な体験となった。</p>		

授 業 名	梓川生き物観察（川の生き物探検隊）		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年1組	参加人数	35人
担当者	小林 利章	記入者	小林 利章
実施日（期間）	令和2年8月25日（木）		
講師名	NPO法人川の自然と文化研究所 山本 雅道さん 他2名		
実施概要	波田小学校の近くの梓川沿いにあるビオトープ（梓川地区）にて、水辺の生き物を採集し観察した。講師の皆さんに、生き物は何であるか、また、その生き物の特徴について説明していただいた。		
実施状況 （授業風景）	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日のねらいや注意事項を聞く。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が、トレイと網を持ち、みんな意気込んで採集している。</li> </ul>	
	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の先生方に採集した生き物の名前や特徴を教えてもらう。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・採集した生き物について、全体に紹介し説明していただく。</li> </ul>	
授業について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サワガニやヤゴ、魚がたくさんいた。</li> <li>・サワガニを初めて見た。</li> <li>・生き物をたくさん見られて良かった。</li> <li>・小さな池にもたくさん生き物がいた。</li> <li>・つかまえるのが楽しかった。</li> <li>・生き物を大切に観察しよう。死んでしまうと困る。</li> <li>・環境を大切にしよう。ドジョウがめずらしいので大切にしよう。</li> <li>・また来て、観察したい。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サワガニなどに初めて触れる児童が多くいた。生き物に触れることにより、生き物の存在が実感をもって感じられるようになったと思う。水辺の生き物とはどういうものが体感できたことにより、梓川の生き物について興味関心をもてた児童が多かったと思う。</li> <li>・ある生き物は、今回利用させていただいたビオトープのような豊かな自然の中でしか生きていけないことを学ぶことができた。自然や生き物を大切にしようとする気持ちにつながったのではないかなと思う。</li> </ul> </li> </ol>		

## 環境教育支援事業実施報告書

【番号：32-2】

授 業 名	梓川生き物観察（川の生き物探検隊）		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年2組	参加人数	36人
担当者	御子柴 瑞恵	記入者	御子柴 瑞恵
実施日（期間）	令和2年8月25日（木）		
講師名	NPO法人川の自然と文化研究所 山本 雅道さん 他2名		
実施概要、実施状況	【番号：32-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな種類のヤゴがいた。ヤンマの種類のヤゴは大きくてびっくりした。</li> <li>・ドジョウをはじめて見た。めずらしい種類だと聞いておどろいた。</li> <li>・はじめは生き物がないと思ったけど、よく見たらいろいろ見つかったよかったです。</li> <li>・学校の近くにこんなにいろいろな生き物があるなんて知らなかった。</li> <li>・生き物が生きていけるように、自然を大切にしないといけないと思った。ゴミも捨ててはいけない。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な先生方に教えていただき、担任ではできない活動となった。講師の先生方に熱心に質問する子どももいて、興味や知識の幅を広げる会となった。</li> <li>・川に入ったり生き物を探したりすること自体が初めての児童もあり、自然に触れるよい機会となった。自分たちの住む地域には豊かな自然があり、よい環境の中にいることを感じられたのではないかな。今後も自然や生物との共存を大切にしていってほしい。</li> </ul>		

## 環境教育支援事業実施報告書

【番号：32-3】

授 業 名	梓川生き物観察（川の生き物探検隊）		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年3組	参加人数	34人
担当者	塩澤 和也	記入者	塩澤 和也
実施日（期間）	令和2年8月27日（木）		
講師名	松本ホテル学会 藤山 静雄さん 横山さん 他4名		
実施概要、実施状況	【番号：32-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚をたくさんとることができた。</li> <li>・初めて自分で魚をとることができた。</li> <li>・サワガニやヤゴ、魚がたくさんいた。</li> <li>・石をひっくり返すだけでサワガニがいてびっくりした。</li> <li>・生き物をたくさん見られて良かった。</li> <li>・小さな池にもたくさん生き物がいて楽しかった。</li> <li>・梓川にいる生き物が見られて良かった。</li> <li>・もっと生き物観察会をしたい。</li> <li>・ホテルのことも知りたい。</li> <li>・カエルにこんなに種類がいるとは知らなかった。</li> </ul>		

授業について	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物を自分の力で取るという経験が乏しいという昨今の児童にとって、自分で網を使って生き物を採取することは感動的であったようだ。また、採取した生き物がどのような生き物なのかをその場で解説していただいたことで、梓川にはどのような特徴をもった生き物が棲みついているのかを児童が理解する一助になったと思う。</li> <li>・水生生物だけではなく、昆虫についても教えていただけてよかった。昆虫が苦手な児童がヤゴの抜け殻をまじまじと観察していた。</li> </ul>
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：32-4】

授業名	梓川生き物観察（川の生き物探検隊）		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 3年4組	参加人数	35人
担当者	押野 寛明	記入者	押野 寛明
実施日（期間）	令和2年8月25日（木）		
講師名	松本ホテル学会 藤山 静雄さん 横山さん 他4名		
実施概要、実施状況	【番号：32-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここには、たくさんの生き物がいることがわかった。</li> <li>・絶滅危惧種の生き物がいて、とても驚いた。</li> <li>・泥の中にたくさんの生き物がいることを教えてもらって、見えなくても生き物がいることがわかった。</li> <li>・いろいろな生き物の名前などを知ることができた。</li> <li>・つかまえ方を教えてもらって、つかまえられたのがうれしかった。</li> <li>・ここ（ビオトープ）と梓川では、すんでいる生き物が違うことを教えてもらった。梓川の魚も見たい。</li> <li>・環境を大切にしよう。ドジョウがめずらしいので大切にしよう。</li> <li>・また来て、観察したいと思った。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちにとって初めて見る・触る生き物が多く、いろいろな物を観察することができたことはとてもよかった。かつてたくさんいたものが絶滅危惧種になっていることから、水生生物の生息域が失われている状況を感じ取っていたのではないかと思う。</li> <li>・たくさんの生き物について説明を受けたことで、「もう一度訪れてみたい」「家の近くでも観察してみたい」といった思いをもった子どもも多く、自然や生き物に関心をもつ機会となった。</li> </ul>		

<p>授 業 名</p>	<p>水はどこから？</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立安曇小学校 4 学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>6 人</p>
<p>担当者</p>	<p>桑山 美冴</p>	<p>記入者</p>	<p>桑山 美冴</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和2年10月5日（月）</p>		
<p>講師名</p>	<p>株式会社 環境技術センター 宮澤 恵美さん 塩原さん</p>		
<p>実施概要</p>	<p>生命に欠かせない水は、どこから来るのかを講義や実験を通して学ぶ。また、水の性質の違いを実験して感じ、水を守るのに欠かせない森と山について講義していただく。</p>		
<p>実施状況 （授業風景）</p>			
<p>水の循環を、モデルを使った実験でイメージした。</p>			
<p>水道水、天然水、硬水の味の違いを調べた。</p>	<p>パックテストで、水の硬度を調べた。</p>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等                  休み時間中も、スポンジの上に水を流し続け、乾いた地面に水が染み込むようになるには、大量の水が必要なことを、とても楽しみながら実験していた。3種類の水の飲み比べでは、水道水が「理想的な味。」と感じ、硬水は、「水じゃない。」と差にとっても驚いていた。パックテストでは、慎重に実験をし、薬品と水とをかき混ぜる動作を楽しんでいた。</p> <p>2 先生方の感想、要望等                  環境技術センターの方が、大きな実験装置を用意してくださったり、白衣で来てくださったり、薬品を丁寧に準備してくださり、子どもたちにとって「科学的に追究できた。」という満足感が大きかったので良かった。学校では準備できない装置を持ってきていただき、実際に実験したことで、深い学びができた。講師の方のお話も十分4年生に伝わる内容で、大変ありがたかった。水の性質の違いや、水の循環を学び、水を大切にしたいという意識につながったので良かった。</p>		

授 業 名	水辺の生物観察会		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校 2学年	参加人数	50人
担当者	武田 光雄 福島 尊子 羽賀 鈴子 天野 やよい 米山 明日香	記入者	武田 光雄
実施日（期間）	令和2年9月30日（水）		
講師名	NPO法人川の自然と文化研究所 山本 雅道さん 吉田さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川の水生生物の採集の仕方を知り、実際に採集する。</li> <li>・採集した生物を分類したり観察したりする</li> </ul>		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>はじめに採集の仕方を教わりました</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>かじかを採ることができました</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>みんなが採集した生物を見合いました</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薄川はきれいで、たくさんの生き物がいることが分かった。</li> <li>・はじめは見つけれなかったが、目が慣れてくるとヤゴやアブラハヤなどたくさん捕まえることができうれしかったようだ。</li> <li>・専門の方が捕まえた生物が何なのかをすぐに教えてくれたこともあり、子どもたちは興味をもって取り組んでいた。</li> <li>・川の水が冷たかったが、時間を忘れて採集したり観察したりする姿が見られた。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>急な計画となったが、講師の方々が快く引き受けてくださり、とても有意義な観察会となった。学校の目の前の川で実施できるので、このような機会を今後も積極的に利用していければよいと思う。ライフジャケットの手配など、市の方の協力もいただきありがたかった。</p> <p>9月下旬で気温・水温が下がる時期だったので、もう少し暑いときの方がよかったと感じた。</p>		

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立筑摩小学校 4 学年	参加人数	58 人
担当者	担任 大畑 幸亮 担任 横川 由紀子	記入者	横川 由紀子
実施日（期間）	令和2年11月24日（火）		
講師名	松本市上下水道局下水道課 飯島さん 他3名		
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 筑摩小学校から宮渚浄化センターまでの下水道の流れ</li> <li>2 ペットボトルを使った紙の溶け方の実験</li> <li>3 顕微鏡映像をモニターにうつして微生物を観察</li> </ol>		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>下水道クイズ マンホール知ってる！</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>川の下を下水道が通る仕組みがすごいね。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>実演：トイレットペーパーが分解される</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>微生物が水をきれいにしてくれるんだね</p> </div> </div>		
授業について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想 <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが使用した水は下水道を流れ、2つの川の下を通って宮渚浄化センターに行く。そこで微生物の力で汚れをとり、きれいな水になり、奈良井川へ放出されていることが分かった。</li> <li>・使用後の汚い水がきれいになっていくことにびっくりした。</li> <li>・紙の溶け方の実験では、正確には、トイレットペーパーは水に溶けているのではなく、水の中で繊維がばらばらになることがわかった。ティッシュは分解できないから流してはいけないことがわかった。</li> <li>・微生物が顕微鏡で見られたのがおもしろかった。顕微鏡で見ると、何種類かの微生物が動いて汚れを食べているのが見られた。「アッいたい！」「ずっと動いてる。おもしろい。」「この微生物のおかげで水がきれいになるなんて不思議。」などの感想が出された。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つのお話のどれもが興味深く、楽しく学ぶことができ、どの子も真剣な表情で実験に見入ったり、時には歓声をあげたりしていた。</li> <li>・今年度は浄化センターに見学に行くことができなかったため、微生物を見たり働く方の話を聞いたりすることができ、子どもたちが下水道の仕組みを理解したり水を大切に使うと思ったりすることにつながった。</li> </ul> </li> </ol>		

<p>授業名</p>	<p>ワクワク下水道教室</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立波田小学校 4学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>146人</p>
<p>担当者</p>	<p>小平 勇喜</p>	<p>記入者</p>	<p>小平 勇喜</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和2年11月26日(木)</p>		
<p>講師名</p>	<p>松本市上下水道局下水道課 飯島さん 他3名</p>		
<p>実施概要</p>	<p>実施概要                  学校の下水が水道管を通して波田浄化センターへ流れていく様子を知る。                  トイレtp&gt;紙とティッシュペーパーを使い、どちらの紙が水に溶けやすいかの実験を見る。                  顕微鏡を使って、浄化センターの水の中にいる微生物を観察する</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>浄化センターまでの下水の流れについて説明を受ける。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>家庭用の排水がどのような構造で出来ているか説明を受ける。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ペットボトルを使った紙の溶け方の実験を見て、ティッシュとトイレtp&gt;紙の違いについて学ぶ。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>顕微鏡映像をモニターに映して、微生物の観察をする。</p> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレtp&gt;紙はすぐにこなごなになってしまうので不思議だった。ティッシュは溶けにくいことが分かったので、トイレに流さないようにしようと思った。</li> <li>・微生物が小さくてびっくりした。いろいろな微生物が見られて面白かった。</li> <li>・ゴミを食べてくれる微生物や、においのある中で水をきれいにしてくれる人がいるから、きれいな水を飲めることを、忘れないようにしたい。</li> <li>・普通だと思って使っている水はとても大切な資源だから、感謝して水を大切に使いたい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの関係で浄水場や浄化センターの見学をすることができなかったため、使われた水がどのように処理されているのか、気をつけなければいけないことは何かを、実際に働いている方たちから聞くことができてよかった。</li> <li>・下水道が川の下を通っていく仕組みが、堰の学習につながった。</li> <li>・昨年度、上高地で実際に見た梓川の水が、消毒して使われ、またきれいに処理されて川に戻されていくことを確認できた。</li> </ul>		

授 業 名	行ってみたいな上高地		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校 1学年2名 2学年3名	参加人数	5人
担当者	小池 加純 降旗 千愛	記入者	小池 加純
実施日（期間）	令和2年7月13日（月）		
講師名	NPO法人川の自然と文化研究所 美馬 純一さん		
実施概要	自然が豊かでたくさんの人々が訪れる上高地。学区内にこんなに素敵なおところがあることを知り、行ってみたいという気持ちを高める。また、上高地のルールを知る。		
実施状況 （授業風景）	 <p>写真を見ながら、“なぜ上高地には、たくさんの人が訪れるのか”を考えていった。また、上高地には、とらない 与えない 捨てない 持ち込まない 踏み込まないという5つのルールがあることも学んだ。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない魚がいることがわかったから見てみたいと思った。（1年Aさん）</li> <li>・写真で見たお花を上高地で探してみたい。（2年Bさん）</li> <li>・写真に興味をもちよく話を聞いていたが、“なぜ上高地にはたくさんの人が来るんだろう？”“上高地の素敵なおところは？”の問いかけには、答えることができなかった。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>写真をたくさん用意していただいたことで、上高地の素敵なおところを実際に見ることができ、子どもたちは興味をもって学んでいた。川の中を写した写真を見て水のきれいさを実感し、上高地に棲む3種類の魚（カワマス・ブラウントラウト・イワナ）に特に興味をもっていた。また、四季折々の景色がきれい、川や池がたくさんあり水が澄んでいることに加え、上高地がどのようにできたかの説明から、険しい山に登らなくても、バスで行かれる平らな場所で、高山植物や高山蝶などが見られることも上高地の大きな魅力であることを学ぶことができた。今回は事前学習ということで学校での学習をお願いしたが、写真やお話から上高地の魅力を考えるのは難しかったようにも感じた。低学年は、現地へ行き実際に体験する中で、自然と素敵なおところに気づいたり、魅力を学んだりしていく方が、より生き生きと学ぶことができると感じた。</p>		

授 業 名	行ってみよう上高地 1.陸上		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校 1学年2名 2学年3名	参加人数	5人
担当者	小池 加純 降旗 千愛	記入者	降旗 千愛
実施日(期間)	令和2年8月25日(火)		
講師名	NPO法人川の自然と文化研究所 美馬 純一さん 中澤 朋代さん		
実施概要	<p>前回の上高地学習では、上高地にいる生き物や植物の話聞き、「行ってみたい!」という意欲を高めた。今回の学習では、意欲を高めた状態で上高地に出かけ、豊かな自然とふれあうことを目的とした。</p>		
実施状況 (授業風景)	<div data-bbox="485 658 1082 1099" data-label="Image"> </div> <p>上高地に到着し、講師の美馬さんから河童橋周辺から見える山脈の説明を受ける児童。上高地に活火山(焼岳)があることに驚いていた。安曇小学校と上高地の気温の違いも説明してもらい、山に登れば登るほど涼しくなるということを知った。</p> <div data-bbox="485 1294 1023 1697" data-label="Image"> </div> <p>梓川の近くまで移動し、耳を澄ませて川の音を聞いた。講師の中澤さんから「林の中と川の近くだと、どちらが生き物は住みやすいと思う?」と聞かれ、「林の中の方が、隠れるところが多くて住みやすいと思う。」と答えていた。「動物や虫は、大きな足音を立てると隠れてしまうから、キツネのように静かに歩くんだよ。」と「キツネ歩き」という歩き方を教わって、楽しみながら実践していた。</p>		

実施状況  
(授業風景)



清水川付近に移動し、川の水を触ってみた。美馬さんが水温計を持ってきてくださり、水温を測ると8度で児童は大変驚いていた。



最後のまとめの時間では、1人1人が感想を述べた。初めて見たものや、触った水の冷たさ、花の匂いを嗅いだことなど、五感を使ったことが印象に残った様子だった。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・山の上が白かったから、雪が残ってるなって思った。どうして残ってるんだろうって思った。(1年Aさん)
- ・ざとうむしを触るのは怖かったけど、軽くて持ってる感じがしなかったから怖くなくなった。(1年Bさん)
- ・川で魚を4、5匹見つけられた。水がとても綺麗で、魚も気持ちいいだろうなと思った。(2年Aさん)
- ・初めての上高地だったけど、涼しくて空気が綺麗だなと思った。今度は家族と一緒に来たい。(2年Bさん)
- ・たくさん花や虫を見つけることができ嬉しかった。今度また来るときも「キツネ歩き」をしてたくさんの生き物を見つけたい。(2年Cさん)

2 先生方の感想、要望等

前回の上高地学習を通して、児童の「行ってみたい」という意欲が高まった中で学習が進められたのがよかった。前回興味を持った魚にも出会うことができ、とても満足そうだった。講師の先生から、「自然の中には、毒があったり、とげがあったりして人間に優しいものばかりではないんだよ。だから、わからないものは調べようね。」という話が印象に残った。現地に行って、低学年のうちに上高地の豊かな自然とふれあうことで、高学年になって、地元の良さやありがたみに気づくことができると思った。

<p>授 業 名</p>	<p>行ってみよう上高地 2.水辺</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立安曇小学校 1学年2名 2学年3名</p>	<p>参加人数</p>	<p>5人</p>
<p>担当者</p>	<p>小池 加純 降旗 千愛</p>	<p>記入者</p>	<p>降旗 千愛</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和2年9月9日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO法人川の自然と文化研究所 山本 雅道さん 吉田 利男さん</p>		
<p>実施概要</p>	<p>学区である上高地で、梓川の水生生物の観察を行うことを通して、上高地の豊かな自然に親しみ、良さや面白さを感じる。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;">   </div> <p>車を帝国ホテルの前辺りで降り、10分程歩いた。田代池周辺に到着し、講師の先生方にあいさつをした。川に入る身支度等を済ませ、講師の先生方から川に住んでいる昆虫の採集の仕方を教わった。子どもたちは、興味津々でその様子を覗き込み、「あ！小さな虫がいるよ！」「すご～い！」などと声を上げていた。</p> <p>実際に自分で昆虫を探すときには、最初のうちは中々見つけられなかったが、講師の先生方の支援のおかげで徐々に見つけられるようになった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>川の水が冷たかったため、休憩を挟んで行った。講師の先生から事前にいただいていた水辺の生物の一覧表を用いて、田代池周辺に住む水辺の生物の説明をして下さった。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>採集した昆虫を集め、最後に見分け方などを教えていただいた。教えていただいた後、子どもが「カゲロウにはしっぽが2本のやつと3本のやつがいるんだ・・・」とつぶやいた。「先生、知ってた？私、知らなかったよ。メモしておこう。」と新たな発見を喜んでいる様子だった。</p> </div> </div> </div>		

<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p>最後に短時間ではあったが、まとめの会を行った。子どもたちは、「水に入って石をひっくり返して虫を見つけられたのが嬉しかった。」という感想が多かった。前回の上高地学習では、水は触るだけだったので、今回川に入れたのが嬉しかったようだ。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川で石をひっくり返したら色々な虫が見つけれられてよかった。(1年Aさん)</li> <li>・重たい石を持って小さい虫とか色々な虫がいて、見るのができてよかった。(1年Bさん)</li> <li>・ゲンゴロウは飛べるんだと初めて知った。(2年Cさん)</li> <li>・カゲロウには、しっぽが2本と3本のがいるんだと初めて知った。(2年Dさん)</li> <li>・カゲロウやカワゲラは子どもだけど、ゲンゴロウは大人(成虫)なんだと初めて知った。(2年Eさん)</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>今年度2回目の上高地学習だった。今回は水辺の生物を観察したが、川の水が冷たかったため、長く入ってられないのではと思った。しかし、講師の先生方が最初に昆虫の捕り方を教えてくださったとき、子どもたちは「やってみよう！」という気持ちになったようで、積極的に昆虫探しを行うことができた。子どもの問いかけにも、子どもに寄り添った回答をして下さりよかった。</p>

授 業 名	川あそび		
学校名、学年、学級	松本市立開明小学校 2年1組	参加人数	29人
担当者	西原 恭子	記入者	西原 恭子
実施日（期間）	令和2年9月16日（水）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん		
実施概要	川遊び ・水辺の講習会 ・川遊び ・川の生き物探し		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>水辺の安全講習会。川遊びをするときに、気をつけることを教わりました。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>川遊び1。ライフジャケットをきて、仰向けで川に流されていきます。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>川遊び2。川に飛び込む。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>川遊び3。川の生き物をとる。</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川で浮いて流れたときは、ラッコになるのが怖かったけど、バランスをとればできると思った。</li> <li>・とびこみは、怖かったけど、楽しかったです。</li> <li>・川の虫や魚は速かったです。</li> <li>・めちゃくちゃ楽しかったです。</li> <li>・また行きたいです。</li> <li>・川の流れが強いときは、川の近くに行かないようにしようと思いました。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>水辺の安全講習では、上流の方の山の天気を見ることや、水が落ちて白くなっているところは、自分では上がってこられないことなど、川遊びをする上での注意点を教えていただいて勉強になりました。また、仰向けで流れていったり、飛び込んだりする遊びでは、怖いという気持ちもあったようでしたが、体全体で川を感じている生き生きした表情を見ることができました。その後の水辺の生き物探しでは、夢中になって網を入れ、みんながとることはできなかったけれど、教室の水槽で、カジカやヘビトンボを観察することができました。川遊びの体験が初めての子どもが多かったと思います。川を身近に感じる、とてもいい経験ができました。</p>		

## 環境教育支援事業実施報告書

【番号：40-2】

授 業 名	川あそび		
学校名、学年、学級	松本市立開明小学校 2年2組	参加人数	27人
担当者	赤羽 貴徳	記入者	赤羽 貴徳
実施日（期間）	令和2年9月16日（水）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん		
実施概要、実施状況	【番号：40-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等  「楽しかった。また行きたい。」「川があんなに楽しいと思わなかった。」「いろんな種類の生き物が捕れて嬉しかった。」など、川での遊びを存分に楽しんだ様子でした。</p> <p>2 先生方の感想、要望等  安全講習では、「川で遊ぶ時は、川だけでなく山の天気を見ることも大切なこと。」「川で白くなっている所は泡（空気）なので、ライフジャケットを着ていても浮かないこと。」「川に落ちて焦ってしまい、立とうとして足が岩などに挟まり亡くなる例が多いこと。泳ごうとせずに浮くことが大切なこと。」などなど、川（自然）で遊ぶときに“自分の命を守る術”を教えていただけ、大変参考になりました。</p> <p>実践では、まず、川を渡り、流れと石のため川は歩きにくいことや転倒しやすいことを体験しました。次に少し深い所で、仰向けで流される（浮く）ことをしました。最初は、怖くて力が入ってしまったり、体を反転させてしまいうつぶせの体勢になってしまったりする姿も見られましたが、徐々に慣れ、楽しみました。更に深いところで、飛び込むこともしました。段階を踏んで川の怖さと楽しさを体験でき貴重な経験となりました。</p> <p>川の生き物採集では、生き物がいる場所や取り方を教えていただき、網を持って探しました。この時には、最初の川渡りの時のような、怖々歩く姿はなく、夢中になって川の中を歩き回っていました。いろいろな生き物を見つけることができ、喜んでいました。</p> <p>川の怖さと楽しさを身をもって体験したことが、川（自然）を愛し川（自然）を守りたいという意識に繋がっていくと思いました。</p>		

## 環境教育支援事業実施報告書

【番号：40-3】

授 業 名	川あそび		
学校名、学年、学級	松本市立開明小学校 2年3組	参加人数	28人
担当者	傳田 圭吾	記入者	傳田 圭吾
実施日（期間）	令和2年9月16日（水）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん		
実施概要、実施状況	【番号：40-1】と同様		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とびこみチャレンジ、こわかったです。</li> <li>・川がとてつめたかったです。</li> <li>・水中の生き物をつかまえられて楽しかったです。</li> <li>・ラッコさん、楽しかったです。</li> <li>・ドキドキしました。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>安全講習では、川で遊ぶときに危険なこと、安全な行動などを学ぶことができました。特に、「ライフジャケットを水に入れても沈まないこと」や、川ではむやみに泳がず、浮かぶようにすることは、これから先、とても大切なことだと思いました。</p> <p>川遊びで水生生物にふれる中で、子どもたちは、水生生物や川に対する愛着を深めているようでした。子どもたちは、川から帰ったあとも、生き物に釘付けでした。</p> <p>安全講習、ライフジャケットを着用して浮かぶ体験、飛び込みチャレンジと、盛りだくさんな授業でしたが、子どもたちにとっては、忘れることのできない思い出になったと思います。</p>
---------------	---

<p>授 業 名</p>	<p>川で「手づくりふね」にのろう</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立鎌田小学校 2学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>136人</p>
<p>担当者</p>	<p>生活科係 山口 武彦</p>	<p>記入者</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和2年9月8日（火）</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん 他</p>		
<p>実施概要</p>	<p>薄川で自分たちが作ったペットボトルの船に乗って遊んだり生き物探しをしたりすることを通して、川の楽しさや安全な遊び方を知り、海へとつながる川に親しむとともに、自然への関心を高める。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>手作りの船に乗って、川下りを楽しみました。</p>  <p>ライフジャケットを使い、川の流れに乗って下りました。</p>  <p>その他に、川での安全な遊び方や、水生昆虫のとり方等を教えてもらい、一人ひとりタモを使って虫を捕る体験ができました。</p> 		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川の水は冷たかったけど、とてもきれいでした。</li> <li>・ふねを作るのは大変だったけど、こわれないふねができてうれしかったです。</li> <li>・最初はこわかったけど、みんなでふねにのることができて楽しかったです。</li> <li>・川の先生に教わって、おもしろい川の生き物がつかまえて、うれしかったです。</li> <li>・最初は、川に生き物はいないと思っていたけど、魚やカニなど、たくさんの生き物がいることが分かりました。</li> <li>・川で白い泡が立っているところは、深くなっていて危ないから近づかないことと、おぼれそうになっても「らっこうき」で立たないことが大切だとわかりました</li> <li>・ふねがこわれないようにしっかりガムテープをはるのが大変だったけど、みんなで協力して船を作れて楽しかったです。</li> <li>・こわれない船がくれたから、ふねからゴミが出なくて、川をよごさなくてよかったです。</li> <li>・これからも、川や海でたくさんあそんでみたいです。</li> </ul>		

<p>授業について</p>	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の活動の反省を生かし、よりスムーズな日程だった。</li> <li>・コロナ禍の中だったが、適切な感染症対策のもと、活動することができた。</li> <li>・外部講師の方に、様々な川の基礎知識を教えていただくことができ、ありがたかった。また、川遊びをする際に気をつけることや、一人ずつ持ったタモで水生昆虫取りをすることができ、子どもたちにとって貴重な体験となった。</li> <li>・川の水量や流れが適度だったので、子どもたちも安全に気持ちよく活動ができた。</li> <li>・学校職員や外部講師の方など、多くの大人が関わって活動を行い、スムーズに楽しく手作り船に乗ることができた。また、ライフジャケットで浮く活動も楽しむことができた。</li> </ul> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に薄川での川下りを体験することで、川の流れや水の感触を味わうことができた。また、天候不良によって延期されたことを説明する中で、川の水量が一定でないことも実感できたと思われる。その中で、松本市にある美ヶ原で降った雨が、薄川へと流れ、やがて大きな大海へとつながっていくことを話すことができた。</li> <li>・ペットボトルの船をガムテープで固定して船にしていく活動の中で、2年生にとってやや難しい内容ではあったが、海洋プラスチックについて話することができた。もし薄川でペットボトルやガムテープのゴミが流れていってしまった時に、そのゴミはなくならずに川を汚してしまうこと、そしていつかは海に流れていってしまった時に、魚が食べてしまうかもしれないことなどを話した。子どもたちは外れないようにペットボトルをしっかり固定し、ガムテープもしっかり巻き付けて、昨年より随分頑丈な船を作ることができた。もちろん自分たちが安全に乗るためではあるが、『ゴミを出さない』『川を汚さない』遊び方についても実感することのできた、貴重な体験になったと思われる。</li> </ul>
---------------	---

授 業 名	鎌田お宝探検～川の生き物編～		
学校名、学年、学級	松本市立鎌田小学校 3年1組	参加人数	29人
担当者	菅原 京	記入者	菅原 京
実施日（期間）	令和2年9月23日（水）		
講師名	松本ホテル学会、NPO法人川の自然と文化研究所、株式会社 環境技術センター、中信地区環境教育NW、松本市教育委員会		
実施概要	田川と薄川の合流地点での生き物採集 学校で採集した生き物の観察		
実施状況 (授業風景)	  <p>【川の先生方に、生き物の採集の仕方や注意点を教えてもらい、一人ずつ網をもって、川へ向かっていく様子】</p>		
	  <p>【川へ入り、生き物を捕まえるコツを教わったり、自ら捕まえた生き物の説明を聞いたりしている様子】</p>		
	  <p>【生き物を捕まえようと、草むらや水たまりをのぞき込む様子】</p>		
	  <p>【捕まえた生き物を詳しく観察し、絵や文に表したり、まとめのお話を聞いたりしている様子】</p>		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>子どもたちは、自分たちの住んでいる地域の川にたくさんの生き物が住んでいることを知って、とても驚いていました。川の生き物をもっと調べたい、お家の人にも伝えたい、川にもっと触れたい、川の生き物を守るためにゴミを捨てないように呼び掛けたい等、川や生き物に対する関心がさらに深まった様子がうかがえました。</p> <p>自分たちの学びのために、川の専門家の先生方に色々準備をしてもらったり、教えてもらったりしたことに、感謝の気持ちを持っている子どもが多かったです。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>「川の生き物をたくさん捕まえて観察してみたい。」「生き物に触ってみたい」「どんな生き物がどうやってかくれているのか、どんな体をしているか詳しく見てみたい。」という一人ひとりの願いがかなった活動となりました。子どもたちは、先生方に教えていただきながら、体験を通して、川の流れが弱く浅いところに小魚がいて、深いところに大きな魚がいること、石の裏や草むらにも生き物がいることを知ることができました。学校に戻ってからの観察では、実際に手で触ってみて、自分の目で見て、本物に触れることができ、大変貴重な機会となりました。ありがとうございました。</p>
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：42-2】

授 業 名	鎌田お宝探検～川の生き物編～		
学校名、学年、学級	松本市立鎌田小学校 3年2組	参加人数	28人
担当者	竹村 由衣	記入者	竹村 由衣
実施日（期間）	令和2年9月17日（木）		
講師名	松本ホテル学会、NPO法人川の自然と文化研究所、株式会社 環境技術センター、中信地区環境教育NW、松本市教育委員会		
実施概要、実施状況	【番号：42-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めずらしい「オオヤマカゲロウ」という生き物を採ることができて嬉しかった。</li> <li>・エビやナマズの体のつくりを調べたい。</li> <li>・先生に教えてもらったら、見方が変わって、色々な特徴を見つけることができた。</li> <li>・川の生き物が、石の下に隠れていることをはじめて知った。</li> <li>・思っていたよりも冷たくてびっくりした。魚たちは寒くないのかなと思った。</li> <li>・エビが透明だったことに驚いた。</li> <li>・ほかの川でも、生き物を採って、川によって住んでいる生き物がちがうのかを調べたい。</li> <li>・また、おうちの人と行ってみたい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>本当に貴重な経験をさせていただきました。最初の方は、なかなかつかまえることができずに、担任もひやひやしましたが、「川の先生」方のおかげで、</p>		

授業について	全員が多くの生き物を捕まえることができました。学校に帰り、振り返りをしていると「先生、次はどの川で生き物を見つけることができるんですか?」とすぐに聞いてきました。川や、生き物に興味をもち、さらに調べたいという気持ちが子どもたちに芽生えました。学校の教員だけではとてもできない経験をさせていただきました。ありがとうございました。
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：42-3】

授業名	鎌田お宝探検～川の生き物編～		
学校名、学年、学級	松本市立鎌田小学校 3年3組	参加人数	30人
担当者	高田 美和	記入者	高田 美和
実施日(期間)	令和2年9月17日(木)		
講師名	松本ホテル学会、NPO法人川の自然と文化研究所、株式会社 環境技術センター、中信地区環境教育NW、松本市教育委員会		
実施概要、実施状況	【番号：42-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の力で生き物を捕れて嬉しかった。</li> <li>・初めて、川エビに触った。川エビは透明なんだな。</li> <li>・生き物は石の裏や、草の下の方にたくさんいることがわかった。</li> <li>・吸盤がある魚がいるなんて知らなかったし、田川にはいろんな生き物がいることがわかった。</li> <li>・川の中の虫は、昆虫とは体のつくりが違って、足が多いし、体が3つよりたくさんに分かれている虫がいることがわかった。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>前日たまたま「明日の探検が楽しみな人」という質問をする子がいて、「めんどくさい」「虫がやだ」などと言っている児童がいたのですが、川に着くとよく話を聞いてためらうことなく生き物採集を始めていました。最初は自分なんとか捕まえようと水中をよく見て網を差し込んでいました。うまく生き物を捕まえられた子が喜びの声を上げる中、なかなか捕まえることができずにいる子もいたので、「捕まえられなかったらどうするの?」と声をかけると「(川の)先生に聞く。」と、先生の所へ行って一緒にとっていただくことで全員が生き物を捕まえることができました。</p> <p>学校での観察も、先生方に質問しながら楽しそうに行っていて、「今日の探検、楽しかった人?」と聞くと全員の手が挙がりました。たくさんの方に助けをいただき、とてもよい経験になりました。</p>		

環境教育支援事業実施報告書

【番号：42-4】

授業名	鎌田お宝探検～川の生き物編～		
学校名、学年、学級	松本市立鎌田小学校 3年4組	参加人数	29人
担当者	小林 明人	記入者	小林 明人
実施日(期間)	令和2年9月23日(水)		
講師名	松本ホテル学会、NPO法人川の自然と文化研究所、株式会社 環境技術センター、中信地区環境教育NW、松本市教育委員会		
実施概要、実施状況	【番号：42-1】と同様		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 身近な川にこれだけたくさんの生き物がいることを自分の目と体で体験でき、とても喜んでいました。児童に感想や気が付いたことを聞くと、「トビケラの幼虫は体が10こに分かれてた」「ミズカマキリの頭が三角っぽかった」「エビは足が速くて捕まえるのが大変だった」「たくさん生き物を捕まえられて楽しかった」「川を汚くしちゃいけないことが分かった」「もう一回行ってお母さんに教えてあげたい」などの感想が挙がりました。</p> <p>2 先生方の感想、要望等 街中で暮らしているとなかなか自然に触れる機会がないと思っていましたが、身近な場所にも多くの生き物がいることを実感することができました。また、生き物を見たり捕まえたりするだけでなく「なんという生き物か」「どんな生態か」といったところまで解説して下さる先生方がいて下さったおかげで、児童も生き生きと採集に臨んでいました。虫が苦手な児童もいましたが、先生に教えていただきながら浅い場所でエビや小さな虫を捕まえることができました。児童の心に残る、貴重な経験になりました。児童がのびのびかつ安全に採集、観察ができるようご準備とご指導をしていただき、ありがとうございました。</p>
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：42-5】

授 業 名	鎌田お宝探検～川の生き物編～		
学校名、学年、学級	松本市立鎌田小学校 3年5組	参加人数	29人
担当者	笠原 愛	記入者	笠原 愛
実施日（期間）	令和2年9月17日（木）		
講師名	松本ホテル学会、NPO法人川の自然と文化研究所、株式会社 環境技術センター、中信地区環境教育NW、松本市教育委員会		
実施概要、実施状況	【番号：42-1】と同様		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>&lt;採取編&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石の下からいろんな魚が出てきて、びっくりしたけど、魚によっている場所がちがうし、種類もちがうとわかった。</li> <li>・魚系は、草の下や少し深い場所にいたし、虫系は、石の下や浅いところでした。</li> <li>・エビやめだかは、川の奥や深い所にいるのだと発見できた。</li> <li>・草の近くの石にたくさん生き物がついていました。</li> <li>・草の下に、小さな魚やえびがいた。初めて目にした魚も名前を覚えてもらってしることができた。</li> <li>・魚のいる場所は、あちこち違っていて、黒いものばかりでした。なぜなのか不思議に思いました。</li> <li>・この川には大きな魚はあんまりいなそうだけど、小さな魚はたくさんいました。</li> <li>・こんなにたくさん川に生き物が住んでいることに驚いた。</li> </ul> <p>&lt;観察編&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物をじっくり観察してみると、こんな形をしていたり、こんな色をしていたりするのだなあと思いました。</li> <li>・ヒルを観察していると、すごい吸盤ではりついていました。</li> </ul>		

<p>授業について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じエビなの色がちがうことも発見できた。</li> <li>・魚たちは、えら呼吸という水の中でないと生きられないことをした。</li> <li>・先生たちから、たくさんの魚の名前を教えてもらい、もっと魚（生き物）の名前を知りたくなりました。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて目にした生き物を見て、とてもうれしくてうれしくてたまりませんでした。</li> <li>・もっといろいろな魚や生き物を調べたいと思った。</li> <li>・休みの日に、また出かけて探してみたいと思った。</li> <li>・夢中になっていて、時間があっという間に過ぎてしまった。</li> <li>・魚を今まで、持ったことがなかったので、今日魚をさわれてとてもうれしかった。</li> <li>・知らない生き物を見つけ、調べることが楽しかったし、何を食べているのか気になった。</li> <li>・名前が長かったり、ふしぎだったりした生き物がいて、どうしてその名前がついたのか、さらに調べたくなった。</li> <li>・川の砂が、海みたいな砂でびっくりした。どうしてこんな砂ができたのか調べてみたい。</li> <li>・川の外から川の中の石をみたら、他の色だけけれど、川の中から外に出すとちがう色になったのはなぜなのか調べてみたい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>&lt;採取編&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちのやる気に満ちた気持ちを尊重してくださり、興味関心をもつ場所に先生方がいてくださったおかげで、貴重な体験をすることができた。</li> <li>・子どもたちの採取範囲がどんどん広がったとき少し驚いたが、そのおかげで草下には川エビがいることを知ったり、川の量が減った跡地の水のたまり場には、魚（生き物）がいたりすることに気が付くことができた。</li> <li>・川のあちこちに先生方がいてくださったおかげで、子どもたちは生き物の生態を自分たちなりに予想し、検討している姿があった。</li> <li>・子どもたちの自分が取りたいという意欲が大事にされていた。</li> </ul> <p>&lt;観察編&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップバッターということもあり、お互いに探り探りの状態だった。しかし、自分たちが探してきた生き物を十二分に発揮できる環境づくりに感謝です。</li> <li>・様々な生き物を目にして、初めて名前を聞く生き物について興味を持っていき、取り逃がした生き物について聴いたりしている子どもたちに、先生方の声がけしてくださった。</li> <li>・他の生き物の紹介などを時間配分でうまく他の班の子どもたちに伝えられたらよかった。</li> <li>・車で、生き物を運んでもらえたことがよかった。生き物をなぜ、元居た場所に返すのかなども伝えていることも子どもたちにとって、生態系の心へとつなげることができた。</li> </ul> <p>先生方のおかげで、貴重な体験をすることができました。  子どもたちの感想は、楽しかった気持ちやうれしかった気持ちが存分に表れていました。ありがとうございました。</p>
---------------	---

授 業 名	源池っ子プロジェクト プレゼンテーション		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校 5学年	参加人数	47人
担当者	小谷 拓実	記入者	小谷 拓実
実施日（期間）	令和2年10月29日（木）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん		
実施概要	源池の森に作りたいものを考え、寿さと山くらぶの方へプレゼンテーションを行い自分たちの考えを伝え、制作に向けてアドバイスをもらう。		
実施状況 （授業風景）	<p>学校の敷地にある源池の森にて</p>  <p>自分たちが作りたいと考えている、ベンチや遊具のイメージを寿里山クラブの方へ伝える場を設定した。</p>  <p>グループに分かれて、自分たちが作りたいものを発表した。</p>  <p>発表後、鈴木さんから制作に向けてアドバイスをもらった。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが作りたいものが作れそうな気持になってきた。</li> <li>・もっと伝えられるように説明すればよかった。</li> <li>・アドバイスしてくれたところを直して作っていきたい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>学校の敷地にある、子どもたちの遊び場「源池の森」にベンチや遊具を作りたいという願いを持っており、その願いを実現していくためのアドバイスをもらうことができありがたかった。いただいたアドバイスを生かしてさらに作りたいものを考えていくことができる。</p>		

授 業 名	源池っ子プロジェクト プレゼンテーションと制作準備		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校 5学年	参加人数	47人
担当者	小谷 拓実	記入者	小谷 拓実
実施日（期間）	令和2年11月5日（木）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん		
実施概要	源池の森に作りたいものを考え、前回アドバイスをもらったことを生かして寿里山クラブの方へプレゼンテーションを行い自分たちの考えを伝える。制作に向けて必要な木材の準備をする。		
実施状況 （授業風景）	 <p>作りたいものについて、前回アドバイスしてもらったことを生かして、さらに考えたものを講師の先生方に伝え制作につなげる。</p>	 <p>必要な材木を選んで、木の皮をはいで使える状態に準備する。</p>	
	 <p>自分たちが作りたいベンチの大きさに合わせて、材木を切る。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが作りたいものについて、前回よりも伝えることができよかった。</li> <li>・木の皮をはぐのは普段できないことなので、経験で来て楽しかった。</li> <li>・作りたいと願っていたものを本当に作ることができることになってうれしい。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の職員だけでは作ることができないようなものを作ることになりとてもありがたい。</li> <li>・講師の先生がたくさん来てくれたので、それぞれのグループに支援に入っただけなので活動が成立する。</li> </ul>		

授 業 名	源池っ子プロジェクト 制作		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校 5学年	参加人数	47人
担当者	小谷 拓実	記入者	小谷 拓実
実施日（期間）	令和2年11月12日（木）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん		
実施概要	必要な木材を必要な大きさに切ったり、削ったりする。安全に使えるようにやすりをかける。ロープを編んでハンモックを作る。		
実施状況 （授業風景）	  <p>木と木とを組み合わせられるように、木を削る。</p>  <p>安全に使えるようにやすりをかける。</p> <p>ロープを編んでハンモックを作る。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいね～、いいね～、いいね～。そういうのを作りたいんだよ。」自分たちが作りたいと願っていたものが少しずつ見えてきた時の子どもの反応です。</li> <li>・「できてきた。次は、組み立てればもうかなりできるよ。」願っていたものに近づいている喜びが出ていました。</li> <li>・「丸太が切れたよ。」経験したことがないことを、制作を通して体験し感動していました。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのグループで、自分たちが作りたい物に向けて制作が本格的に動き出し、子どもたちが生き生きとしていた。</li> <li>・講師の先生がたくさん来てくれるので、子どもたちの願いに沿った活動ができてありがたい。</li> </ul>		

授 業 名	源池っ子プロジェクト プレゼンテーションと制作準備		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校 5学年	参加人数	47人
担当者	小谷 拓実	記入者	小谷 拓実
実施日（期間）	令和2年11月17日（火）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん		
実施概要	それぞれグループでの作りたいものを設置するために、穴を掘ったり、杭を打ったりする。 作っている中で思いついてきた飾りつけをする。		
実施状況 （授業風景）	 <p>平均台を設置するための穴を掘る。</p>	 <p>平均台を設置するため、また、安全に遊べるように、手すりとなる棒を立てる。</p>	
	 <p>ベンチを設置するための穴を掘る。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「できてきたよ、もうじき完成する。きっと次には完成できる。」平均台を杭を使って設置し始め、できてきた喜びを伝えてくれました。</li> <li>・「できたー。」（ハンモックを編み上げて）休み時間も使って編んできたハンモックが遂に完成、あとは設置して、揺られて遊ぶのを楽しみにしていました。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのグループの子どもたちの願いが少しずつ形になってきた。形になっていく喜びを感じながら子どもたちが活動していた。</li> </ul>		

授 業 名	源池っ子プロジェクト プレゼンテーションと制作準備		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校 5学年	参加人数	47人
担当者	小谷 拓実	記入者	小谷 拓実
実施日（期間）	令和2年11月26日（木）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん		
実施概要	それぞれグループでの作りたいものを完成させるために、杭を打ったり固定したりする。		
実施状況 （授業風景）	 <p>作ったベンチを、固定して設置している。</p>	 <p>ロープを編んで、アスレチックの完成を目指している。</p>	
	 <p>作ったベンチを平らになるように調節しながら設置している。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が作ってきたものが完成してうれしかった。</li> <li>・自分が作ったものが設置されたことの喜びを感じていた。</li> <li>・作業が残ったグループは次への活動に気持ちが向いていた。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>講師の先生方にそれぞれのグループの活動を支えていただいたので子どもたちの色々な願いを実現することができてありがたかった。ぜひ来年度以降もこのような活動を行っていきたい。</p>		

授業名	里山体験学習		
学校名、学年、学級	松本市立寿小学校 5学年4学級	参加人数	116人
担当者	奥原 志織	記入者	奥原 志織
実施日(期間)	令和2年9月24日(木)		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん 寿財産区 平林議長 寿公民館 百瀬公民館長		
実施概要	【事前学習会】・昨年度の里山体験学習の様子、注意事項についての説明 ・里山の歴史、里山の動植物についての講義		
実施状況 (授業風景)	<p>昨年度の里山体験学習の様子について 百瀬館長に、パワーポイントで分かりやすくまとめていただき、里山体験学習の内容を教えていただいた。子どもたちは写真を見ながら、トレッキングのイメージを持つことができた。「トレッキングの中で、動物やきのこが見つかるかもしれない」と聞くと、期待で表情が明るくなる児童がとても多かった。</p> <p>里山の歴史や役割について 「里山の役割」として、空気をきれいにすること、水をきれいにすること、たくさんの動物や植物や生き物を育てていることなどを教えていただいた。日ごろ、里山と自分たちの生活についてあまり考えたことがない子どもたちにとって、里山が身近なものだと認識するきっかけになった。</p> <p>そして、里山体験学習で行く「寿財産区有林」には、長い歴史があることを学んだ。明治時代は「はげ山」と呼ばれる木がない状況だったこと、子どもたちが植林をしたこと、人々の手で大切に守られてきたことなど、子どもたちは初めて知ることに興味津々の様子だった。</p> <p>山で気を付けることや動植物、林業について注意しなければいけないハチやクマについて、鈴木さんから丁寧にお話をしていただいた。実際に鈴木さんが山で体験されたことを交えながら、自分だったらどのように行動するか、考えながら話を聞く様子が見られた。</p> <p>林業では、伐採を中心に、伐採をする目的や実際の手順について教えていただいた。何人かの子どもたちが木となり、伐採について説明いただく場面では、様子を分かりやすく伝えていただいた。</p> <p>質疑応答 「どんなきのこがありますか?」「触ってはいけないきのこはありますか?」など、きのこに関わる質問が子どもたちから多く出された。また、「伐採するときの受け口について、詳しく知りたい」と林業に関わる鋭い質問も出された。多岐にわたって、子どもたちが興味を持った様子であった。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・去年の里山体験学習の様子を写真で見ました。とても楽しそうだったので、行くのがとても楽しみになりました。早く行きたいです。</p>		



授業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の歴史や動物や植物について、知ることができてよかったです。水たまりや泥の場所を見つけたら、どんな動物が通ったか、見てみたいです。</li> <li>・林業について、今まで知りませんでした。伐採のお話を聞くことができました。伐採をするのは理由があることを知りました。当日、伐採の様子を見学するのが楽しみです。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>里山の歴史や動物や植物について、教師から子どもに教えようとする、知識が足りず不十分な説明になってしまいます。里山を知り尽くした講師の先生方をお招きして事前学習会ができたことは、大変ありがたかったです。教師も子どもと一緒に学習をすることができ、貴重な時間となりました。事前学習前は、里山についてあまり興味を持っていなかった子どもたちが、様々なお話を聞く中で関心を高めることができました。質疑応答の時間では、多くの子どもたちが疑問を持つ姿が見られ、意欲的に学習する時間となりました。</p>
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：44-2】

授業名	里山体験学習		
学校名、学年、学級	松本市立寿小学校 5学年2学級	参加人数	59人
担当者	奥原 志織	記入者	奥原 志織
実施日(期間)	令和2年9月29日(火)		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん 寿財産区 平林議長 寿公民館 百瀬公民館長		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の伐採見学</li> <li>・里山トレッキング</li> <li>・木材を使った名札作り</li> </ul>		
実施状況 (授業風景)	<p>トレッキング</p> <p>各グループに講師の先生方へ入っていた、里山のトレッキングを行った。自然の空気をたっぷりと感じながら、山の中へと進んでいった。歩いていると、シカが角を研いだ跡が残る木や珍しいきのこを見つける姿が見られた。里山の事前学習で聞いたように、動物や植物の広がっている様子を実際に見ることができ、子どもたちから驚きの声が聞こえてきた。見つけたものは講師の先生に詳しく話を聞いて、さらに深めることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>きずなの森へ到着すると、林業に関わる仕事や里山の役割について、講師の先生方からお話を聞いたり、自然の中で活動をしたりした。あるグループでは、川の近くまでくだっていき、実際に川の水に触れて、その冷たさを感じていた。また、別のグループでは、さらに奥深い山に入り、きのこを探していた。各グループで、きずなの森の良さを満喫することができた。自然を思い切り体感しながら、有意義な時間を過ごすことができたようだった。</p> </div> </div> <p>伐採見学</p> <p>たった1本の木を伐採するのに、さまざまな安全対策がされていることを教えていただいた。笛を吹くことで木を伐採する合図になること、ロープを木にかけて倒れる方向を決めること、滑車を用いて力を分散させることなど、初めて知る</p>		

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>ことがたくさんあり、熱心に話を聞く子どもたちが多かった。木が倒れたときには「すごい!」「一瞬だけど、体が持ち上がったよ!」と、驚きの声があがった。伐採の様子を見るのは初めての子どもが多く、大変貴重な経験となった。</p> <p>名札作り ご用意いただいた木材に、一人ひとり考えたデザインで名札を作った。山や丸太やきのこなど、里山で見つけたものを描く子どもが多かった。できあがった名札を早速着け、友だちと見せ合う姿が見られた。満足できる名札を完成させることができた。</p>	
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレッキングでは、たくさんきのこを見つけることができました。家に持ち帰って家族で食べたら、とてもおいしかったです。今度は家族を連れて、みんなでまた行きたいです。</li> <li>・伐採見学では、木が倒れるときに「ドーン!」と地震のようにゆれました。それだけ重い木を安全に伐採する工夫を見学できてよかったです。</li> <li>・木材で作った名札がとても気に入りました。これからたくさん使いたいです。</li> <li>・きのこを見つけたり、思いっきり遊んだり、ふだんできないことをたくさんやりました。とても楽しかったです。</li> </ul> </li> <li>先生方の感想、要望等 <p>里山くらぶ、寿財産区、寿公民館をはじめ、多くの方に支えていただき、里山体験学習を実施することができました。安全面やコロナ対策として、さまざまな工夫を考えていただき、大変ありがたかったです。のびのびと活動する子どもたちの姿がとても印象的でした。今後も、自然と関わる学習を大切にしていき、子どもたちに自然を大切にする心を育ててほしいと思います。</p> </li> </ol>	

環境教育支援事業実施報告書

【番号：44-3】

<p>授業名</p>	<p>里山体験学習</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立寿小学校 5学年2学級</p>	<p>参加人数</p>	<p>57人</p>
<p>担当者</p>	<p>奥原 志織</p>	<p>記入者</p>	<p>奥原 志織</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和2年9月29日(火)</p>		
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん 寿財産区 平林議長 寿公民館 百瀬公民館長</p>		
<p>実施概要、実施状況</p>	<p>【番号：44-2】と同様</p>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・木の伐採では、切り口と追い口があり、切込みはたおしたい方向に入れることを知り、そんな工夫があるんだ、と思いました。</li> <li>・森の新鮮な空気を吸いながら、学習できてとても楽しかったです。</li> <li>・里山クラブの人たちに、森の中の動物の話、植物の話をしていただきながらトレッキングができてとても勉強になりました。</li> </ul> </li> <li>先生方の感想、要望等 <p>里山クラブ、寿公民館、寿財産区をはじめとする、地域の方々のお陰で、子どもたちが自然と触れ合うとともに、自分たちの地域をより深く知り大切にしていこうとする気持ちを育む素晴らしい機会を与えていただきました。</p> <p>このような貴重な体験の機会をいただいたことに、関係者の皆様には大変感謝しております。</p> </li> </ol>		

授 業 名	職場体験学習出張講座 「山や自然からの贈り物」		
学校名、学年、学級	松本市立菅野中学校 2学年	参加人数	9人
担当者	北澤 信（2学年主任）	記入者	北澤 信（2学年主任）
実施日（期間）	令和2年10月27日（火）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん 吉野 一弥さん 百瀬 晴夫さん 西村 緑さん 北澤 治樹さん		
実施概要	キャリア学習の一環として行う職場体験学習において山林に関わる知識や理解ならびに山林に関わる仕事について体験的な学習を通して学び、山林や活用、育成に関わる仕事への興味や関心を高められるようにする。当日は林業の話の講義を交えながら中庭の立ち枯れのイチイ（樹齢70年高さ6m）を伐採して枝払いをしてから保管した。		
実施状況 （授業風景）	<p>山林の役割についての説明を聞いた。今、森に入って管理しなければいけない。イチイの木について、冬と夏の成長の違いで年輪が生じること枝打ちしてきれいにしないと細く育ってしまう、枝の張りの分だけ根も広がっている。</p> <p>木の伐採では、道具の使い方を考えながら作業する。下敷きにならないように気をつける。倒す方向を考えて、受け口や追い口を切って倒す。</p> <p>イチイの木の伐採では、地面に近い方から枝を切っていく。倒す方向をきめて受け口を作ってから、後ろ側に追い口を作り木が傾いたらロープで引っ張って倒した。</p> <p>チェーンソーの音は大きくて、聞こえない中で作業になるので事前に行程や分担が共通理解できていることが大切。このような平地での作業ではないので安全管理が重要。</p> <p>伐採したイチイの木は、枝打ちをして保管します。来年はこの枝を使った工作をする予定。</p>		



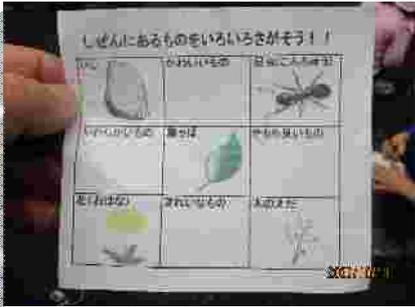
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等        林業には、専門にしている方の他にボランティアや県の林務課の方など多くの方々が関わっていることが分かった。        山を大切にしなければいけないし山を支えているのは木だと言うことが分かった。そして、今、山に入って手入れをしていく事が必要だと分かった。        林業の仕事は一人ではできないし、何人もの人手が必要で、自分の事だけにいっぱいになっていては何もできず何も進まないで周りとの信頼関係やコミュニケーションが必要なんだと実感した。</p> <p>2 先生方の感想、要望等        今回は、職場体験学習の出張講座の一つということでしたがどの職業にも共通する、協力や信頼、コミュニケーション、専門知識に加えて、熱意や使命感が大切なのだと学んだようでした。        今後は、環境教育や自然教室としての講座開設も有効だと思いました。ぜひ、次年度以降につなげていきたいと思いました。</p>
---------------	---

授業名	人のくらしと川 ~ 『大河の一滴』 犀川下りのための事前学習		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校 4学年	参加人数	43人
担当者	担任 古瀬 久美子 小林 巨樹	記入者	古瀬 久美子
実施日(期間)	令和2年8月24日(月)		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん		
実施概要	川とはどういうものであるのかその概要を知り、川下りの準備や安全対策を知り、川下りの心構えをつくる。		
実施状況 (授業風景)	 <p>小峰さんの話を聞く子どもたち</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高い山に降った雪や雨が地面にしみこんで、長い時間をかけて流れ出し、それが集まってだんだんと大きな流れ(川)になっていくんだな。</li> <li>・ 川下りは命に関わることなのでしっかり話を聞かなければいけない。</li> <li>・ 川下りをするためには、ウエットスーツやライフジャケットを着て、運動靴を履いて、ヘルメットをかぶるなど、しっかりと準備をしてから取り組むから安心だな。</li> <li>・ もし、川に落ちたら、することが3つあることが分かった。(『慌てない』『立たない』『泳がない』)ラッコのような姿勢で、水に浮くことが一番安全であることがわかった。</li> <li>・ 早くやりたい。待ち遠しくなった。</li> <li>・ 川に捨てられるプラスチックのごみの量を見て驚いた。魚がえさと間違えて、食べてしまうらしい。魚がかわいそう。</li> </ul> <p>2 職員の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師の小峰さんは、実体験に基づいて話をしているので、言葉の一つ一つに重みと説得力があった。また、映像を用いての説明なので、とても分かりやすかった。さらに、子どもたちに伝えようとする熱意も強く感じられ、子どもたちは自分の事として話を受け止め、活動に対する期待感をもつことができた。</li> <li>・ 我々教師にとっても経験したことのない活動内容だったので、小峰さんが子どもたちに話を伝えることによって、活動内容を確認する事や子どもたちの反応を知る事ができ、本番で指導する上での心構えができた。</li> </ul> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前学習としてこのような機会を設けたことは、子どもたちの川下りのイメージがより現実的になったので、とても有効な機会だった。</li> <li>・ 地域の方から聞いた犀川通船のお話と関連させることができた。</li> </ul>		

授業名	人のくらしと川 ～犀川下り～ 事前学習		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校 4学年	参加人数	42人(1人欠席)
担当者	担任 古瀬 久美子 小林 巨樹	記入者	古瀬 久美子
実施日(期間)	令和2年9月11日(金)		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良さん		
実施概要	川の水が自分達の生活とどう結びついているのか学習してきた子どもたちが、実際にラフティングボートに乗って川下りを体験することを通して、自然との一体感を楽しんだり、ふるさとの川の素晴らしさを感じたりすることができる。		
実施状況 (授業風景)	 <p>ラフティングボートに乗って川下りを満喫する児童。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてラフティングをやってみて、とっても楽しかった。またやりたい。</li> <li>・ガイドさんが面白く、丁寧にこぎ方を教えてくれてうれしかった。</li> <li>・グループのみんなで協力してパドルを漕いで楽しかった。</li> <li>・川の中は流れが速い所や遅い所、浅い所や深い所、合流する所や渦になっている所など、様子が違う様々な場所があることがわかった。</li> <li>・川から見る景色は自然が豊かでとてもきれいで、鷺などの鳥も見ることができた。</li> <li>・奈良井川と梓川では水の色や流れの速さがちがった。</li> <li>・ウエットスーツとライフジャケットのおかげで浮くことができ、最高に気持ちよかった。川に入ることができて、岸から岸まで泳ぐ競争が楽しかった。</li> </ul> <p>2 職員の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラフティングを実体験すること自体が、児童にとって最高の学習であった。川から見た景色は自然が豊かで児童・職員の心を潤してくれた。またとない、貴重な体験をさせて頂きありがたかった。</li> <li>・一艘のボートに5～6名の児童・教員が乗り、ガイドが一艘に一人ずつついてもらった。ガイドの操船技術や安全への配慮が素晴らしく、危険を感じることなくこの体験を非常に楽しむことができた。</li> <li>・川に浮いているごみを見つけ、気になった児童もいたようだ。</li> </ul> <p>3 その他</p> <p>前日まで実施が危ぶまれる天気だったが、本番は天候に恵まれ、貴重な経験をさせて頂いた。関わっていただいた、多くの方々のご配慮に感謝したい。ラフティングの楽しさと故郷の豊かな自然の素晴らしさを改めて味わうことができた活動であった。この体験を活かし、今後、環境について考えるなど学習を深めたい。</p>		

授 業 名	つくって、うかべて、みらいごう			
学校名、学年、学級	信州大学教育学部附属松本小学校 2年東組	参加人数	36人	
担当者	田代 佑夏	記入者	田代 佑夏	
実施日（期間）	令和2年9月8日（火）			
講師名	合同会社リトルピークス			
実施概要	<p>自分たちで作った船を女鳥羽川で浮かべてみたいという願いから、これまでも女鳥羽川を探検してきたが、川の水量や水圧、河床の状況、事故への恐怖から、自分たちだけでの実現は難しいと考えてきていた。当日は、女鳥羽川の成り立ちや環境の豊さなどの講話と共に、川での歩き方や浮き方、危険察知や回避の仕方などを実践指導していただき、心構えができた上で船の進水を行った。流れのある中での乗り心地を大いに体感することができた。</p>			
実施状況 (授業風景)	 <p>女鳥羽川堰堤での浮き方体験</p>	 <p>船の進水</p>	 <p>堰堤での船の進水</p>	 <p>女鳥羽川の生き物探し</p>
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女鳥羽川で浮かべてみたいという願いが実現したことに、大きな喜びを得ることができていた。</li> <li>・これまで何度も体験してきたプールでの進水と異なり、川では流れにより船に勢いがつくことや、勢いに耐えることのできる強度が必要なこと、強度があれば複数人でも乗れることなどを体感してきていた。</li> <li>・環境条件によって異なる川の構造と、それぞれの場での行動の仕方を知り、実践したことで、川への新たな認識を得ることができていた。堰堤で浮かぶ体験が印象強く残っていた。</li> <li>・これまで川に親しみにくかった子も、家族と一緒に遊びに来たり生き物探しをしに来たりしたいと話すようになっていた。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた時間と場の中で、子どもたちの願いに寄り添っていただくと共に、子どもたちが河川の醍醐味を味わうことのできる、大変充実したプログラムであった。</li> <li>・川での行動の仕方の具体を教えていただき、今後の指導の参考になった。ライフジャケットなど安全への配慮があったため、思う存分活動に取り組みせることができ、ありがたかった。</li> </ul>			

<p>授 業 名</p>	<p>つくって、うかべて、みらいごう～女鳥羽川生き物探検～</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>信州大学教育学部附属松本小学校 2年東組</p>	<p>参加人数</p>	<p>36人</p>
<p>担当者</p>	<p>田代 佑夏</p>	<p>記入者</p>	<p>田代 佑夏</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和2年10月22日（木）</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO法人川の自然と文化研究所</p>		
<p>実施概要</p>	<p>自分たちでつくる船や船の乗船体験を通して、身近な河川である女鳥羽川への関心を高めてきた。また、身近な生き物への関心も寄せていた。当日は、女鳥羽川に生息する生き物採集や観察会を通して、生き物の種類や生態、暮らし方を実物から知ると共に、貴重な生き物の暮らす女鳥羽川の環境の良さを改めて実感することができた。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>			
	<p>女鳥羽川での生き物採集体験</p>	<p>講師の先生からのご指導</p>	
			
	<p>生き物のとり方を教わる</p>	<p>教室での観察会</p>	
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2回目の生き物採集だったため、生き物の住んでいそうな場所を自分で見当をつけて探す様子があった。生き物の種類によっている場所が異なることを教えていただいたことで、川の様子を見ながら探していくようになっていた。</li> <li>・ 初めて生き物をとることができたという児童も多く、多種類を見分けながらとれたことに喜んでた。</li> <li>・ 観察会では、生き物の名前や暮らし方をさらに詳しく教えていただいたことで、愛着を感じながらスケッチしていた。</li> <li>・ 飼ってみたい、もっと詳しく観察したいという思いが湧いていた。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちが思い思いに採集している様子に応じて、小さな生き物にも詳しい解説をしていただいたことで、生き物への関心や愛着を高めていただけた。</li> <li>・ 身近な川の面白さを味わう方法を、子どもたちでもできる方法で示していただけたことで、また行ってみたいという気もちを作っていただけた。</li> </ul>		

授 業 名	自然の中で遊んで学ぼう！		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 まつかぜ1・2・3・4組	参加人数	27人
担当者	新村 邦子 池上 由紀 寺島 隆司 佐々木 美幸	記入者	新村 邦子
実施日（期間）	令和2年10月13日（火）		
講師名	体験倉庫かけはし 藤村 哲さん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水生昆虫を探す</li> <li>・自然のものビンゴ</li> <li>・ヤギとのふれあい</li> <li>・森の中で自然を感じる</li> <li>・ツリーハウス体験</li> </ul>		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>やぎにえさをあげている</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自然にある物ビンゴ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>水生昆虫探し</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ビンゴカード</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カニが見つかってうれしかった。</li> <li>・山を登って行って疲れたけど、おもしろかった。</li> <li>・ヤギに葉っぱをあげたら、食べてくれてうれしかった。</li> <li>・ツリーハウスに登ったり、くりを拾ったりして楽しかった。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校では体験できない活動をたくさんできて、とても楽しそうだった。</li> <li>・普段の生活では、ヤギを間近で見たり、えさをあげたりする体験はなかなかできないため、とてもよかった。</li> <li>・もう少し距離が近ければ、何回も行きたいが、半日かかるため難しい。</li> </ul>		

令和2年度  
松本市小中学校環境教育支援事業  
学習プログラム一覧



## 令和2年度 小中学校環境教育支援事業 環境学習プログラム一覧

分類	No	講座名称	講師	
校内	きく・みる	1	気候変動とSDGs	自然エネルギーネットまつもと
		2	ツキノワグマの生態を知ろう	NPO法人信州ツキノワグマ研究会
		3	山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境。	認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ
		4	使わないものはゴミではなく資源	フリマネット信州
		5	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	松本市環境政策課
		6	地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
		7	生きものから学ぶ環境学習	松本ホテル学（まなぶ）会
		8	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス
	たべる	9	ぬかどご飯炊き体験	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
		10	木の授業とパウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ
	つくる	11	木材の活用法（小物づくり）	寿さと山くらぶ
		12	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成）	松本市社会福祉協議会ボランティアセンター
		13	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
		14	自然素材で簡単工作	NPO法人わおん
	実験する	15	やさしい放射線の実験教室	株式会社 環境技術センター
		16	水はどこから？	株式会社 環境技術センター
		17	木質バイオマスエネルギー利用方法	自然エネルギーネットまつもと
		18	あかりのエコ教室	パナソニック株式会社ライフソリューションズ社松本電材営業所
		19	エコと太陽光発電教室	パナソニック株式会社ライフソリューションズ社松本電材営業所
		20	ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課
		21	小水力発電機等による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
校外	公園等	22	身近な自然観察	自然観察の会 ひこばえ
	川	23	水辺の観察会	NPO法人えんどっこ
		24	水辺の生物の観察会	NPO法人川の自然と文化研究所
		25	生きもの観察「今、自然がなぜ大切か？」	松本ホテル学（まなぶ）会
		26	地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス
		27	梓川&奈良井川&犀川ラフティング	合同会社リトルピークス
		28	水殿ダムラフトピクニック（ダム見学付き）	合同会社リトルピークス
	山	29	子どもの森の健康診断	森の健康診断出前隊
		30	地元の山が100倍好きになる登山学	合同会社リトルピークス
	特定の場所・その他	31	地域発見ウォーキング	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
		32	手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について	いきものみつけファーム in 松本推進協議会
33		石窯ピザづくりたいけん	NPO法人石窯スマイル研究会	
校内外両方で可	34	いきもの探しと観察及び環境教育講座	いきものみつけファーム in 松本推進協議会	
	35	プランター菜園講座	いきものみつけファーム in 松本推進協議会	
	36	体感&体感！自然体験学習!!	信州やがいたいけん楽校ぶらす	
	37	体験して学ぶ「自然や環境」について	体験創庫かけはし	
	38	火おこしと簡単な野外料理、農業体験	体験創庫かけはし	
	39	自然体感プログラム	NPO法人わおん	
	40	外あそびの達人講座	NPO法人わおん	

## 環境学習プログラム 教科・領域との関連について

ご要望に応じ対応可能ですので、あくまで参考としてください。

分類	No	講座名称	関連する主な教科・領域						
			社会	理科	図工 美術	技術 家庭	生活	総合	
校内	きく・みる	1	気候変動とSDGs						
		2	ツキノワグマの生態を知ろう						
		3	山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境。						
		4	使わないものはゴミではなく資源						
		5	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」						
		6	地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ						
		7	生きものから学ぶ環境学習						
		8	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー						
	たべる	9	ぬかくどご飯炊き体験						
		10	木の授業とパウムクーヘン作り						
	つくる	11	木材の活用法（小物づくり）						
		12	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成）						
		13	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり						
		14	自然素材で簡単工作						
	実験する	15	やさしい放射線の実験教室						
		16	水はどこから？						
		17	木質バイオマスエネルギー利用方法						
		18	あかりのエコ教室						
		19	エコと太陽光発電教室						
		20	ワクワク下水道教室						
		21	小水力発電機等による自然エネルギー体験						
校外	公園等	22	身近な自然観察						
	川	23	水辺の観察会						
		24	水辺の生物の観察会						
		25	生きもの観察「今、自然がなぜ大切か？」						
		26	地元の川大好き！リバーアドベンチャー						
		27	梓川&奈良井川&犀川ラフティング						
		28	水殿ダムクラフトピクニック（ダム見学付き）						
	山	29	子どもの森の健康診断						
		30	地元の山が100倍好きになる登山学						
	特定の場所、その他	31	地域発見ウォーキング						
		32	手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について						
		33	石窯ピザづくりたいけん						
	校内外両方で可	34	いきもの探しと観察及び環境教育講座						
35		プランター菜園講座							
36		体感&体感！ 自然体験学習!!							
37		体験して学ぶ「自然や環境」について							
38		火おこしと簡単な野外料理、農業体験							
39		自然体感プログラム							
40		外あそびの達人講座							

講師の選定、講座内容の作成に関して、環境教育講師団体、中信地区環境教育ネットワーク等の協力をいただいています。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称		気候変動とSDGs (講座 No.1)	
支援事業内容	<p>気候変動とSDGsを学びます。 気候変動とはどんなことで、地球上で何が起きているのか 私たちはこれからどうしたらよいか SDGsとは何か、その本質はどのようなことなのか</p> 		
対象	小学4年生以上		
時間数	1時間程度		
講師人数	子どもの人数に匹敵なく講師1人		
費用	<p>①講師謝礼 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限分)</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人で必要なもの 【学年費等】 ・なし</p>		
学校側で必要な準備	プロジェクターとスクリーン (なければ講師が持参します)		
講師からの持込資材等	読明用教材		
講師について	<p>2012年2月設立の任意団体です。地域にあるものをいかした岸らし」の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。</p>		
開催実績	<p>2014～2017年度 会川小学校 木質バイオマス活用 2017年度 清水小学校 防災とバイオマス</p>		
その他	<p>・プログラム実施の2か月前には、申込の連絡をしてください。 ・No.17の講座も提供しています。</p>		
講師	<p>【団体名】自然エネルギーネットまつもと 【担当者名】半島友人 【代表者名】半島友人 【TEL】0266-52-0160 (留守電) 【FAX】0266-52-0160 【Eメール】ncmatsu@gmail.com 【HP】http://www.ene-net-matsumoto.net 【住所】〒392-0023 諏訪市九和山南9-3</p>		
連絡先			
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>		

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称		ツキノワグマの生態を知ろう (講座 No.2)	
支援事業内容	<p>講師を派遣し学校近隣 (校内を含む) で行う学習支援 パワーポイントを印した講義</p> 		
対象	小学1年生から中学3年生まで		
時間数	45～90分程度		
講師人数	子ども100人に講師2人		
費用	<p>①講師謝礼 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限分)</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人で必要なもの 【学年費等】 ・なし</p>		
学校側で必要な準備	<p>・スクリーン ・プロジェクター ・パソコン</p>		
講師からの持込資材等	<p>・トランクセット (クマの毛皮、頭骨等)、クマの首ぐるみ ツキノワグマの生息環境の保護保全を図り、野生動物と人間の共存を実現することを目的として、20年以上に渡り、ツキノワグマの生態研究および保護管理の活動を行っています。授業は、実際にツキノワグマの研究を行うメンバーが実施します。</p>		
開催実績	<p>平成27年度 女雲小中学校 ツキノワグマの生態を知ろう 平成28年度 奈川小学校 ツキノワグマの生態を知ろう 平成30年度 山川小学校 山の動物 会田中学校 ツキノワグマってどんな動物？</p>		
その他			
講師	<p>【団体名】NPO法人 信州ツキノワグマ研究会 【担当者名】坂口あかり 【代表者名】中元良朝 【TEL】0263-36-1884 (下生が多いため、他の方法でご連絡ください) 【FAX】0263-36-1884 【Eメール】kumaken_shinshu@yahoo.co.jp 【HP】https://kumakenshinshu.wixsite.com/kumaken 【住所】〒390-0876 松本市開智2-9-8</p>		
連絡先			
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>		

【分類：校内 - 大きく・みる】

講座名称	山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境。（講座No.3）
支援事業内容	<p>学校登山の事前学習とあわせて、石州の山を知って楽しむための講座。山の魅力、山の特徴、登山の効用、山の楽しみ方、山との関わりなどについて、講義とアクティブラーニング（能動的な学習）を通して学びます。子ども達が山を好きになることは、これからの地域のエネルギーの源になります。そして、SDGs（持続可能な開発目標）を意識した地域づくりの原点にもなります。また、先年方にも現在の登山のスタメンタードを知っていただき、きつい訓練登山的な考えから解放を指摘します。</p> 
対象	小学4年生から中学3年生まで、特別支援学級
時間数	90分程度
講師人数	1学年に講師1人（学年単位で実施できます。）
費用	<p>① 講師謝礼 → 【手数料】 ・講師1人につき5,000円（授業1時限分母）</p> <p>② コース・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③ 個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側に必要な準備	パワーポイントの使用ができることと、軽い運動ができるスペース
講師からの持込資材等	パソコン
講師について	<p>2005年に設立された、長野県の山岳地帯を主な活動場所とするNPO法人です。登山ガイド・自然ガイドのライセンス保持者で構成されています。登山ガイドの松本省吾他、学校登山サポートプログラムを区別しているガイドが実施いたします。石州の子ども達も山好きになるきっかけを作りたい。山好きになって、山での遊びも沢山知ってもらえば、登山や野外で活動は大人になっても続けられることができます。“持続可能な登山と自然体験”を目指して活動しています。</p>
開催実績	<p>2012、14年度 会田川 2015年度 南阿小「シカと環境のワークショップ」（美ヶ原キャンプ場） 2016年～18年度 松本市環境学習講座「シカの角を探そう」等 その他 学校登山、上高地学習など多数実績があります。 学校登山実績の申し込みに合わせてもご利用いただけます。 小学校の美ヶ原登山などへの出前講座も可能です。</p>
その他	<p>【団体名】 与野まつもと山岳ガイド協会やまごみ 【住所名】 松本高野 【代表者名】 新松晃兵衛 TEL 0263-34-1543 【FAX】 0263-55-6194 メール marusho2013@ab.aunone-net.jp HP http://www.enet-matsumoto.net 住所 〒390-0304 松本市大村1082-04</p> <p>①申込書と申請書に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打ち合わせをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内 - 大きく・みる】

講座名称	使わないものはゴミではなく資源（講座No.4）
支援事業内容	<p>当団体が支援しているカンボジアやアフリカの子どもの現状や母らしさについて学び、現地の子どもたちをどうやったら応援するか、子どもたちとアテティアを出し合い、実践する講座です。 【取組例】 不要になった文房具などを家庭や友人などに呼び掛け、集め、実際に梱包して現地に発送するまでを体験する。</p> <p>① 環境負荷の現状について知る ② 不用品がゴミではなく資源であると学ぶ ③ 必要としている国の人たちに実際に届ける体験をする</p> <p>自らの生活の中で「不要になったもの」を廃棄物でなく「資源」としてとらえることで、未来の環境負荷を軽減することの大切さが学べます。</p>
対象	小学校中学年～中学生まで
時間数	2時間くらいが望ましい。（2校可）
講師人数	子ども30人に講師2～3人
費用	<p>① 講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時限母） ・交通費（自家用車） ② コース・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③ 児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・材料費等、必要物品 ・資料作成の印刷代</p>
学校側に必要な準備	DVD 視聴用の視聴覚設備、教鞭道具、録音機、猫など
講師からの持込資材等	視聴覚映像ソフト、参考図書、写真、材料など
講師について	<p>村利用推進活動を文化活動かしてとらえ、実践して30年。団体は平成14年発足。生活者自身がユネス、市民交流、福祉支援、まちの賑わいづくりを4つの趣向として、消費者のリュースファミリーマーケット活動を年間40開催、リュースで回収した物品で海外の児童教育支援をする活動、福祉活動やボランティア活動、市民活動などの企画や広報の支援も行っています。</p> <p>・カンボジアの小学校へのリュース楽器の回収、メンテナンス、学校から発送までを現地小学校三年生、寿台児童館、学生クラブ等で開催。 ・中内の児童館を運営するNPO法人と協働で、児童館の児童が、ペットボトルなどリメイクして作った作品を持ち寄り、先生たちと「リユースバザー」を行って震災で被災した阿曇小学校の支援イベントを寿台児童館にて実施他。</p>
開催実績	<p>・中内の児童館を運営するNPO法人と協働で、児童館の児童が、ペットボトルなどリメイクして作った作品を持ち寄り、先生たちと「リユースバザー」を行って震災で被災した阿曇小学校の支援イベントを寿台児童館にて実施他。</p>
その他	<p>【団体名】 フリマネット信州 【住所名】 立石恵子 【TEL】 090-9664-5510 【FAX】 0263-55-4451 【メール】 furimanet@yahoo.co.jp 【HP】 http://furimanet.com/</p> <p>①申込書の内容を上記電話番号に伝える。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打ち合わせをする。④当日を迎える。</p>
講師	立石恵子
連絡先	立石恵子
申込み方法	立石恵子

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	まっもとの環境について学ぼう 〔松本市環境基本計画関連講座〕 (講座 No.5)
支援事業内容	 <p>松本市民である私たちが取り組むべき5つの点について、パワーポイント等を使って学習し、自分たちになにができるのか、一緒に考えます。学習内容は、以下の1～5の中から組み合わせが可能です。(要相談)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地球にやさしく 地球温暖化を防ぐために一人ひとりが節電や省エネに取り組むことの重要性を学びます。</li> <li>2 資源を大切に もったいない、をキーワードとした3Rの取組みやごみの現状、食品ロス、わたしたちなどに学ばせていただきます。</li> <li>3 安心・安全な暮らし 松本市の騒音や水などの環境の状況や、私たちの行動がどのようにに環境に影響をあたえるのかを、実際の観音計等を使って学びます。</li> <li>4 自然のめぐみ 生きものあふれる松本プラン 生物多様性」について、わかりやすく学びます。</li> <li>5 心地よいまち 身近にある心地よいおみやげや岩、花いっぱい運動を通じて、地域で自慢できる環境について学びます。</li> </ol>
対象	小学4年生以上
時間数	1時間
講師人数	講師1～2名
費用	<p>①講師謝礼 ・無料</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの ・なし</p> <p>③児童個人で必要なもの ・なし</p>
学校側で必要な準備	電源の確保
講師からの持込資材等	プロジェクター、スクリーン、資料等
講師について	
開催実績	
その他	
講師	【団体名】松本市環境政策課
連絡先	【担当名】 毎幡 【TEL】 34-3268 (平日9時～17時なら連絡可能) 【FAX】 34-0100 【メール】 s-kankyo@city.matsutomoto.lg.jp 【住所】 〒390-8620 松本市北の内3-7
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前 に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ (講座 No.6)
支援事業内容	 <p>気象予報士が、地球環境や身近な環境問題について、スライドや教材を用いて講習します。地球環境、異常気象と自然災害、ごみ問題、省エネルギー・自然エネルギー、SDGs等について学べます。</p>
対象	小学校高学年から中学生まで
時間数	要相談
講師人数	1クラス～1学年に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間)</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの、【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	プロジェクター、スクリーン (※体育館、講堂などで実施する場合はマイク)
講師からの持込資材等	パソコン、教材
講師について	気象予報士の資格を持ち、市内で地球温暖化防止活動を行う市民団体「エコネットまつもと」の代表を務めています。市の環境政策委員会、県の地球温暖化防止活動推進員等としても活動しています。
開催実績	随時開催 市民向けワークショップ・松本市環境学習講座 (エコネットまつもと) 内での講習 平成30年度 明善小
その他	・竹筒と箸ろうそくを使ったキャンドルづくり (講座 No.13)」、 ・小水力発電機等による自然エネルギー体験 (講座 No.21)」と同日実施が可能です。(要相談) ・No.13、21の講座も提供しています。
講師	【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)
連絡先	【担当名】 鈴木 高 一郎 【代表者名】 高澤 信 【TEL】 0263-57-5460/080-5109-9715 【FAX】 0263-57-5460 【メール】 一 【住所】 一 【HP】 <a href="https://www.city.matsutomoto.nagano.jp/smph/shisei/kankyoiho/kanryo_kvouku/econet.html">https://www.city.matsutomoto.nagano.jp/smph/shisei/kankyoiho/kanryo_kvouku/econet.html</a>
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前 に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内・大きく・みる】

講座名称	生きものから学ぶ環境学習 (講座 No.7)
支援事業内容	身近な生き物を含む、いろいろな生き物に見られる不思議、驚き、賢さ、面白さ等を、スライドを用いて楽しく説明し、生徒にそれらについて質問をし理解を深める中で、人にとつての環境の大切さを学べる講座です。  
対象	小学校4年から中学校まで、特別支援学級
時間	45分、または90分程度
講師人数	子ども人数に關係なく講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ②クラス・学年全体に必要なもの、【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの、【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	プロジェクター、スクリーン、マイク。講義レジメの印刷紙布
講師からの持込資材等	パソコン
講師について	講師は信州人等で30年以上教職をとるとともに、現在も非常勤講師を務めています。各種の講演会での講師経験を持ち、毎年、小学生から大人までを対象に県内外で講演させて頂いています。
開催実績	平成30年度 内川小学校、芳川小学校、信明中学校 令和元年度 内川小学校、鉄田中学校、本郷公民館、竹瀬公民館 内川公民館、沢村公民館、等
その他	講師は県外の県外、県外で年間10件以上の講演を行っています。 No.25の講座も提供しています。
講師	【団体名】 松本スタル学会 【担当者名】 藤山恭雄 【代表者名】 藤山恭雄
連絡先	【TEL】 0263-46-3275/ 携帯 080-3481-5741 【FAX】 0263-46-3275 【Eメール】 sfujiya@shinshu-u.ac.jp 【HP】 <a href="https://www.facebook.com/matsumoto.hotaru/">https://www.facebook.com/matsumoto.hotaru/</a> 【住所】 〒390-0311 松本市水波25-6
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内・大きく・みる】

講座名称	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー (講座 No.8)
支援事業内容	山と川と水の繋がりが、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！ 
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級
時間	1時間程度 (内容によって変動可)
講師人数	子ども30人に講師1名 (1クラスor 学校単位で1講師も可能)
費用	①講師謝礼、【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) ②クラス・学年全体に必要なもの、【消耗品費】 ・特になし ③児童個人で必要なもの、【学年費等】 ・特になし
学校側で必要な準備	スクリーン、プロジェクター
講師からの持込資材等	PC・スチキータンク用品など
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド＆ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども1日除キヤンプ、クリーナーアップ梓川などの地域活動活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド＆ツアーコンセプは「風流であれ！アプロログであり！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	平成29年度 安曇小学校 「黒川と梓川リバーアドベンチャー」 「内川小学校」 「内川と松本川川ラフティング」 平成30年度 安曇小学校 黒川と梓川リバーアドベンチャー、 令和元年度 内川小学校 黒川と梓川リバーアドベンチャー、 奈川・安曇、渡川小学校 「次世代ラムラフトビクニック」 大田小学校 「地元の子が100倍好きになる登山学」 鎌田・梓川・安曇小学校 リバーアドベンチャー 栢川・田川・淡田小学校 「梓川大好き！大河の一滴スライドショー」
その他	・No.26、27、28、30の講座も提供しています。
講師	【団体名】 リトルピークス 【担当者名】 小藤邦太 【TEL】 0263-93-1243/090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243
連絡先	【Eメール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 <a href="https://www.littlepeaks.jp/">https://www.littlepeaks.jp/</a> 【住所】 松本市安曇4306-7
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - たべる】

講座名称	ぬかくどご飯炊き体験 (講座 No.9)
支援事業内容	<p>昔ながらの「ぬかくど釜」でご飯を炊き、美味しいお水を味わっていただきます。「ぬかくど釜」は、昭和初期に農家で使われていた「ぬか＝もみ殻」を使った釜で、紙芝居にて概要を説明します。</p> <p>※3釜持参可能(おにぎり約70個/釜)</p>
対象	小中学校3年生以上・中学生3年生まで、特別支援学級
時間数	2時間程度
講師人数	子ども30人に講師2人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・お米代等 6俵(おむすび150個)で約7000円</p>
学校側に必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	ぬか、その他の備品
講師について	<p>1ターナーと地蔵住氏との交流による新しいふるさとづくりを日誌として、2006年に設立したNPO法人です。2007年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」「安曇野さんぽ」を年10回程度開催し、過去のルート図を「ふるさとウォッチングマップ」としてまとめ、公式サイトで公開しています。また、2015年度に地球カメド行成講座「案内人の教え」をスタートし、2018年度より松本観光ホスピタリティカレッジ「ガイドコース」の講師も務めています。</p>
開催実績	(ぬかくどご飯炊き体験) 2015～2017年度 会山中学校 2015～2020年度 子小中学校
その他	・No.31の講座も提供しています。
講師	【団体名】NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
連絡先	<p>【担当者名】吉崎 崇徳 【代表者名】等々力 秀和 【TEL】0263-81-1325 (9-18時なら連絡可能) 【FAX】0263-81-1280 【Eメール】lifepoint@mify.com 【HP】http://azumino-furusato.com/ 【住所】〒399-8304 安曇野市穂高河原1132-2</p>
申込み方法	①申込書の応募を上記Eメール又はFAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - たべる】

講座名称	木の授業とパウコムカーベン作り (講座 No.10)
支援事業内容	<p>木の成長を体験的に学べる学習です。 木が成長する際、1年に1つの年輪ができ、それが年1年何百年と続くことで年輪ができます。 木の成長に思いを馳せながら、炭火を使って材料からパウコムカーベンを作ります。また、竹や間伐材などを活用する学習も可能です。</p>
対象	小3から中3まで、特別支援学級
時間数	120分程度
講師人数	子ども15人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・炭(10kg) 約1,000円/児童15人分</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・食材 約4,000円/児童15人分 (卵(人)40個、バター600g、ホットケーキミックス 1kg、小麦粉500g 砂糖600g)</p>
学校側に必要な準備	長机1台/児童15人分
講師からの持込資材等	レンリ等の資材、竹の株などの資材、機材一式
講師について	平成13年に設立し、お地区の財産区石林の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。会員数65名。
開催実績	平成28年度 鎌田小、二子小 平成29年度 今井小、二子小(4年・特支)、四賀小、鎌田小、会田小 平成30年度 会田中、四賀小、菅野小、二子小(4年・特支) 令和元年度 杉川小、二子小、四賀小、菅野小
その他	・No.11の講座も提供しています。
講師	【団体名】ふるさと山くちぶ
連絡先	<p>【担当者名】鈴木 隆一郎 【代表者名】白川良戸 【TEL】0263-57-5460 / 080-5109-9715 【FAX】0263-57-5460 【住所】〒399-0022 松本市松原9-17</p>
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内－つくる】

講座名称	木材の活用法（小物づくり）	（講座 No.11）
支援事業内容	<p>間伐による里山の保全、間伐材の活用について学習しながら、木工工作を行います。木の持つ魅力や種類の違いなどを五感で感じて、自ら創造する活動です。</p> <p>また、山林での森林整備体験なども行います。（応相談）</p>	
対象	小学4年生から中学3年生まで	
時間数	120分程度	
講師人数	子ども6～8人に講師1人	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師1人につき5,000円（授業1時限毎）</li> </ul> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木工材料費1人あたり約100円（事前の相談で決定）</li> </ul>	
学校側で必要な準備	図工室、木工室等の会場（電源がある部屋）	
講師からの持込資材等	木工に必要な木材、酸欠一式	
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財団法人の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。会員数65名。	
開催実績	<p>平成27年度 蘇田小学校、会田中学校（森林整備指導）</p> <p>平成28年度 烏立小学校、二子小学校、会田中学校、菅野小学校</p> <p>平成29年度 島内小</p> <p>令和元年度 梓川小、阿賀小、菅野小、二子小 明登小（6年・特支）</p>	
その他	<p>・事前学習として、木の学習や素材探し（小物の作りとなるダンダリ、押し花等）の対応も可能です。</p> <p>・No.10の講座も提供しています。</p>	
講師	【団体名】寿きと山くらぶ	
連絡先	<p>【担当者名】鈴木喜一郎</p> <p>【TEL】0263-57-5460 / 080-3109-9715</p> <p>【FAX】0263-57-5460</p> <p>【住所】〒399-0022 松本市松原9-17</p>	
申込み方法	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に対応を要する。④当日を迎える。</p>	

【分類：校内－つくる】

講座名称	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成）	（講座 No.12）
支援事業内容	<p>マイ箸づくりで作った箸を取納するための袋を自作するための袋の指導講習を行います。</p>	
対象	小学校中学年以上（家庭科の授業開始後が望ましい）	
時間数	2時間程度	
講師人数	子ども10人に講師1人	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師1人につき5,000円（授業1時限毎）</li> </ul> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>	
学校側で必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料（①40cm四方の布、②約40cmのひも）</li> <li>・裁縫道具、アイロン</li> </ul>	
講師からの持込資材等	・マイ箸袋のサンプル	
講師について	市内在住のボランティアが作成を指導します。	
開催実績	<p>平成27年度 烏立小学校・信州大学教育学部附属松本小学校</p> <p>平成28年度 鎌山小学校</p> <p>平成29年度 信州大学教育学部附属松本小学校</p>	
その他		
講師	【団体名】松本市社会福祉協議会ボランティアセンター	
連絡先	<p>【担当者名】福原</p> <p>【TEL】0263-27-3381（8:30～17:15）</p> <p>【FAX】0263-27-2239</p> <p>【メール】chiiki@syakyo-matsumoto.or.jp</p> <p>【HP】http://www.syakyo-matsumoto.or.jp</p> <p>【住所】〒390-0833 松本市双葉4番16号</p>	
申込み方法	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に対応を要する。④当日を迎える。</p>	

【分類：校内ーつくる】

講座名称	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり (講座 No.13)
支援事業内容	<p>竹材を加圧・装飾したキャンドルフォーム、蜜ろう製のろうそくを作ります。作品は、地球温暖化防止の啓発イベント「キャンドル・ナイト in MATSUMOTO」(6月：松本市美術館、12月：松本駅前)にて展示・点灯します。竹資源の利活用や地球温暖化防止について、作品づくりを通して楽しく学びます。</p> 
対象	小学校高学年から中学生まで、特別支援学級
時間数	2～3 時間程度
講師人数	子ども5～6人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	工作室の確保(※蜜ろうそくを製作する場合は、火気使用可能な教室の確保)
講師からの持込資材等	竹材、のこぎり、電動ドリル、軍刀、蜜ろう、ガスコンロ等
講師について	平成17年に設立された、市内で地球温暖化防止活動を行うネットワークです。構成13団体それぞれの環境保全活動の守り手を活かし、「キャンドル・ナイト(6月、12月)」、「打ち水大作戦(8月)」等を行っています。
開催実績	平成29年度 鎌山小、市民向けワークショップ 平成30年度 明善小、四賀小(特支)、市民向けワークショップ 令和元年度 梓川小、市民向けワークショップ2回
その他	<p>・「地球温暖化問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ(講座No.6)」と同じ実施が可能です。(資料譲) ・竹筒キャンドルのみの製作も可能です。 ・No.6、21の講座も提供しています。</p>
講師	【担当者名】松本市地球温暖化防止市式ネットワーク(エコネッどまつもと)
連絡先	<p>【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】宮澤 信 【TEL】0263-57-5460 【FAX】0263-57-5460 【メール】— 【HP】— ojoho_kankyo_kyoiku/ecoclub/ecor.et.html 【住所】—</p>
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教団文化センターに送付する。③FAX:32-7604)にも送付する。④学校から講師へ連絡し、事前申込を要する。⑤当日を迎える。

【分類：校内ーつくる】

講座名称	自然素材で簡単工作 (講座 No.14)
支援事業内容	<p>木の輪切りや木の皮を使って簡単な工作をします。ノコギリや小刀など道具が安全に使えるようになる講座です。</p> 
対象	学年に合わせた内容で実施可能、特別支援学級
時間数	45分程度
講師人数	子ども15人に講師1人(安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ・交通費(自家用車) →@37円/km×(以下住所から学校までの距離)×2往復 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・上作の材料費 100～200円程度(内容による)</p>
学校側で必要な準備	工作が実施可能な場所の確保
講師からの持込資材等	工作に使う道具(のこぎり、小刀など)、自然素材(枝、木の皮)
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。小学生を対象にした周囲の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。
開催実績	平成28年度 田川小学校 「学校の近くの川でネイチャータームなどの自然体験活動」 朝川村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体験(ネイチャーターム)」 平成30年度 並柳小学校「自然体験プログラム、工作」 令和元年度 安芸小学校、普野小学校、並柳小学校 自然体感プログラム 菅野小学校「自然素材で簡単工作」 大野川学校「外あそびの達人講座」
その他	・No.39、40の講座も提供しています。
講師	【担当者名】NPO法人わおん 【代表者名】山田 勇
連絡先	<p>【担当者名】山田 勇 【TEL】0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能) 【FAX】0263-87-4024 【メール】waon@ac.aunone-net.jp 【HP】http://waon.naganoblog.jp 【住所】〒399-0704 塩尻市法郎郷685</p>
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教団文化センターに送付する。③FAX:32-7604)にも送付する。④学校から講師へ連絡し、事前申込を要する。⑤当日を迎える。

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	やさしい放射線の実験教室	(講座 No.15)
支援事業内容	放射線は自然に存在し、正しい管理のもとで利用されることで、人の役に立つこと、また、原子力発電所の事故を受けて、これからのエネルギーについて考えるきっかけになればと思います。普段目に見えない放射線の飛んが軌跡を簡単に観察でき、放射線測定器を使って放射線量の測定を体験できます。	 
対象	小学3年生から中学3年生まで	
時間数	120分程度	
講師人数	子ども20人に講師1人	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎)</li> </ul> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul> <p>③児童個人で必要なもの、その他 → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライアイス</li> </ul>	
学校側で必要な準備	スクリーン、プロジェクター	
講師からの持込資材等	実験道具一式、パソコン	
講師について	松本市内で40年間、環境分析を行ってきている会社です。環境問題がクローズアップされる昨今、理科実験と環境問題を組み合わせ、難しくとらえられがちな化学物質などを、わかりやすく解説したいと考えています。	
開催実績	平成27年度 会山中学校	
その他	・No.16の講座も提供しています。	
講師	【団体名】株式会社 環境技術センター【代表者名】勝野宗一 【担当名】宮澤 恵美	
連絡先	【TEL】0263-27-1606 (受付時間 8:40～17:10) 【FAX】0263-27-2133 【Eメール】miyazawa.m@kgcenter.co.jp 【HP】http://www.kgcenter.co.jp 【住所】〒399-0033 松本市大字笹賀 5652-166	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	水はどこから?	(講座 No.16)
支援事業内容	海や川の水が蒸発して雲になり、雨となって地上に落ちてきて、また海に流れるという循環が、地球が誕生して何億年も前から繰り返され、これからも続いていくはず。だから、未来の人たちのためにも水は大切に、汚さないように使わなければならないことを実感できたらと思います。また、3種類の水を用意して、きき水の体験をしてもらいます。日本の水とヨーロッパの水の味の違いを体験して、どうして味の違いが出るのかを試験します。	 
対象	小学3年生から中学3年生まで	
時間数	120分程度	
講師人数	子ども20人に講師2名	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎)</li> </ul> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・硬度の違うペットボトル水 (日本の天然水、コントントックス)</li> <li>・紙コップ</li> <li>・バックテスト (硬度)</li> </ul> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>	
学校側で必要な準備	スクリーン、プロジェクター	
講師からの持込資材等	実験道具一式、パソコン	
講師について	松本市内で40年間、環境分析を行ってきている会社です。環境問題がクローズアップされる昨今、理科実験と環境問題を組み合わせ、難しくとらえられがちな化学物質などを、わかりやすく解説したいと考えています。	
開催実績	平成27年度 波田小学校 平成28年度 山川小学校 平成29年度 安野小学校 令和元年度 大野川小学校、鎌山小学校、山川小学校	
その他	・No.15の講座も提供しています。	
講師	【団体名】株式会社 環境技術センター【代表者名】勝野宗一 【担当名】宮澤 恵美	
連絡先	【TEL】0263-27-1606 (受付時間 8:40～17:10) 【FAX】0263-27-2133 【Eメール】miyazawa.m@kgcenter.co.jp 【HP】http://www.kgcenter.co.jp 【住所】〒399-0033 松本市大字笹賀 5652-166	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。	

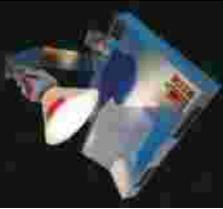
【分類：校内 - 実験する】

講座名称	木質バイオマスエネルギー利用方法 (講座 No.17)
支援事業内容	<p>木質バイオマス活用の重要性と活用方法を学びます。 ロケットストーブを使って、松ぼっくりや木の枝、竹などの木質バイオマスからエネルギーを取り出す体験をします。</p> 
対象	小学5年生以上
時間数	2時間～3時間程度
講師人数	子ども30人に対して講師1人必認(体験型の場合は10人に1人)
費用	<p>①講師謝礼・【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの・【消耗品費】 ・(炊飯を伴う場合)ポリ袋</p> <p>③児童個人に必要なもの・【学年費等】 ・(炊飯を伴う場合)米代</p>
学校側で必要な準備	火を使っても大丈夫な場所の確保
講師からの持込資材等	体験用の機材一式
講師について	2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の近道をポリシスターとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。
開催実績	2014～2017年度 会山中学校 木質バイオマス活用 2017年度 清水小学校 防災とバイオマス
その他	・プログラム実施の2カ月前には、申込の連絡をしてください。 ・No.1の講座も提供しています。
講師	【団体名】白炭エネルギーネットまつもと 【担当氏名】平島安人 【代表氏名】平島安人
連絡先	【TEL】0266-52-0160(留守電) 【FAX】0266-52-0160 【Eメール】nematsu@gmail.com 【HP】http://www.enet-matsumoto.net 【住所】〒392-0023 諏訪市小瀬田南9-3
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教行文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	あかりのエコ教室 (講座 No.18)
支援事業内容	<p>3種類のランプ(白熱灯・蛍光灯・LED)を使った実験で特徴や違いを発見し発表します。ランプのしくみや作エネについて学べる講座です。</p> 
対象	小学校4年生から6年生まで
時間数	1時間(45分)
講師人数	子ども10人に講師3名
費用	<p>①講師謝礼 ・無料</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの・【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの・【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	スクリーンもしくはモニター・TV・プロジェクター
講師からの持込資材等	手回し発電機・電力測定器(4～5人で1台)
講師について	第9回「キヤリア教育アワード」優秀賞 受賞 平成27年 波田小学校6年 平成28年 安曇小学校5・6年 平成29年 録川小学校5年・清水小学校4年
開催実績	・プログラム実施の3カ月前には申込の連絡をお願いします。 ・No.19の講座も提供しています。
その他	【団体名】パナソニック(株)ライフソリューションズ社 松本電材営業所【代表氏名】秋尾 啓太郎 【担当氏名】丸山 貴世 【TEL】0263-27-4501 【FAX】0263-27-4509 【Eメール】maruyama.kiyo@jp.panasonic.com 【HP】http://panasonic.co.jp/ls/company/education/ 【住所】〒399-0004 松本市市場3-10
講師	
連絡先	
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教行文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	エコと太陽光発電教室	(講座 No.19)
支援事業内容	<p>環境にやさしい太陽光発電のしくみを学び、実験を通じて太陽光発電の特徴(長所・短所)に気づき、考え、発表します。 太陽光発電の特徴を理解し、日常生活に置き換えて学べる講座です。</p>  	
対象	小学校1年生から6年生まで	
時間数	1時間(45分)	
講師人数	子ども40人に講師3名	
費用	<p>①講師謝礼 ・無料</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>	
学校側で必要な準備	スクリーンもしくはモニター・TV・プロジェクター	
講師からの持込資材等	太陽電池・温度計・電力計他	
講師について	第9回「キャリア教育アワード」優秀賞 受賞 (あかりのエコ教室)	
開催実績	<p>平成 27年 波山小学校 6年</p> <p>平成 28年 安曇小5・6年</p> <p>平成 29年 清水小4年、鎌田小5年</p>	
その他	<p>・プログラム実施の3カ月前には申込の連絡をお願いします。</p> <p>・No.18の講座も提供しています。</p>	
講師	【団体名】 パナソニック(株) ラフソニック・ソリューションズ社	
連絡先	<p>【担当名称】 松本由財管業所 【代表者名】 妹尾 啓太郎</p> <p>【TEL】 丸山 貴生</p> <p>【FAX】 0263-27-4501</p> <p>【Eメール】 0263-27-4509</p> <p>【HP】 maryama.kiyo@jp.panasonic.com</p> <p>【住所】 http://panasonic.co.jp/ls/company/education/ 〒399-0004 松本市市場3-1-10</p>	
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、手前に打合せをする。④当日を迎える。</p>	

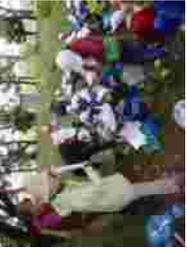
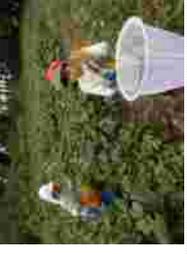
【分類：校内 - 実験する】

講座名称	ワクワク下水道教室	(講座 No.20)
支援事業内容	<p>下水道の仕組みについて学ぶ学習です。</p> <p>(内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 浄化センターまでの下水の流れ</li> <li>2 ベットボットルを使った紙の溶け方の実験</li> <li>3 顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察</li> </ol>   <p>社会科学科で下水の浄化センターに行く前に、学習として利用していただく効果的です。</p>	
対象	小学4年生	
時間数	1.時間(1クラス分)	
講師人数	講師2～3名	
費用	<p>①講師謝礼 ・無料</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの ・なし</p>	
学校側で必要な準備	教室の確保(デューブリンごとに水道のある理科室または家庭科室等) 電子黒板またはモニターの確保 電源の確保	
講師からの持込資材等	ベットボットル(児童数×2本)、顕微鏡カメラセット、パソコン等	
講師について	松本市上下水道局 下水道課 吉岡及び岡島浄化センター職員	
開催実績	<p>H29 松本市内小学校4校 (すべて小学4年生)</p> <p>H30 松本市内小学校10校</p> <p>R01 松本市内小学校14校</p>	
その他	<p>開催前に機材等の確認を兼ねて打合せをお願いします。</p> <p>(10～20分程度です。)</p> <p>5～7月に社会見学の学校が多いため、ご希望の日程に添えない場合がありますが、ご了承ください。</p>	
講師	【団体名】 松本市上下水道局 下水道課	
連絡先	<p>【担当名称】 中村市広</p> <p>【TEL】 32-5169 (平日8時30分～17時15分)</p> <p>【FAX】 37-1155</p> <p>【Eメール】 gesu@city.matsumoto.lg.jp</p> <p>【住所】 〒390-0864 松本市高瀬本町8-1(吉瀬浄化センター)</p>	
申込み方法	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、手前に打合せをする。④当日を迎える。</p>	

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	小水力発電機等による自然エネルギー体験 (講座 No.2.1)
支援事業内容	<p>可搬式の小水力発電機を使って、水力発電の仕組みを学びます。また、ソーラーカーや発電口磁石の試乗体験を通して自然エネルギーについて学びます。</p>  
対象	小学校高学年から中学生まで、特別支援学級
時間数	60分程度
講師人数	子ども30人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎)</li> </ul> <p>②クラス・学年全体に必要なもの、【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
学校側に必要な準備	校内の流水 (落込) がある箇所
講師からの持込資材等	可搬式小水力発電機、ソーラーカー、発電自転車
講師について	平成17年に設立された、市内で地球温暖化防止活動を行うネットワークです。構成13団体それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドル・ナイト (6月、12月)」、「打ち水大作戦 (8月)」等を行っています。
開催実績	平成18年度～ 松本市消費生活展への出展 (ソーラーカー、発電自転車)の試乗体験)
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球温暖化問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ (講座 No.6)」と同山実施が可能です。(要相談)</li> <li>・No.6、13の講座も提供しています。</li> </ul>
講師	【団体名】松本市地球温暖化防止ネットワーク (エコネット) ぽつもとど
連絡先	<p>【担当氏名】 鈴木 寛一郎 【代表者名】 宮澤 有</p> <p>【TEL】 0263-57-5460/080-5109-9715</p> <p>【FAX】 0263-57-5460</p> <p>【メール】 —</p> <p>【HP】 <a href="https://www.city.matsumoto.nagano.jp/amph/shisuci/kankyojoho/kankyoyoiko/ccoclub/ccoclub.html">https://www.city.matsumoto.nagano.jp/amph/shisuci/kankyojoho/kankyoyoiko/ccoclub/ccoclub.html</a></p> <p>【住所】 —</p>
申込み方法	申し込み書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 33-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打ち合せをする。④当日を迎える。

【分類：校外 - 公園等】

講座名称	身近な自然観察 (講座 No.2.2)
支援事業内容	<p>自然の楽しみ方、自然と人や動物と植物のつながりなど、自然保護や環境保全の考え方を学年に応じて、自然観察から学びとります。川や所々を楽しむながら、身近な場所の校庭や水辺 (小川)、まちなか等で自然観察のガイドを行います。</p> <p>また、外来植物 (外来生物) のお話をすることもできます。必要に応じて、フィールドに出る前あるいは後に、教室内でのレクチャーを希望される場合は対応いたします。別の日程で組んでいただくことも可能です。</p>  
対象	小学生以上、学年に応じた授業内容を協議しながら内容決定 特別支援学級 (要相談)
時間数	1回で2～3時間程度
講師人数	子ども15人に対して講師1人が理想的 (先生と協力して1クラス程度まで)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎)</li> </ul> <p>②クラス・学年全体に必要なもの、【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
学校側で必要な準備	申込時・事前の打ち合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	
講師について	1996年、自然を学び環境を考える仲間と会をつくる。「自然観察から始まる自然保護」を掲げて、自然観察やボランティア活動などを実践。自然と人、動物、植物などのつながりや気付きから、自然保護、環境保全へと展開する環境学習を、大人や子どもと共に学び合っている。
開催実績	平成27年度 今井小学校 自然観察からはじまる自然保護の実践 平成28年度 今井小学校 学習林にて、身近な自然観察 平成29年度 今井小学校 学習林にて、身近な自然観察 平成30年度 今井小学校 学習林にて、身近な自然観察 令和元年度 今井小学校・正野小学校 校庭にて、身近な自然観察 上高地パークボランティアとしての中学校自然観察ガイド (5件) 佐野、松公百学校でのガイドの経験者、市内地区公民館での自然観察ガイド等
その他	<p>【団体名】自然観察の会 ひこぼえ 【代表者名】 村上さよ子</p> <p>【担当氏名】 村上さよ子</p> <p>【TEL】 0263-26-1573 / 090-7201-8140 (いつでも連絡可能)</p> <p>【FAX】 0263-26-1573</p> <p>【住所】 〒390-0847 松本市若部3-11-3</p>
申込み方法	①申し込み書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 33-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打ち合せをする。④当日を迎える。

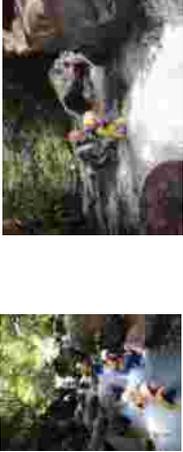
講座名称	水辺の観察会 (講座 No.2 3)
支援事業内容	<p>○水辺の生物観察の指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物採取の方法を指導し、採取した生物の名称やどんな生き物かを解説します。</li> <li>・水生生物の生息状況と、透視度やCODなどの化学的測定をあわせて行い、河川の汚染を解説します。</li> </ul>
対象	小学校1年生～6年生(学年に合わせた授業を行います。)
時間数	1～1.5時間
講師人数	子ども20人に講師1名
費用	<p>①講師謝礼→【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師1人につき5,000円(授業1時間毎)</li> <li>②クラス・学年全体に必要なもの→【消耗品費】</li> <li>③児童個人に必要なもの→【学年費等】</li> </ul>
学校側で必要な準備	水辺観察会の手引片(カラーコピーでも可)
講師からの持込資材等	バケツ、バット、千網、透視度計、他
講師について	水辺の自然環境の調査、泉崎学習、同僚協力を実施する団体で主に岸川や松本地域で活動しています。
開催実績	岸川での水辺学習会 山んぼでの生きものの観察会
その他	<p>【団体名】NPO法人 えんどっこ</p> <p>【担当氏名】大川健一</p> <p>【TEL】090-4463-5887</p> <p>【HP】http://endotuko.web.fc2.com</p> <p>【住所】</p>
申し込み方法	①申込書の内容を上記電話番号に伝える。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	水辺の生物の観察会 (講座 No.2 4)
支援事業内容	<p>市内の河川などにいる水生生物の採取と観察を行います。其際に川に行き、水生生物の採取を行い、水生生物の種類ごとに分類する等、観察方法を学び、川の面白さについて実感する講座です。</p> <p>【これまでで実施した学習会のテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の川と水への意識</li> <li>・アルプスの水がもたらす恵みと課題</li> <li>・甲斐・甲山の森と暮らす水と水</li> <li>・千曲川水系における水と昆虫の個体群構造と遺伝的構造</li> <li>・松本、伊那盆地におけるトノサマガエル・ダルマガエルの分布と交雑について</li> <li>・河川観察する鳥類への増水の影響と役割</li> <li>・トンボ類からみた日本と台湾の繋がりが</li> <li>・父親が子育てをやるコイオイミシ科昆虫の繁殖生態と系統進化・種分化について</li> <li>・安曇野の島と人とのかかわり</li> </ul>
対象	小学生(学年に合わせた授業を行います)
時間数	3時間程度
講師人数	子ども10人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼→【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師1人につき5,000円(授業1時間毎)</li> <li>②クラス・学年全体に必要なもの→【消耗品費】</li> <li>③児童個人に必要なもの→【学年費等】</li> </ul> <p>・材料費 開催内容による(事前の相談で決定)</p> <p>・印刷費(安曇等)、網、内画が白色のプラスチック皿、ピンセット、虫めがね(10～20倍)、バケツ、ノート(スケッチ用紙)、画用紙、色鉛筆</p>
学校側で必要な準備	網、バット、ピンセット
講師からの持込資材等	身近な川を調べ、地域文化との関係や生き物のすみかとして成立ちを考え、今後の川の姿に因って提言するNPO法人です。
講師について	<p>・平成27、28、29、30、令和元年度 田川小学校</p> <p>①奈良井川脇の湧水に行って水生生物を探す。</p> <p>②学校に戻り、集まった水生生物をルーペ等で観察する。</p> <p>③水中生物の記録の書き方を講師から習い、絵と文で記録する。</p> <p>・平成28年度 五所入字教育者研修所高松本小学校</p> <p>年間を通して定期的に女鳥羽川を散歩してきた子どもたちが、講師の先から川の生物の解説を聞いたり、川の生物の見つけ方を教わったりするのを通じて、女鳥羽川への関心を更に高めた。</p> <p>・令和元年度 安曇小学校、高内小学校</p>
開催実績	
その他	
講師	【団体名】NPO法人川口の森と文化研究所
連絡先	【担当氏名】山本雅道
	【TEL】090-5413-7161
	【FAX】0263-37-3327
	【Eメール】bassyam@shimshu.ac.jp
申し込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校外－川】

講座名称	生きものの観察「今、自然がなぜ大切か？」（講座 No.2 5）
支援事業内容	<p>身近な環境（学校構内も含め）に、どんな生き物があるかを探し、見つけたものを観察します。いろいろな生き物がいいるか分かるだけでなく、抽みえた生き物についていろいろ疑問がわきます。それらについて考え、子供たちの関心を引き出して、彼らの発した疑問に答えを見つけて解説することです。子供たちの関心を高めます。自然に関心をもち、積極的に交流します。</p> <p>1 生きものの観察と観察（構内および川も含め身近な自然の場所。学内ビデオテープでも可）。観察では見つけた生き物について何を感じたか？面白い点はいかな点があるか、感じたこと、考えたことについて語ってもらいます。これらを通じて、生き物に興味を持つてなかった子供達にも関心をもてるよう指導します。</p> <p>2 観察会後「生き物に見られる不思議、面白さ、すごさ」を主題とする講演をします（時間は要員に応じて20～60分の範囲）。最後は、子供達の感想を聞いてもらいます。</p>
対象	小・中学校・高学年、中学生（生き物観察会は低学年も可）
時間数	1 45分 2 コマ (90分) 2 45分
講師人数	1 1回に対して講師1人必要、補助者1～2名 (10人当たり1名) 2 講師 1名 補助者2名を予定
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限分) 合計10,000円</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの、【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	1 不要 2 個人の名札、筆記用品、記録用ノート。(可能なら、風鑑、バット、ピンセット、生メダカ、ペンリ皿、グラスチャック容器)
講師からの持込資料等	顕微鏡、実体顕微鏡、バット、風鑑等
講師について	主講師は小、中、高、大学での講師経験がありますので、学校からの要請に応じた対応が可能です。 子供向けの「生き物観察会」を市内公民館行事等で20回以上経験済みです。
開催実績	平成30年度 田川小学校 芳川小学校 水の生物の観察会 平成31年度 田川小学校、鎌田中学校、信明小学校 令和元年度 田川小学校、内川公民館、沢村公民館、本郷公民館、田川公民館
その他	・No.7の講座も提供しています。 【団体名】 阪本タムラギ学(まなぶ)会 【担当名】 藤山 功雄 又は 藤山 俊己 【代表者名】 藤山 功雄 【TEL】 0263-46-3275 携帯080-3481-3741 須口090-1736-6771 【FAX】 0263-46-3275 【Eメール】 sfnjiv@shinshu-u.ac.jp 【HP】 https://www.facebook.com/matsumoto.hotarui 【住所】 〒390-0311 松本市水沢25-6
講師連絡先	上記の連絡先の内容を上記Eメールに送付する。(2)同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。(3)学校から講師へ連絡し、正確に打合せをする。(4)当日を迎える。
申込み方法	

【分類：校外－川】

講座名称	地元の川大好き！リバーアドベンチャー（講座 No.2 6）
支援事業内容	<p>地元で流れる川の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！どんな川、どの川でも出張します！</p> 
対象	小1から中3まで、特別支援学級 (応相談)
時間数	3時間程度 (内容・河川によって変動有)
講師人数	子ども10人に講師1名 (内容・河川によって変動有)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 講師1人につき5,000円 (授業1時限分)</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・保険料 ¥200 参加者 (学校保険にて対応可能) ・レンタル料金 ¥500 (ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む)</p>
学校側で必要な準備	プロジェクター、水筒、運動靴、飲み物など
講師からの持込資料等	ヘルメット、ウェットスーツ、ライフジャケット、PC・レスキュー用品、ファーストエイドなど
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド＆ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クラウンツアーなど各地域百歳活動などと、松水の休日祭を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド＆ツアーコンセプは「清流であれ！アナログであれ！！」。松水を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	平成28年度 渡田小学校 梓川リバーアドベンチャー 平成29年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー 平成30年度 1田小学校 黒川&梓川ラフティング 令和元年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー 1田小学校 黒川&梓川ラフティング 2田小学校 黒川・安曇、渡田小学校 「穴殿ダムラフトピクニック」 大野川小学校 「地元の名産100冊展覧会」 鎌田・田川・安曇小学校 「リバーアドベンチャー」 梓川・田川・渡田小学校 梓川リバーアドベンチャー 黒川・安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー
その他	・梓川だけでなく、身近な川での体験も喜んでコーディネートいたします。まずはお気軽にご要望をお聞かせください！ ・No.8、27、28、30の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】 リトルビークス 【代表者名】 小崎邦良 【担当名】 小崎邦良 【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【Eメール】 mine@littlbeaks.jp 【HP】 https://www.littlbeaks.jp/ 【住所】 安曇 4306-7 上記の連絡先の内容を上記Eメールに送付する。(2)同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。(3)学校から講師へ連絡し、正確に打合せをする。(4)当日を迎える。
申込み方法	

【分類：校外－川】

講座名称	梓川&奈良井川&犀川ラフティング (講座 No.2.7)
支援事業内容	川の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！ 
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級(応相談)
時間数	3時間程度(内容によって変動有)
講師人数	子ども7人に講師1名(内容・河川によって変動有)
費用	①講師謝礼→【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの 【消耗品費】 ・なし ③見込個人に必要なもの 【学年費等】 ・保険料¥3,500/参加者(学校保険にて対応可能) ・レンタル料金¥500(ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む)
学校側に必要な準備	プロジェクトター・水着・運動靴・飲み物など
講師からの持込資材等	ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアラー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリアーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松木の人口増を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアラーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松木を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	平成28年度 波田小学校 「梓川リバーアドベンチャー」 平成29年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー 田川小学校 犀川&奈良井川ラフティング 平成30年度 安曇小学校 犀川&梓川リバーアドベンチャー 田川小学校 犀川&奈良井川ラフティング 令和元年度 奈川・安曇・波田小学校 水殿ダムラフトとクニック 大野川小学校 「地元の子が100倍好きになる登山学校」 鎌田・梓川・安曇小学校 「リバーアドベンチャー」 梓川・田川・波田小学校 「梓川大好き！大河の・遊スライドショー」
その他	・梓川だけでなく、身近な川での体験も喜んでコーディネートいたします。まずはお電話にご要望をお聞かせください！ ・No.8、26、28、30の講座も提供しています。
講師	【団体名】リトルピークス 【代表者名】小峰邦良
連絡先	【担当者名】小峰邦良 TEL 0263-93-1243 / 090-3561-5351 FAX 0263-93-1243 【メール】 mine@litlpeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 松本市安曇 4306-7
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から郵便へ送附し、事前に打合せをする。④折り返し打合せをする。

【分類：校外－川】

講座名称	水殿ダムラフトピクニック(ダム見学付き) (講座 No.2.8)
支援事業内容	川&水の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます(ダムの機能も学べます)！！ 
対象	小1から中3まで、特別支援学級(応相談)
時間数	3時間程度(内容によって変動有)
講師人数	子ども7人に講師1名(内容・河川によって変動有)
費用	①講師謝礼→【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの 【消耗品費】 ・なし ③見込個人に必要なもの 【学年費等】 ・保険料¥3,500/参加者(学校保険にて対応可能) ・レンタル料金¥500(ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む)
学校側に必要な準備	プロジェクトター・水着・運動靴・飲み物など
講師からの持込資材等	ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアラー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリアーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松木の人口増を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアラーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松木を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	平成28年度 波田小学校 「梓川リバーアドベンチャー」 平成29年度 安曇小学校 黒川&梓川リバーアドベンチャー 田川小学校 犀川&奈良井川ラフティング 平成30年度 安曇小学校 犀川&梓川リバーアドベンチャー 田川小学校 犀川&奈良井川ラフティング 令和元年度 奈川・安曇・波田小学校 水殿ダムラフトとクニック 大野川小学校 「地元の子が100倍好きになる登山学校」 鎌田・梓川・安曇小学校 「リバーアドベンチャー」 梓川・田川・波田小学校 「梓川大好き！大河の・遊スライドショー」
その他	ご紹介したプログラム(No.8、26、27、30)を繋ぐことで山・川・水を巡遊から河口までアクティビティで繋ぐことが実現！！是非ともご体験ください。まずはお気軽にお電話でもメールでもご要望をお聞かせください！！
講師	【団体名】リトルピークス 【代表者名】小峰邦良
連絡先	【担当者名】小峰邦良 TEL 0263-93-1243 / 090-3561-5351 FAX 0263-93-1243 【メール】 mine@litlpeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 松本市安曇 4306-7
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から郵便へ送附し、事前に打合せをする。④折り返し打合せをする。

【分類：校外－山】

講座名称	子どもの森の健康診断 (講座 No.29)
支援事業内容	<p>森(人工林)の健康状態について学べる講座です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>事前学習支援 年間休業内での組み立てアドバタイザ派遣、座学・丸太切りなど</li> <li>フィールドで行う体験学習支援 体験学習：学校近くの人工林で、調査と伐伐体験をします。</li> <li>フォローアップ支援 体験後の報告会に向けて、必要な支援があればご相談ください。</li> </ol>
対象	小学5年生以上、特別支援学級(要相談)
時間数	<p>実施内容は、座学(芝生)1副書、空開け(間伐)体験となり、柔軟に対応できるプログラムとテキストを用意しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●長短コース (3時間) 短縮版テキスト【紙芝居+調査+間伐体験】</li> <li>●標準コース (3時間*2回) フル版テキスト</li> </ul> <p>1回目【紙芝居+調査】2回目【間伐体験】 ※店を挟んで午前中&gt;&gt;&lt;&lt;午後&gt;&gt;、もしくは、&lt;春&gt;&gt;&lt;秋&gt;に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 理数コース (標準2時間+標準コース)</li> <li>● カスタムコース (3時間以上、ご要望で)</li> </ul>
講師人数	子ども5、6人で1班。各班に対して講師2人必要
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人に5,000円(授業1時限毎) +交通費相当分(要相談)</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・特になし</p> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・特になし</p>
学校側で必要な準備	フィールド確保と所有者への了解。不明の場合はご相談ください。
講師からの持込資材等	調査グッズ一式、調査手帳一式(手帳、ドレン、ト書き、ボールペンなどを含む)、伐倒道具、授業内容により丸太や伐倒実物
講師について	各級講師は、県内初級講習講座、「森の健康診断」のリーダー研修を受講し、全国の様々な団体および学校への派遣実績を待ちます。 青山県立有川流産での森の健康診断10年以上、全国への講師派遣実績は100件を超え、その内、学校授業支援が近年何え年間30件ほど。 長野県内実績 平成29年度 奈川小学校 平成30年度 塩尻市宗賀小学校 令和元年度 子ども自然学校、塩尻市宗賀小学校
開催実績	
その他	
講師	【団体名】 森の健康診断出前隊 【担当者名】 茂井美彦 【TEL】 050-5317-8210 (留守時に伝言を入れてください、折り返します。)
連絡先	【Eメール】 school@mori-gis.org 【HP】 http://mori-gis.org/ids http://mori-gis.org/school 【住所】 〒444-2816 豊田県豊田町三井成1-3 旧杉末呉吉園
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校外－山】

講座名称	地元の山が100倍好きになる登山学 (講座 No.30)
支援事業内容	山の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！
対象	小1から中3まで、特別支援学級(応相談)
時間数	半日～一日程度(内容・山域によって変動有)
講師人数	子ども10人に講師1名(内容・河川によって変動有)
費用	<p>①講師謝礼、【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの、【消耗品費】 ・特になし</p> <p>③児童個人で必要なもの、【学年費等】 ・保険料¥2,000/参加者(学校保険にて対応可能)</p>
学校側で必要な準備	登山に必要な資機材・昼食・飲み物など
講師からの持込資材等	inskisキョー用品・ファーストエイトなど
講師について	2014年12月に松本市安芸に声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーニング、杉山などの地域貢献活動など、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるアドグラムを展開中。ガイド&ツアーコンセンサスは「風流であれ！アナログであれ！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	<p>平成28年度 波田小学校 梓川リバー・アーツ・ミゼンセンター 平成29年度 安芸小学校 岩川&amp;梓川リバー・アーツ・ミゼンセンター 1回小学校 1回小学校 1回小学校 平成30年度 安芸小学校 岩川&amp;梓川リバー・アーツ・ミゼンセンター 令和元年度 波田小学校 岩川&amp;梓川リバー・アーツ・ミゼンセンター 茨木・安曇・波田小学校 「六穀ダムラフトビクニック」 大野川小学校 「地元山が100倍好きになる登山学」 鎌田・梓川・安曇小学校 「リバー・アーツ・ミゼンセンター」 栢川・市川・波田小学校</p> <p>梓川大好き！大川の「蔵スライドショー」 ・乗鞍岳に留まらず、皆様のお近くに響く足跡を辿る登山での体験も喜んでコーディネートいたします。昨今学校登山での事故やトラブルが頻発しており、是非ともご不安な場合はアロの山ガイドにお任せ頂けると幸いです。まずはお気軽にお電話でもメールでもご要望をお聞かせください！</p>
その他	・No.8、26、27、28の講座も提供しています。
講師	【団体名】 リトルピークス【代表者名】 小峰邦良
連絡先	【担当者名】 小峰邦良 【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【Eメール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	地域発見ウォーキング (講座 No.3 1)
支援事業内容	<p>寺社、屋敷林、塚、逆廻神等の地域の宝を探しながら歩き、地域の魅力とその伝え方について学びます。</p>  
対象	小学校3年生以上中学生3年生まで、特別支援学校
時間数	2時間分程度
講師人数	子ども30人に講師2人
費用	<p>①講師謝礼・【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ②クラス・学年全体で必要なものー【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なものー【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	申込書・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	<p>冊品(打合せを通じて別途相談)</p> <p>1ターナー者と地域住民との交流による新しいふるさとづくりを口着して、2006年に設立したNPO法人です。2007年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」「安曇野さんぽ」を年10回程度開催し、過去のルート図を「ふるさとウォッチングマップ」としてまとめ、公式サイトで公開しています。また、2015年度に地球ガイド育成講座「案内人の教育」をスタートし、2018年度より松本観光ホスピタリティカレッジ「ガイドコース」の講師も務めています。</p>
講師について	(おまぐれご飯炊き体験)
開催実績	2015～2017年度 会田中学校 2015～2020年度 一子小学校
その他	・No.9の講座も提供しています。
講師	【団体名】NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
連絡先	<p>【担当者名】宮崎 崇徳 【代表者名】等々力 秀和 【TEL】0263-81-1325 (9-18時なら連絡可能) 【FAX】0263-81-1280 【Eメール】lifeport@nifty.com 【HP】http://azumino-jurussato.com/ 【住所】〒399-8304 安曇野市穂高池原1132-2</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメール又はFAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について (講座 No.3 2)
支援事業内容	<p>お米について学べる講座です。</p> <p>年間を通じてお米の肌スカ(米の精)を使用した農法の美濃と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きものの溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。作物を育てる活動は5月～9月が活動時期の日安です。精米工場の見学は年中できます。学校や近隣に出向き、農業体験や自然体験などの講座を実施することも可能です。</p>  
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学校
時間数	90～110分程度(2時間程度)年間3回程度
講師人数	子ども15人程度に講師1名1日安
費用	<p>①講師謝礼ー【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) 交通費相当2,000円 ②クラス・学年全体で必要なものー【消耗品費】 ・資料代、実習用資材使用代等(応相談) ③児童個人で必要なものー【学年費等】 ・資料代、実習用資材使用代等(応相談)</p>
学校側で必要な準備	児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導
講師からの持込資材等	山植え、稲刈りに必要な資材
講師について	いきものみつけファームin松本推進協議会には、産育市民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成25年度～令和元年度 主催卒業で実施
その他	・主にグリーンシーズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月前日安にはじたいです。 ・No.34、35の講座も提供しています。
講師	【団体名】いきものみつけファームin松本推進協議会
連絡先	<p>【担当者名】車務時イワ 藤村智 【代表者名】会友 後旗一裕 【TEL】090-2219-2437 (9時～19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【Eメール】is_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】松本市南北9-7-17</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールにも送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校外－特定の場所・その他】

講座名称	石窯ピザづくりたいけん (講座 No. 3 3)
支援事業内容	<p>画像材を使って石窯を加熱しながら取扱い問題を考え、加熱された石窯でピザ調理しながら再生エネルギーの力、蓄熱エネルギーの原理を学べる講座です。</p> 
対象	小学1年生から中学3年生・特別支援学級
時間数	90分程度
講師人数	子ども約15人に講師1人(教諭も含めた参加者定員は30人程度)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・薪(広葉樹のもの) 約500円1回 ③児童個人に必要なもの、【学年費等】 ・ピザ材料代 約100円/1人(1人あたりピザ20cmの1/4の大きさ) ・講座実施場所(松本市横丁)への往復付き添い ・参加者の食物アレルギーの有無の事前確認 ・必要に応じた取物</p>
学校側で必要な準備	特になし
講師からの持込資材等	
講師について	平成28年に設立し、地元の間伐材を利用して再生エネルギーの活用と環境問題への啓発を図り、石窯体験活動を通じて子供の健全育成へ寄与する団体です。会員数11名です。
開催実績	令和元年度 岡田小学校あさひ分校 横田地区 親子体験会 松本市内公募親子体験会
その他	<p>・プログラム実施の2カ月前には申し込みの連絡をしてください。 ・4月から11月と3月の間のみ、プログラム実施が可能です。 ・実施場所は松本市横田です。参加者の移動往復が必要 ・雨天・嵐風では実施不可能なので直前での実施日変更の可能性有</p>
講師	【団体名】NPO法人(石窯)スマイル研究会 【代表者名】桐原 真幸
連絡先	<p>【担当名】桐原 真幸 【TEL】0263-36-8835 【FAX】0263-36-8835 【メール】ishigama.s.kenkyu@road.ocn.ne.jp 【HP】http://smilestone-labo.com 【住所】〒390-0804松本市横田 4-1-1(清盛実地所)</p>
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、当前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内(同方向)】

講座名称	いきもの探しと観察及び環境教育講座 (講座 No. 3 4)
支援事業内容	<p>身近にある自然と環境について学べる講座です。 生き物を観察する活動は5月～9月が活動時期の日女です。学校や近隣に出向き、自然体験などの講座を実施することも可能です。</p> 
対象	小1から中3まで、特別支援学級
時間数	90～110分程度(2時限程度)
講師人数	子ども20人に講師1名が日女
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)+交通費相当2,000円程度 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代金、実習用資材使用料金(成約談) ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・資料代金、実習用資材使用料金(成約談)</p>
学校側で必要な準備	見立・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導
講師からの持込資材等	自然体験・環境教育学習に必要な資材
講師について	いきものみっけプログラム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成27年度～30年度 吉野小 令和元年度 安曇小
その他	<p>・主にグリーンゾーン(4月から12月)の間催で、事前打ち合わせを開催1か月前日女にはじたいです。 ・No.32、35の講座も提供してきます。</p>
講師	【団体名】いきものみっけプログラム in 松本推進協議会
連絡先	<p>【代表者名】会長 降旗一弥 【担当者名】中野厚博 藤村哲 【TEL】090-2219-2457(9時～19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【メール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【HP】 【住所】松本市北 9-7-17</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。



【分類：校内が両方で可】

講座名称	体験して学ぶ「自然や環境」について (講座 No.37)
支援事業内容	<p>自然と環境について学べる講座です。 プロジェクトWILDなど体験型環境教育プログラムを通じて、児童・生徒に身近な自然や、環境について学びと気づきを促していたが、これまで県内の小中学校や環境イベントなどで実施した実績もあります。</p>  
対象	小1から中3まで、特別支援学級も対応可能
時間数	90～100分程度
講師人数	子ども10人に講師1名日女
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの、【消耗品費】 ・資料代金、実習資材(必要な場合)の代金 (応相談) ③見学個人に必要なもの、【学年費等】 ・資料代金、実習資材(必要な場合)の代金 (応相談)</p>
学校側に必要な準備	打ち合わせ時に確認
講師からの持込資材等	同上
講師について	<p>自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで6年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。代表を務める団体で、自然体験・農業体験・各種講習会を年間多数実施しています。</p>
開催実績	<p>平成29年度 田川小学校 平成29～令和元年度 波山小学校 平成29～令和元年度 松島中学校 平成30年10月「安曇野環境フェア」イベント：講師</p>
その他	<p>・No.38の講座も提供しています。 【団体名】体験御麻かげはし 【代表者名】 藤村哲 【担当名】 藤村哲 【TEL】 090-2219-2157 (9時～19時お山路可能) 【FAX】 0263-888-7595 【Eメール】 is_kakehashi@yahoo.co.jp 【HP】 【住所】 松本市波山4507-3</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX:32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。(4)当日を迎える。

【分類：校内が両方で可】

講座名称	火おこしと簡単な野外料理、農業体験 (講座 No.38)
支援事業内容	<p>自然体験と農業について学べる講座です。 身近にある田んぼや畑での仕事を児童・生徒に体験してもらおうことができます。また、キャンプなどで応用できる火起こしや、野外調理についてそのやり方を知ることが出来ます。</p>  
対象	小1から中3まで、特別支援学級
時間数	90～100分程度
講師人数	子ども10人に講師1名日女
費用	<p>①講師謝礼、【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの、【消耗品費】 ・調理実習器材1,000円程度 (事前相談のうえ決定します。) ③見学個人に必要なもの、【学年費等】 ・食材費1人約300円 (事前相談のうえ決定します。)</p>
学校側に必要な準備	打ち合わせ時に確認
講師からの持込資材等	同上
講師について	<p>自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで6年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。代表を務める団体で、自然体験・農業体験・各種講習会を年間多数実施しています。</p>
開催実績	<p>平成29年度 田川小学校 平成29～令和元年度 波山小学校 平成29～令和元年度 松島中学校 平成30年10月「安曇野環境フェア」イベント：講師</p>
その他	<p>・No.37の講座も提供しています。 【団体名】体験御麻かげはし 【代表者名】 藤村哲 【担当名】 藤村哲 【TEL】 090-2219-2157 (10時～19時連絡可能) 【FAX】 0263-888-7595 【Eメール】 is_kakehashi@yahoo.co.jp 【HP】 【住所】 松本市波山4507-3</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX:32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。(4)当日を迎える。

【分類：校内・校外両方で可】

講座名称	自然体感プログラム	(講座 No.3 9)
支援事業内容	 <p>学校の校庭など身近な自然を遊びながら観察し、心と身体で自然を感じます。発汗や気持ちよさを大切に、「自然を見る日」を育てることができると期待しています。</p>	
対象	学年に合わせた内容で実施可能、特別支援学級	
時間数	45～90分程度 (希望時間に応じたプログラムを実施することもできます。)	
講師人数	子ども20人に講師1人	
費用	①講師謝礼、【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ・交通費2円分(下見・当日) ②③7円/km×(以下住所から学校までの距離)×2往復×2日分(下見・当日) ④クラス・学年全体に必要なもの、【消耗品費】 ・なし ⑤原産国で必要なもの、【学年費等】 ・なし	
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談(基本的に特には特にありません。)	
講師からの持込資材等	プログラムに使用する備品	
講師について	福尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。 小学生を対象にした半日の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出張講座を行っています。	
開催実績	平成28年度 山川小学校 1学校の近くの川でネイチャージャーゲームなどの自然体験活動 朝日村主催「あまの環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体験(ネイチャージャーゲーム)」 平成30年度 並柳小学校「自然体感プログラム、工作」 令和元年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体感プログラム」 菅野小学校「自然素材で顔作り工作」 大野川学校「外あそびの達人講座」	
その他	・No.14、40の講座も提供しています。	
講師	【団体名】NPO法人わおん 【代表者名】山口 勇	
連絡先	【担当名】山口 勇 【TEL】0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能) 【FAX】0263-87-4024 【メール】waon@ac.auonc-nct.jp 【HP】http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】〒399-0701 福尻市広戸郷原 685	
申込み方法	1申込書と上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、当日に打合せをする。④当日を迎える。	

【分類：校内・校外両方で可】

講座名称	外あそびの達人講座	(講座 No.4 0)
支援事業内容	 <p>【ロープワーク】ロープの基本的な結び方、ロープの活用方法を体験から学ぶことができます。木があれば、ハンモックや広地づくりができます。            【たき火】火のつけ方から始末の方法まで、実践から学ぶことが出来ます。たき火は、たき火台を使っています。</p>	
対象	小学校1年生～中学校3年生、特別支援学級	
時間数	45分～90分程度	
講師人数	子ども15人に講師1人 (安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。)	
費用	①講師謝礼、【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ・交通費(自家用車) ②③7円/km×(以下住所から学校までの距離)×2往復 ④クラス・学年全体に必要なもの、【消耗品費】 ・なし ⑤児童個人で必要なもの、【学年費等】 ・食料費(たき火で焼きたい物があれば) ・たき火が実施可能な場所の確保(たき火の場台)	
学校側で必要な準備	ロープ、ハンモック、たき火台、たき火に必要な道具	
講師からの持込資材等	福尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。 小学生を対象にした半日の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出張講座を行っています。	
講師について	平成28年度 山川小学校 1学校の近くの川でネイチャージャーゲームなどの自然体験活動 朝日村主催「あまの環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体験(ネイチャージャーゲーム)」 平成30年度 並柳小学校「自然体感プログラム、工作」 令和元年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体感プログラム」 菅野小学校「自然素材で顔作り工作」 大野川学校「外あそびの達人講座」	
開催実績	・希望があれば、校外でも実施できます。 ・ロープとたき火のどちらかを選んでいただくこともできますし、両方実施することもできます。	
その他	・No.14、39の講座も提供しています。	
講師	【団体名】NPO法人わおん 【代表者名】山口 勇	
連絡先	【担当名】山口 勇 【TEL】0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能) 【FAX】0263-87-4024 【メール】waon@ac.auonc-nct.jp 【HP】http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】〒399-0701 福尻市広戸郷原 685	
申込み方法	1申込書と上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、当日に打合せをする。④当日を迎える。	

環境学習の活動内容や支援する団体等が検索できるWEBサイト

中信地区環境教育ネットワークによる

# 信州の環境学習サポートサイト

どんな環境学習  
プログラムがあるかな？  
どんな活動を  
していきたいかな？  
ぜひ、ご活用ください！



## 信州の環境学習サポートの目的

環境学習の実践例を示し、環境学習の面白さや効果を伝えます。

中信地域の学校や地域で環境学習が実施できるよう支援団体や窓口を紹介します。

良質な環境学習の体験プログラムを紹介します。

環境学習が未来の希望となるよう、関係者が協力して環境体験学習の内容の向上と学習提供システムの整備に努めます。

作成/運営

中信地区環境教育ネットワーク

URL <http://www.econoschool.org/>

信州の環境学習

検索



【附録】松本市環境・地域エネルギー課からのお知らせ

1 食品ロスをテーマとした環境教育（小学生、中学生向け）

本市では、小さいころから「もったいない」という意識を持ってもらうため、市内全小学校3年生対象に食品ロスをテーマとした出前講座を行っています。

食品ロスをテーマとした環境教育にご興味があればぜひご相談ください。

パワーポイント等を用いた学習のほか、歌・すごろく・DVD教材など、さまざまコンテンツをご用意しています。



食品ロスすごろくのご紹介

食べものが収穫されるまで・購入されるまで・料理するまで・食べるまでに、それぞれどんな食品ロスがあるのか、減らしていくためにはどうすればいいかを楽しく学べるすごろくです。

必要部数を印刷してお渡しすることもできます。

対象：小学校3年生以上



2 温暖化対策ワークシート（5・6年生向け）の実施について

子どもたちがワークシートを通して地球温暖化問題について知り、家庭や学校で節電・節水等を実践することにより、温暖化対策・省エネルギーに対する意識の醸成を図るものです。

<ワークシート（A3両面印刷・二つ折り）の構成>

知る・考える

現代のライフスタイル、化石燃料、省エネ等について

行動する

省エネ・エコ行動の実践、チェック（2週間）

振り返る

最後に感想等を記入し、保護者からコメントをもらう。



表紙



裏表紙

実施希望の場合は、環境・地域エネルギー課までご連絡ください。必要部数をカラー印刷してお届けします。

年会費  
登録料無料



### 3 全国ネットワーク「こどもエコクラブ」への参加について

#### ○こどもエコクラブとは？

環境省事業として平成7年度に発足した「こどもエコクラブ」は、公益財団法人 日本環境協会が引き継ぎ、実施しているもので、地域における子どもたちの自主的な環境学習や実践活動を支援するものです。

#### ○こどもエコクラブって何をするの？（登録から活動までの流れ）

一緒に活動する仲間（3歳～18歳）と、活動を支える大人（20歳以上）を集めてクラブをつくり、登録します。

子どもたちの興味や関心に基づき、自然観察・調査やリサイクル活動、地球温暖化を防ぐ活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に自由に取組みましょう。

活動を報告すると、アーススタンプと専門の先生からのアドバイスがもらえます。アーススタンプを5個集めるとアースレンジャー認定証を授与！また継続して活動すると3年で銀バッジ、6年で金バッジがもらえます。

#### ○登録すると、活動に役立つツールがもらえます！

希望に応じてメンバーズバッジやエコカード（幼児対象）がもらえます。ウェブサイトからメンバー手帳をダウンロードして使用することもできます。

また、わかりやすい環境情報や取り組みやすい環境活動・学習プログラム、他のクラブの活動の様子などを掲載したメールマガジンが無料で提供されるなどの特典があります。



#### ○活動をはじめするには・・・

こどもエコクラブウェブサイトから直接登録ができます。または環境・地域エネルギー課担当までご連絡ください。

【こどもエコクラブ URL】 <http://www.j-ecoclub.jp>

令和2年度  
松本市小中学校  
環境教育支援事業報告書

発行 松本市  
〒390-8620  
松本市丸の内3番7号  
電話 0263-34-3268  
E-mail [kankyo\\_kyoiku@city.matsumoto.lg.jp](mailto:kankyo_kyoiku@city.matsumoto.lg.jp)  
編集 松本市環境エネルギー部  
環境・地域エネルギー課  
協力 中信地区環境教育ネットワーク  
印刷 庁内印刷

